

令和 6 (2 0 2 4) 年度

入 学 者 選 拔 要 項



令和 5 年 6 月

琉 球 大 学

※実施方法等に変更が生じた場合には大学ホームページにて速やかにお知らせ
します。

問 い 合 わ せ 先 一 覧

事 項	問い合わせ先	電 話 番 号
大学入学共通テストに関すること	大学入試センター事業第一課	03-3465-8600
個別学力検査等に関すること	学生部入試課	098-895-8141 098-895-8142
	人文社会学部学務係	098-895-9056
	国際地域創造学部学務係	098-895-8184
	教育学部学務係	098-895-9030
	理学部学務係	098-895-8595
	【医学部】 上原キャンパス事務部学務課 入試・学事係	098-895-1032
	工学部学務係	098-895-8583
	農学部学務係	098-895-8738
入学者選抜に関する統計資料 ・ 志願者数及び志願倍率等 ・ 合格者の最高点, 最低点, 平均点 ・ 過去の試験問題	<p>本学ホームページ</p> <p>https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/passed/</p>	
入学料, 授業料の <u>納 付</u> に関すること	財務部経理課収入・支出係	098-895-8058
入学料, 授業料の <u>免 除</u> に関すること	学生部学生支援課学生援護係	098-895-8135
奨学金に関すること	学生部学生支援課奨学係	098-895-8136
学生寮(千原寮)に関すること	学寮事務室	098-895-8101 098-895-8133
障がい等のある入学志願者の受験時における合理的配慮等に関すること	障がい学生支援室	098-895-8750

※お問い合わせ対応時間：月曜日～金曜日（休日を除く） 9：00～17：00

※お問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。

目 次

○令和6年度琉球大学入学者選抜のインターネット出願について	1
○インターネット出願の登録期間について	2
○令和6年度琉球大学医学部医学科入学定員について	3
○令和6年度工学部工学科 総合型選抜Ⅰ・学校推薦型選抜Ⅱの「女子枠」導入について	4
○琉球大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	6
【1】令和6年度琉球大学入学者選抜日程の概要	7
【2】募集人員	9
【3】出願資格	11
【4】入学者選抜の概要	11
【5】令和6年度入学者選抜方法等	14
(1) 入学者選抜方法等	
(一般選抜, 専門高校・総合学科卒業生選抜)	14
(2) 特別選抜の概要	16
【6】学校推薦型選抜の推薦人員	18
【7】一般選抜（前期日程・後期日程）	19
○「令和6年度入学者選抜の実施教科・科目等」	19
【8】障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等）	21
【9】入試情報開示に関する事項	21
(1) 入学試験問題及び解答例又は出題意図等	21
(2) 合格者の成績（合格者の最高点, 最低点, 平均点）	21
(3) 試験成績開示	21
【10】学生募集要項の発表時期等について	22
【11】「大学案内」の請求について	22
《テレメール》での請求（郵便配達を利用する場合）	22
《モバっちょ》での請求（宅配を利用する場合）	23
《LINE》での請求	23
【12】全学部の基本的な合否判定基準	24
【13】各学部の入学者選抜について	
人文社会学部	25
1. 一般選抜（前期日程・後期日程）	26
2. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）	28
3. 帰国生徒特別選抜	31
4. 私費外国人留学生特別選抜	31
5. 個別学力検査等の採点・評価基準	32
6. 合否判定基準	34
7. 募集人員の留意事項	34
8. 人文社会学部のプログラムの配属等について	35
国際地域創造学部	37
1. 一般選抜（前期日程・後期日程）	38
2. 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）	42
3. 社会人特別選抜（夜間主コースのみ）	43
4. 帰国生徒特別選抜	44
5. 私費外国人留学生特別選抜	45
6. 個別学力検査等の採点・評価基準	45
7. 合否判定基準	46
8. 募集人員の留意事項	46
9. 国際地域創造学部のプログラムの配属等について	47
教育学部	49
1. 一般選抜（前期日程）	50
2. 総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）	56
3. 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）	57
4. 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）「英語重視」	58
5. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）	59
6. 帰国生徒特別選抜	71
7. 実技検査等実施方法	72
8. 個別学力検査等の採点・評価基準	75

9. 合否判定基準	8 1
10. 募集人員の留意事項	8 2
11. 教育学部の専修の決定方法等について	8 2
理学部	8 3
1. 一般選抜（前期日程・後期日程）	8 4
2. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）	9 0
3. 帰国生徒特別選抜	9 4
4. 私費外国人留学生特別選抜	9 5
5. 出願に関する第2志望の取扱い（数理科学科，物質地球科学科，海洋自然科学科化学系）	9 5
6. 個別学力検査等の採点・評価基準	9 6
7. 合否判定基準	9 8
8. 募集人員の留意事項	9 9
医学部	10 1
1. 一般選抜（前期日程・後期日程）	10 2
2. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）	10 4
3. 帰国生徒特別選抜	10 6
4. 私費外国人留学生特別選抜	10 7
5. 個別学力検査等の採点・評価基準	10 7
6. 合否判定基準	10 8
7. 2段階選抜（医学科）	10 9
8. 募集人員の留意事項	10 9
工学部	11 1
1. 一般選抜（前期日程・後期日程）	11 2
2. 総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）	11 4
3. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）	11 6
4. 社会人特別選抜	11 7
5. 私費外国人留学生特別選抜	11 8
6. 個別学力検査等の採点・評価基準	11 8
7. 合否判定基準	11 9
8. 工学部の選抜方法等について	11 9
9. 募集人員の留意事項	12 0
農学部	12 1
1. 一般選抜（前期日程・後期日程）	12 2
2. 総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す）	12 6
3. 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）	12 8
4. 帰国生徒特別選抜	12 9
5. 私費外国人留学生特別選抜	12 9
6. 個別学力検査等の採点・評価基準	13 0
7. 合否判定基準	13 1
8. 募集人員の留意事項	13 2
【14】私費外国人留学生特別選抜	13 4
別表1 日本留学試験の試験教科・科目の指定及び個別学力検査等	13 5
【15】合格者を対象とした入学前教育の実施について	13 7
【◎参考情報】ノートパソコン等の必携化について	13 7
○琉球大学案内図	表紙ウラ

各選抜区分について、以下のとおり略記することがあります。

- 大学入学共通テスト⇒「共通テスト」
- 総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）⇒「総合Ⅰ」
- 総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す）⇒「総合Ⅱ」
- 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）⇒「推薦Ⅰ」
- 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）⇒「推薦Ⅱ」
- 一般選抜⇒「一般」
- 社会人特別選抜⇒「社会人」
- 帰国生徒特別選抜⇒「帰国」
- 私費外国人留学生特別選抜⇒「私費」

○令和6年度琉球大学入学者選抜のインターネット出願について

琉球大学では、インターネット出願を実施しています。インターネット出願とは、インターネット出願サイトで志願者情報の登録を行って入学検定料を支払い、本学へ印刷した出願書類等を郵送することをいいます。出願専用サイトで志願者情報を登録するだけでは出願となりませんのでご注意ください。なお、各選抜区分の学生募集要項を本学ホームページに掲載します。出願専用サイトでの志願者情報登録前に各学生募集要項を必ずご確認ください。

《インターネット出願サイト》

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-u-ryukyu/>
琉球大学入試情報ページ内「インターネット出願サイト」からアクセスできます。



インターネット出願サイトで登録できる期間は、次のページに記載しています。

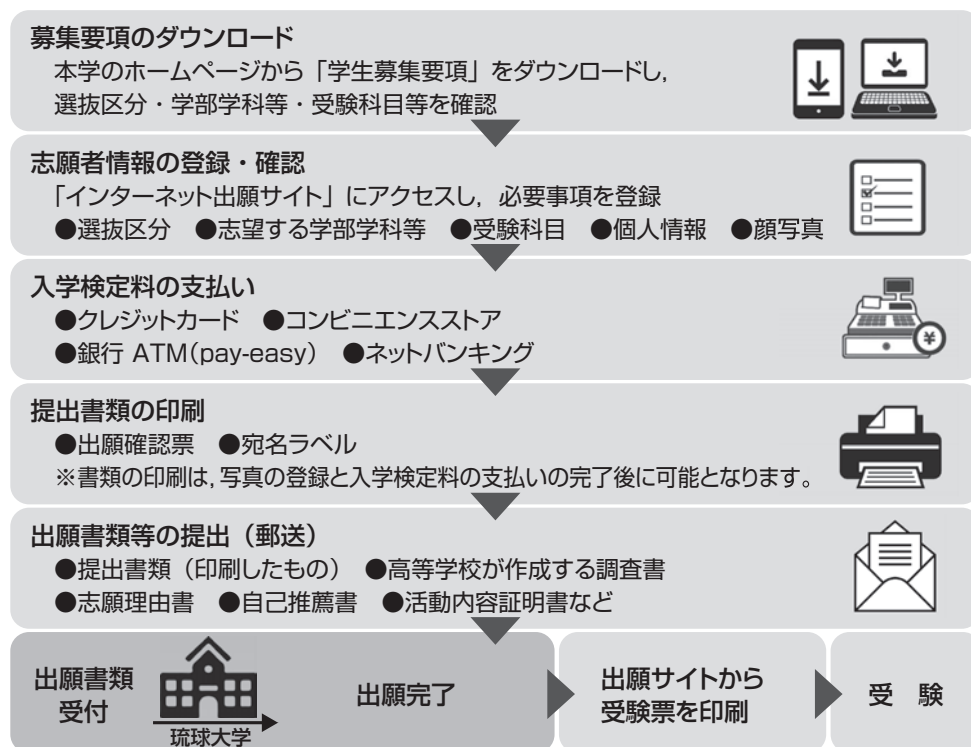
*登録期間以外は、登録できません。

《インターネット出願登録方法ガイド》

出願登録前に、本ガイドを必ずご参照ください。

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-u-ryukyu/how/>

【インターネット出願の流れ】



【インターネット出願の注意点】

インターネット出願サイトで登録後、入学検定料を支払い、出願書類等を本学へ郵送・受理されることで出願完了となりますので、ご注意ください。郵送した出願書類等の受付処理後、本学が指定する期日に受験票を出願専用サイトに掲載します。受験票は自身でプリントアウトし、試験当日に必ず持参してください。受験票掲載の指定期日は、それぞれの選抜区分の「学生募集要項」で確認してください。

インターネット出願の登録期間について

選抜区分	対象学部	インターネット出願期間
総合型選抜Ⅰ (共通テストを課さない)	教育学部 工学部	(令和5年) 8月25日(金) 9:00
総合型選抜Ⅱ (共通テストを課す)	農学部	9月3日(日) 17:00
学校推薦型選抜Ⅰ (共通テストを課さない)	国際地域創造学部 教育学部 農学部	(令和5年) 10月23日(月) 9:00 11月4日(土) 17:00
学校推薦型選抜Ⅱ (共通テストを課す)	人文社会学部 教育学部 理学部 医学部 工学部	
社会人特別選抜 (12月試験)	国際地域創造学部	
帰国生徒特別選抜 (12月試験)	人文社会学部 理学部 医学部 農学部	
私費外国人留学生特別選抜	人文社会学部 国際地域創造学部 理学部 医学部 工学部 農学部	
社会人特別選抜 (2月試験)	工学部	
帰国生徒特別選抜 (2月試験)	国際地域創造学部 教育学部	(令和6年) 1月9日(火) 9:00 1月19日(金) 17:00
一般選抜	前期日程：全学部	(令和6年) 1月15日(月) 9:00
	後期日程：教育学部以外	2月2日(金) 17:00

※必ずインターネット出願期間にインターネット出願サイトで登録を行ってください。

※出願書類が実際に受理される出願期間については、7、8ページにある「令和6年度琉球大学入学者選抜日程の概要」をご覧ください。インターネット出願期間は、この出願期間よりも早く始まります。

令和6年度琉球大学医学部医学科入学定員について

国立大学法人 琉球大学

医学部医学科は、地域の医師確保等の観点から、政府の基本方針に基づき、下記のとおり暫定的に入学定員を合計12名増員しました。

- 平成21年度から平成31年度まで「緊急医師確保対策」に基づき2名
- 平成22年度から平成31年度まで「経済財政改革の基本方針2009」に基づき5名
- 平成27年度から平成31年度まで「新成長戦略」に基づき5名
- 上記は時限措置であり、令和2年度・3年度の定員については12名が減員される予定であったが、「経済財政運営と改革の基本方針2018」により臨時定員12名が増員
- 令和4年度については、「経済財政運営と改革の基本方針2018」及び「令和4年度の医学部臨時的定員の暫定的な継続について（通知）」により、臨時定員12名が増員
- 令和5年度については、「経済財政運営と改革の基本方針2018」及び「令和5年度の医学部臨時的定員の暫定的な継続について（通知）」により、臨時定員12名が増員

令和6年度については、「経済財政運営と改革の基本方針2018」及び「令和6年度の医学部臨時的定員の暫定的な維持について（通知）」により、医学部医学科の入学定員12名（現状維持）の増員を申請します。

本申請が文部科学省で認可された場合（9月以降予定）、公式ホームページ等で公表します。

(参考: 令和4年度・5年度入学者選抜の実績)

学部・学科	募集人員
医学部 医学科 112名	学校推薦型選抜Ⅱ ・地域枠14名 ・離島北部枠3名
	前期日程 70名
	後期日程 25名

令和6年度工学部工学科

『総合型選抜Ⅰ・学校推薦型選抜Ⅱの「女子枠」導入について』

全国的に理工学系学部における女子学生比率は低く、本学工学部においても最近5年平均の女子学生の比率は約11%の状況にあります。それは、従来の工学部は「男性特有の専門を学ぶ学部」のイメージがあったことが原因のひとつと考えられます。しかしながら、工学は、ものづくりやまちづくりのために必要な専門能力を習得した技術者の育成から、専門能力に加え、多様な高度社会に貢献するために必要な広い視野での思考力、柔軟な創造力および多様な人々と協働するための高いコミュニケーション力を備えた技術者を育成する工学へと変化しています。このような変化に対応するために、女子学生のより積極的な受験を促すことをねらいとして「女子枠」を導入します。

求める学生像は、一般枠同様に「工学を学ぶ意欲と十分な基礎学力」、「幅広い視野での思考力と柔軟な創造力」、「多様な人々との高いコミュニケーション力」の資質をもった人です。特に、「女子枠」では、男性技術者が多く占めてきた工学分野において、新たな発想やイノベーションを生む人材や多様な人々が活躍する社会に貢献できる人材を求めています。なお、「女子枠」は、新たな発想やイノベーションを生む人材が求められている「ものづくり設計」、「環境工学」および「持続可能な都市デザイン」の専門コースである「機械工学コース」、「エネルギー環境工学コース」、「社会基盤デザインコース」の総合型選抜Ⅰと学校推薦型選抜Ⅱに導入します。

この「女子枠」導入により、工学部への入学生全体の教育の質を大幅に向上し、多様で高度化する社会に貢献する技術者の育成を促進します。

●募集人員

工学部工学科 総合型選抜Ⅰにおける募集人員（女子枠導入）

コース名	総合型選抜Ⅰ		
	令和5年度	令和6年度	
	一般枠	一般枠	女子枠
機 械 工 学	6	3	3
エネルギー環境工学	10	5	5
電気システム工学	2	2	—
電子情報通信	4	4	—
社会基盤デザイン	5	3	2
建 築 学	2	2	—
知 能 情 報	7	7	—
計	36	26	10
合 計	36	36	

●募集人員

工学部工学科 学校推薦型選抜Ⅱにおける募集人員（女子枠導入）

コース名	学校推薦型選抜Ⅱ				
	令和5年度		令和6年度		
	一般枠	専 門 高校枠	一般枠	専 門 高校枠	女子枠
機 械 工 学	9	2	5	2	4
エネルギー環境工学	5	2	3	2	2
電気システム工学	8	1	8	1	—
電子情報通信	6	1	6	1	—
社会基盤デザイン	8	2	4	2	4
建 築 学	9	1	9	1	—
知 能 情 報	11	3	11	3	—
計	56	12	46	12	10
合 計	68		68		

琉球大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

〔平成29年2月9日〕
制 定

1. 琉球大学の教育の目的と理念

琉球大学は、「自由平等，寛容平和」の建学の精神の下、「普遍的価値を身につけた21世紀型市民として，地域社会及び国際社会の発展に寄与できる人材」の育成を掲げ，さらに具体的に以下の4つを目指し人材を育成します。

- (1) 豊かな教養と自己実現力を有し，総合的な判断力を備えた人材
- (2) 優れた専門性を持ち，地域社会及び国際社会に貢献する人材
- (3) 外国語運用能力と国際感覚を有し，国際社会で活躍する人材
- (4) 地域の歴史と自然に学び，世界の平和及び人類と自然の共生に貢献する人材

2. 求める学生像

琉球大学は，このような教育理念を理解し，本学で学ぶ強い意欲を持ち，次のような資質をもった人を積極的に受け入れます。

- (1) 高等学校段階までの教育において，基礎的な知識・技能を習得し，問題意識を持ち続け，主体的に学習に取り組む態度を身につけた人
- (2) 異なる歴史的・文化的特性や価値観を理解し，地域社会及び国際社会で貢献する意欲のある人
- (3) 自分自身の可能性を信じ，自己の個性を生かし，自己実現に意欲のある人

3. 入学者選抜の基本方針

琉球大学は，各学部・学科等の求める学生像に沿って，多様な選抜方法により知識・技能やそれらの活用能力の評価だけでなく，意欲と主体性をもって学ぶことができるかを，多面的・総合的に評価し，社会人や留学生など多様な人を広く受け入れます。

各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）については，本学公式ホームページの「各学士教育プログラムにおける入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」

<https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/3policy/admission/>

をご覧ください。

※実施方法等に変更が生じた場合には本学ホームページにて速やかにお知らせします。

【1】令和6年度琉球大学入学者選抜日程の概要

以下の各入試区分の出願期間は、インターネット出願登録後、実際に出願書類を提出する期間です。

○一般選抜

日程	対象学部	共通テスト	出願期間	個別学力検査等	合格発表	入学手続	追加合格
前期日程	全学部	(令和6年) 1月13日(土) 1月14日(日)	1月22日(月) ゝ 2月2日(金)	2月25日(日) 2月26日(月) ※①	3月8日(金)	3月11日(月) ゝ 3月15日(金)	3月28日(木) ゝ 3月31日(日) ※②
後期日程	全学部 (教育学部を除く)			3月12日(火) ※①		3月22日(金)	

※①日程については、学部学科等によって異なります。一般選抜の詳細については、令和5年12月中旬発表の「学生募集要項（一般選抜）」を必ず確認してください。

※②追加合格者数によっては、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

○特別選抜

選抜区分	対象学部	共通テスト	出願期間	個別学力検査等	合格発表	入学手続き
総合型選抜Ⅰ (共通テストを課さない)	教育学部	-	9月1日(金) ゝ 9月3日(日)	第1次選考 9月8日(金) 第2次選考 9月28日(木) ※注	第1次選考 9月15日(金) 第2次選考 11月1日(水)	11月2日(木) ゝ 11月13日(月)
	工学部			第1次選考 書類審査 第2次選考 9月28日(木) (建築学コース以外 の6コース) 10月14日(土) (建築学コースのみ) ※注		
総合型選抜Ⅱ (共通テストを課す)	農学部	(令和6年) 1月13日(土) 1月14日(日)		第1次試験 10月14日(土) ※注	(令和6年) 2月9日(金)	2月13日(火) ゝ 2月19日(月)

※注 総合型選抜Ⅰ・Ⅱの個別学力検査については、台風等による予備日を設定しています。予備日については、各学部の「学生募集要項（総合型選抜Ⅰ・Ⅱ）」を必ず確認してください。

選抜区分	対象学部	共通テスト	出願期間	個別学力 検査等	合格発表	入学手続き
学校推薦型選抜Ⅰ (共通テストを課さない) (英語重視を含む)	国際地域創造学部 教育学部 農学部	—	11月1日(水) } 11月4日(土)	12月6日(水)	12月15日(金)	(令和6年) } 2月13日(火) } 2月19日(月)
学校推薦型選抜Ⅱ (共通テストを課す)	人文社会学部・教育学部・ 理学部・医学部・工学部	(令和6年) 1月13日(土) 1月14日(日)	(令和6年) 1月15日(月) } 1月19日(金)		(令和6年) 2月9日(金)	(令和6年) } 3月11日(月) } 3月15日(金)
社会人特別選抜	国際地域創造学部	—	(令和6年) 1月15日(月) } 1月19日(金)		(令和6年) 2月26日(月)	(令和6年) } 3月8日(金)
帰国生徒特別選抜	人文社会学部・理学部・ 医学部・農学部	—	11月1日(水) } 11月4日(土)	12月6日(水)	12月15日(金)	(令和6年) } 2月13日(火) } 2月19日(月)
	国際地域創造学部 教育学部	—	(令和6年) 1月15日(月) } 1月19日(金)	(令和6年) 2月25日(日) 2月26日(月) (26日は教育 学部のみ)	(令和6年) 3月8日(金)	(令和6年) } 3月11日(月) } 3月15日(金)
私費外国人留学生 特別選抜	教育学部を除く全学部	—	11月1日(水) } 11月4日(土)	12月6日(水)	12月15日(金)	12月18日(月) } 12月26日(火)

※特別選抜の詳細については、下記学生募集要項（本学ホームページ掲載）を必ず確認してください。

- ◇ 「学生募集要項（総合型選抜Ⅰ・Ⅱ）」 令和5年6月下旬発表予定
- ◇ 上記以外の学生募集要項 令和5年9月下旬発表予定

【2】募集人員

令和6年4月1日から、人文社会学部人間社会学科哲学・教育学プログラムは「哲学プログラム」へ、理学部物質地球科学科地学系は「地球環境系」へ名称変更します。

学部	学科・課程・(選抜方式)等		入学定員 (名)	募集人員(名)											
				一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		社会人	帰国 生徒	私費 外国人			
				分離分割方式		共通テスト を課さない	共通テスト を課す	共通テスト を課さない	共通テスト を課す						
				前期日程	後期日程										
人文社会学部	国際法政学科		80	50	14				16		若干名	若干名			
	人間社会学科	哲学プログラム	80	41	18				5		若干名	若干名			
		心理学プログラム							8						
		社会学プログラム							8						
	琉球アジア文化学科		40	25	9				6		若干名	若干名			
計			200	116	41				43						
国際地域創造学部	昼間主 コース	国際地域創造学科	(国際的思考系)	265					50		若干名	若干名			
			(論理的思考系)										60	15	
			(数学的思考系)										90	20	
	夜間主 コース	国際地域創造学科	(国際的思考系)	80						13	10				
(論理的思考系)	20	5													
計			345	224	48				63	10					
教育学部	学校教育専攻	小学校教育コース	学校教育専攻	140	25					5			10		
			国語教育専修										2		
			社会科教育専修										2		
			数学教育専修										2		
			理科教育専修										2		
			音楽教育専修										2		
			美術教育専修										2		
			保健体育専修										2		
			技術教育専修										2		
			生活科学教育専修										2		
	英語教育専修		2												
	中学校教育コース	教科教育専攻	国語教育専修	4											
			社会科教育専修	3											
			数学教育専修	5											
			理科教育専修	5											
			音楽教育専修	3											
			美術教育専修	3									若干名		
保健体育専修			3												
技術教育専修			2						1						
生活科学教育専修	3														
英語教育専修	2							1 英語重視							
特別支援教育コース	特別支援教育専攻	特別支援教育専修	8									2			
計			140	101					5	2	32				
理学部	数理科学科		40	30	10							若干名			
	物質地球科学科	物理系	65	28	7				5		若干名	若干名			
		地球環境系		19	3			3		若干名	若干名				
	海洋自然科学科	化学系	95	27	10				10		若干名	若干名			
		生物系		37	10			1		若干名	若干名				
計			200	141	40				19						

学部	学科・課程・(選抜方式)等	入学定員 (名)	募集人員(名)									
			一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		社会人	帰国 生徒	私費 外国人	
			分離分割方式		共通テスト を課さない	共通テスト を課す	共通テスト を課さない	共通テスト を課す				
			前期日程	後期日程								
医学部	医 学 科	100	70	25				5				
	保 健 学 科	60	41	10				9		若干名	若干名	
	計	160	111	35				14				
工学部	工学科	350	206	40	機 械 工 学 コ ー ス	6			11	若干名		若干名
					エ ネ ル ギ ー 環 境 工 学 コ ー ス	10			7	若干名		若干名
					電 気 シ ス テ ム 工 学 コ ー ス	2			9	若干名		若干名
					電 子 情 報 通 信 コ ー ス	4			7	若干名		若干名
					社 会 基 盤 デ ザ イ ン コ ー ス	5			10	若干名		若干名
					建 築 学 コ ー ス	2			10	若干名		若干名
					知 能 情 報 コ ー ス	7			14	若干名		若干名
	計	350	206	40	36			68				
農学部	亜 熱 帯 地 域 農 学 科	35	22	5		3	5			若干名	若干名	
	亜 熱 帯 農 林 環 境 科 学 科	35	22	5		3	5			若干名	若干名	
	地 域 農 業 工 学 科	25	16	2		2	5			若干名	若干名	
	亜 熱 帯 生 物 資 源 科 学 科	45	23	4		2	6			若干名	若干名	
			健 康 栄 養 科 学 コ ー ス	8			2					
計	140	91	16		12	21						
合 計	1,535	990	220	41	12	86	176	10				

○医学部医学科の学校推薦型選抜（共通テストを課す）の募集人員の取扱いについては、3ページを参照してください。

【3】出願資格

本学に入学を志願できる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ令和6年度共通テストで本学の各学部・学科等が指定する教科・科目を受験した者です。1つでも受験していない教科・科目があると、受験資格はありません。

共通テストの利用教科・科目の得点の採用については20ページを、特別選抜（総合型、学校推薦型・社会人・帰国生徒）についてはそれぞれの学部のページを、私費外国人留学生特別選抜については134～136ページを必ず確認してください。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和6年3月までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者（詳細については、大学入試センターから9月頃発刊される「令和6年度大学入学者選抜大学入学共通テスト受験案内」の出願の項を参照してください。）
- (4) 本学において、入学資格審査を申請し、入学資格認定書の交付を受けた者

○上記（4）の入学資格審査を希望する者は、琉球大学入学資格審査申請要項を確認の上、令和5年8月31日（木）までにあらかじめ本学入試課へ相談してください。（総合型選抜は7月31日（月）までに入試課へ相談してください）

入学資格審査申請要項及び入学資格認定交付申請書：

<https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/infomation/nyugakushikakushinsa/>

【入学資格審査申請関係書類の提出期限：令和5年9月8日（金）】（総合型選抜は8月4日（金））

【4】入学者選抜の概要

（1）一般選抜（前期日程・後期日程）

共通テストの成績、個別学力検査等の成績及び調査書の内容を総合判定して、入学者を選抜します（それぞれの学部の「1. 一般選抜（前期日程・後期日程）令和6年度入学者選抜の実施教科・科目等」を参照）。

（2）特別選抜

① 総合型選抜

ア 総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）

学 部 名	学 科 等 名
教 育 学 部	学校教育教員養成課程 小学校教育コース 学校教育専攻
工 学 部	工学科（機械工学コース，エネルギー環境工学コース，電気システム工学コース，電子情報通信コース，社会基盤デザインコース，建築学コース，知能情報コース）

イ 総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

学 部 名	学 科 等 名
農 学 部	亜熱帯地域農学科，亜熱帯農林環境科学科，地域農業工学科， 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを含む）

上記ア・イともに、入学志願者の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合判定して入学者を選抜します（実施学部のページを参照）。

② 学校推薦型選抜

※国公立大学の学校推薦型選抜は、共通テストを課すもの及び課さないものを含め、1つの大学・学部にししか出願できません。

ア-1 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）

学 部 名	学 科 等 名
国際地域創造学部	国際地域創造学科（昼間主コース・夜間主コース）
教 育 学 部	学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 技術教育専修
農 学 部	亜熱帯地域農学科，亜熱帯農林環境科学科，地域農業工学科， 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを除く）

ア-2 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）「英語重視」

学 部 名	学 科 等 名
教 育 学 部	学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 英語教育専修

上記ア-1・2の学部・学科等において、高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストを免除し、個別学力検査等の成績，調査書，推薦書及び志願理由書を総合判定して入学者を選抜します（実施学部のページを参照）。

イ 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

学 部 名	学 科 等 名
人 文 社 会 学 部	国際法政学科，人間社会学科（哲学プログラム，心理学プログラム，社会学プログラム），琉球アジア文化学科
教 育 学 部	学校教育教員養成課程 小学校教育コース 学校教育専攻，教科教育専攻（国語教育専修，社会科教育専修，数学教育専修，理科教育専修，音楽教育専修，美術教育専修，保健体育専修，技術教育専修，生活科学教育専修，英語教育専修）， 特別支援教育コース 特別支援教育専攻 特別支援教育専修
理 学 部	物質地球科学科（物理系・地球環境系），海洋自然科学科（化学系・生物系）
医 学 部	医学科，保健学科
工 学 部	工学科（機械工学コース，エネルギー環境工学コース，電気システム工学コース， 電子情報通信コース，社会基盤デザインコース，建築学コース，知能情報コース）

上記イの学部・学科等において、高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績，各学部が定める個別学力検査等の成績，調査書，推薦書及び志願理由書を総合判定して，入学者を選抜します（実施学部のページを参照）。

③ 社会人特別選抜

学 部 名	学 科 等 名
国際地域創造学部	国際地域創造学科（夜間主コース）
工 学 部	工学科（機械工学コース，エネルギー環境工学コース，電気システム工学コース， 電子情報通信コース，社会基盤デザインコース，建築学コース，知能情報コース）

上記③の学部・学科等においては、共通テストを免除し、各学部が定める個別学力検査等の成績，志願理由書，履歴書，調査書を総合判定して，入学者を選抜します（実施学部のページを参照）。

④ 帰国生徒特別選抜

学部名	学科等名
人文社会学部	国際法政学科, 人間社会学科, 琉球アジア文化学科
国際地域創造学部	国際地域創造学科 (昼間主コース)
教育学部	学校教育教員養成課程 中学校教育コース (美術教育専修)
理学部	物質地球科学科 (物理系・地球環境系), 海洋自然科学科 (化学系・生物系)
医学部	保健学科
農学部	亜熱帯地域農学科, 亜熱帯農林環境科学科, 地域農業工学科, 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを除く)

上記④の学部・学科等においては、共通テストを免除し、各学部が定める個別学力検査等の成績、成績証明書（調査書）を総合判定して、入学者を選抜します（実施学部のページを参照）。

⑤ 私費外国人留学生特別選抜

学部名	学科等名
人文社会学部	国際法政学科, 人間社会学科, 琉球アジア文化学科
国際地域創造学部	国際地域創造学科 (昼間主コース)
理学部	数理科学科, 物質地球科学科 (物理系・地球環境系), 海洋自然科学科 (化学系・生物系)
医学部	保健学科
工学部	工学科 (機械工学コース, エネルギー環境工学コース, 電気システム工学コース, 電子情報通信コース, 社会基盤デザインコース, 建築学コース, 知能情報コース)
農学部	亜熱帯地域農学科, 亜熱帯農林環境科学科, 地域農業工学科, 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを除く)

上記⑤の学部・学科等においては、共通テストを免除し、独立行政法人日本学生支援機構が令和4年6月・11月及び、令和5年6月に実施した「日本留学試験」のいずれかの成績及び個別学力検査等の成績等を総合判定して、入学者を選抜します。

「日本留学試験」を複数回受験した場合は、成績利用を希望する回の「成績確認書」又は「日本留学試験成績通知書 (写)」を提出してください (134～136ページを参照)。

【5】令和6年度入学者選抜方法等

(1) 入学者選抜方法等（一般選抜、専門高校・総合学科卒業生選抜）

学部・学科等			選抜方法等		個別学力検査等						専門高校・総合学科卒業生選抜				個別学力検査等の日程	備考 欠員の補充の方法等		
					個別学力検査を課す	実技検査等			2段階選抜			個別学力検査を課す	実技検査等				募集人員	
						実技検査を課す	面接又は口頭試問を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	共通テストの成績により第1次段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1次段階の選抜による合格者 定員に対する倍率 その他		実技検査を課す	面接又は口頭試問を行う				小論文を課す
人文社会学部	国際法政学科	前期	○	×	×	×	×	実施しない	実施しない	2月25日	3月12日							
		後期	×	×	×	○	×											
	人間社会学科	前期	×	×	×	○	×											
		後期	×	×	○	×	×											
	琉球アジア文化学科	前期	×	×	○	○	×											
		後期	×	×	○	×	×											
国際地域創造学部	昼間主コース 国際地域創造学科	(国際的思考系)	前期	○	×	×	×	実施しない	実施しない	2月25日	3月12日							
			後期	×	×	×	○						×					
		(論理的思考系)	前期	×	×	×	○						×					
			後期	×	×	×	○						×					
	夜間主コース 国際地域創造学科	(国際的思考系)	前期	○	×	×	×						実施しない	実施しない	2月25日	3月12日		
			後期	×	×	×	○											×
		(論理的思考系)	前期	×	×	×	○											×
			後期	×	×	×	○											×
教育学部	小学校教育コース	学校教育専攻	前期	×	×	○	○	実施しない	実施しない	2月25日 2月26日	2月25日 2月26日	追加合格を実施して、なお欠員がある場合には、欠員補充第2次募集を行うことがある						
		教科教育専攻	前期	○	×	○	×											×
	中学校教育コース 教科教育専攻	国語教育専修	前期	○	×	○	×											×
		社会科教育専修	前期	×	×	○	○											×
		数学教育専修	前期	○	×	○	×						×					
		理科教育専修	前期	○	×	○	×						×					
		音楽教育専修	前期	○	○	○	×						×					
		美術教育専修	前期	○	○	○	×						×					
		保健体育専修	前期	×	○	○	×						×					
		技術教育専修	前期	○	×	○	×						×					
		生活科学教育専修	前期	×	×	○	○						×					
		英語教育専修	前期	○	×	○	×						×					
	特別支援コース 特別支援	特別支援教育専修	前期	×	×	○	×						×	2月25日	注5参照			

学部・学科等		選抜方法等		個別学力検査等							専門高校・総合学科卒業生選抜				個別学力検査等の日程	備考 欠員の補充の方法等		
				個別学力検査を課す	実技検査等			2段階選抜				個別学力検査を課す	実技検査等				募集人員	
					実技検査を課す	面接又は口頭試問を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	共通テストの成績により第1次段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1次段階の選抜による合格者	定員に対する倍率		その他	実技検査を課す				面接又は口頭試問を行う
理学部	数理学科	前期	○	×	×	×	×	実施しない	実施しない	2月25日	3月12日	2月25日	3月12日	2月25日	注6参照	3月12日		
		後期	○	×	×	×	×											
	物質地球科学科	前期	○	×	×	×	×											
		後期物理系	×	×	×	×	×											
		後期地球環境系	×	×	×	○	×											
	海洋自然科学科	前期	○	×	×	×	×											
		後期化学系	×	×	×	×	×											
		後期生物系	×	×	×	○	×											
	医学部	医学科	前期	○	×	○	×										×	○
後期			×	×	○	○	×	○	約10倍	×								
保健学科		前期	○	×	○	×	×	実施しない	2月25日 2月26日	3月12日								
		後期	×	×	○	○	×											
工学部	工学科	前期	○	×	×	×	×	実施しない	実施しない	2月25日 注5参照								
		後期	×	×	×	×	×											
農学部	亜熱帯地域農学科	前期	○	×	×	×	×	実施しない	実施しない	2月25日 3月12日	2月25日 3月12日	2月25日 3月12日	2月25日 3月12日					
		後期	×	×	○	×	×											
	亜熱帯農林環境科学科	前期	○	×	×	×	×											
		後期	×	×	○	×	×											
	地域農業工学科	前期	○	×	×	×	×											
		後期	×	×	○	×	×											
	亜熱帯生物資源科学科	前期	○	×	×	×	×											
		後期	×	×	○	×	×											
	健康栄養科学コース	前期	○	×	×	×	×							2月25日				

注：

- 印は実施する，×印は実施しないことを表します。
- 後期日程の人文社会学部琉球アジア文化学科の個別学力検査は、「口頭試問」を行います。
- 前期日程の教育学部学校教育教員養成課程中学校教科教育コース教科教育専攻（音楽教育専修・美術教育専修・保健体育専修）の試験実施方法は、「7. 実技検査等実施方法（教育学部）」（72～74ページ）を参照すること。
- 教育学部学校教育教員養成課程中学校教科教育コース教科教育専攻（英語教育専修）の面接は、一部英語による面接試験を行います。
- 後期日程の選抜で個別学力検査及び実技検査等を課さない場合は、共通テストの成績及び調査書の内容を総合して判定します。

(2) 特別選抜の概要

学部・学科等		選抜方法等	学校推薦型選抜							総合型選抜		帰国生徒・ 社会人・私費 外国人留学生 のための特別選抜		
			入学定員の一部について、出身高校等の長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する。							I	II	帰国生徒	社会人	私費外国人留学生
			推薦I	推薦II	実技検査等				募集人員					
			個別学力検査を免除する	個別学力検査を課す	実技検査を課す	面接又は口頭試問を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す						
人文社会学部	国際法政学科	×	○	×	○	○	×	16名	×	×	○	×	○	
	人間社会学科	哲学プログラム	×	○	×	○	○	×	5名	×	×	○	×	○
		心理学プログラム	×	○	×	○	○	×	8名	×	×	○	×	○
		社会学プログラム	×	○	×	○	○	×	8名	×	×	○	×	○
	琉球アジア文化学科	×	○	×	○	○	×	6名	×	×	○	×	○	
国際地域創造学部	昼間コース	国際地域創造学科	○	×	×	○	○	×	50名	×	×	○	×	○
	夜間コース	国際地域創造学科	○	×	×	○	○	×	13名	×	×	×	○	×
教育学部	学校教育専攻	学校教育専攻	×	○	×	○	○	×	※1 10名	○	×	×	×	×
		国語教育専修	×	○	×	○	○	×	2名	×	×	×	×	×
		社会科教育専修	×	○	×	○	○	×	2名	×	×	×	×	×
		数学教育専修	×	○	×	○	×	×	2名	×	×	×	×	×
		理科教育専修	×	○	×	○	×	×	2名	×	×	×	×	×
		音楽教育専修	×	○	○	○	○	×	2名	×	×	×	×	×
		美術教育専修	×	○	×	○	○	×	2名	×	×	×	×	×
		保健体育専修	×	○	×	○	×	×	2名	×	×	×	×	×
		技術教育専修	×	○	×	○	×	×	2名	×	×	×	×	×
		生活科学教育専修	×	○	×	○	○	×	2名	×	×	×	×	×
	中学校教育専攻	国語教育専修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		社会科教育専修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		数学教育専修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		理科教育専修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		音楽教育専修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		美術教育専修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
		保健体育専修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		技術教育専修	○	×	×	○	×	×	1名	×	×	×	×	×
		生活科学教育専修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	英語教育専修	○	×	×	○	×	×	1名	×	×	×	×	×	
特別支援教育	特別支援教育専攻	特別支援教育専修	×	○	×	○	×	×	2名	×	×	×	×	

学部・学科等		学校推薦型選抜								総合型選抜		帰国生徒・私費外国人留学生のための特別選抜		
		入学定員の一部について、出身高校等の長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する。												
		推薦Ⅰ	推薦Ⅱ	実技検査等				募集人員	I	II	帰国生徒	社会人	私費外国人留学生	
		個別学力検査を免除し共通テストを課さない	個別学力検査を課す	実技検査を課す	面接又は口頭試問を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す		共通テストを課さない	共通テストを課す				
理学部	数理学科	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
	物質地球科学	物理系	×	○	×	○	×	×	5名	×	×	○	×	○
		地球環境系	×	○	×	○	×	×	3名	×	×	○	×	○
	海洋自然科学	化学系	×	○	×	○	×	×	10名	×	×	○	×	○
生物系		×	○	×	○	×	×	1名	×	×	○	×	○	
医学部	医学科	×	○	×	○	○	×	※2 5名	×	×	×	×	×	
	保健学科	×	○	×	○	×	×	9名	×	×	○	×	○	
工学部	工学科	機械工学コース	×	○	×	○	×	×	11名	○	×	×	○	○
		エネルギー環境工学コース	×	○	×	○	×	×	7名	○	×	×	○	○
		電気システム工学コース	×	○	×	○	×	×	9名	○	×	×	○	○
		電子情報通信コース	×	○	×	○	×	×	7名	○	×	×	○	○
		社会基盤デザインコース	×	○	×	○	×	×	10名	○	×	×	○	○
		建築学コース	×	○	×	○	×	×	10名	○	×	×	○	○
		知能情報コース	×	○	×	○	×	×	14名	○	×	×	○	○
農学部	亜熱帯地域農学科	○	×	×	○	○	×	5名	×	○	○	×	○	
	亜熱帯農林環境科学科	○	×	×	○	○	×	5名	×	○	○	×	○	
	地域農業工学科	○	×	×	○	○	×	5名	×	○	○	×	○	
	亜熱帯生物資源科学科	○	×	×	○	○	×	6名	×	○	○	×	○	
	健康栄養科学コース	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	

※1 沖縄県内地域指定推薦2名、一般推薦8名。

※2 募集人員の詳細については、3ページ参照。

【6】学校推薦型選抜の推薦人員

学部	学 科 等		推 薦 人 員	
人文社会学部	国際法政学科		1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき3名以内。	
	人間社会学科	哲学プログラム	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき3名以内。	
		心理学プログラム	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき5名以内。	
		社会学プログラム	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき2名以内。	
	琉球アジア文化学科		1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき2名以内。	
創造学地域	昼間主入	国際地域創造学科	各高等学校等の長が推薦できる人員は、1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき昼間主は6名、夜間主は3名以内とします。ただし、専門高校卒業生枠については、昼間主は2名、夜間主は2名以内とし、専門高校卒業生枠は内数とします。	
	夜間主入	国際地域創造学科		
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	学校教育専攻	①沖縄県内地域指定推薦 1 高等学校等（定時制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。
			②一般推薦 1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。	
			※①沖縄県内地域指定推薦と②一般推薦の両方の枠に同一人物を推薦することはできません。	
		教科教育専攻	国語教育専修	各専修とも1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。
			社会科教育専修	
			数学教育専修	
			理科教育専修	
			音楽教育専修	
			美術教育専修	
			保健体育専修	
技術教育専修				
中学校教育コース	教科教育専攻	技術教育専修		
	英語教育専修			
特別支援教育コース	特別支援教育専攻	特別支援教育専修		
理学部	物質地球科学科	物理系	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。	
		地球環境系	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。	
	海洋自然科学科	化学系	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。	
		生物系	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。	
医学部	医 学 科		1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき3名以内。	
	保 健 学 科		1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき2名以内。	
工学部	工 学 科	機械工学コース	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。	
		エネルギー環境工学コース		
		電気システム工学コース		
		電子情報通信コース		
		社会基盤デザインコース		
		建築学コース		
		知能情報コース		
農学部	亜熱帯地域農学科		各学科とも1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき2名以内。ただし、1 高等学校等から農学部へ推薦可能な人員は5名とします。	
	亜熱帯農林環境科学科			
	地域農業工学科			
	亜熱帯生物資源科学科(健康栄養科学コースを除く)			

【7】一般選抜（前期日程・後期日程）令和6年度入学者選抜の実施教科・科目等（各学部のページ参照）

○「1. 一般選抜（前期日程・後期日程）令和6年度入学者選抜の実施教科・科目等」の読み方・留意事項
【共通テスト及び個別学力検査の教科・科目名の略記について】

共通テスト及び個別学力検査の教科・科目名は、以下のとおり略記しています。

教科	科目名
国語→国	国語→国, 国語総合→国総, 国語表現→国表, 古文→古, 漢文→漢
地理歴史→地歴	世界史A→世A, 世界史B→世B, 日本史A→日A, 日本史B→日B
公民→公	現代社会→現社, 倫理→倫, 政治・経済→政経, 「倫理, 政治・経済」→倫・政経
数学→数	数学Ⅰ→数Ⅰ, 数学Ⅱ→数Ⅱ, 数学Ⅲ→数Ⅲ, 数学A→数A, 数学B→数B, 簿記・会計→簿・会, 情報関係基礎→情報
理科→理	物理基礎→物基, 化学基礎→化基, 生物基礎→生基, 地学基礎→地基
外国語→外	英語→英, ドイツ語→独, フランス語→仏, 中国語→中, 韓国語→韓 コミュニケーション英語Ⅰ→コミュ英Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ→コミュ英Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ→コミュ英Ⅲ, 英語表現Ⅰ→英表Ⅰ, 英語表現Ⅱ→英表Ⅱ
家庭→家	

【「共通テストの利用教科・科目名」欄について】

1. 各学部・学科等共通

- 共通テストの「地理歴史」及び「公民」は、この2教科を同一の試験時間において実施しますが、出題教科としては、それぞれ独立した教科です。
- 「地理歴史」・「公民」及び「理科」の試験時間において2科目を受験する場合は、解答順に前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。
- 本学が指定している教科、科目以外を「第1解答科目」としている場合は、その科目を利用できなくなり、受験資格がなくなります。
- 「理科」の「基礎を付した科目」とは「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」を指します。また、「基礎を付していない科目」とは「物理」「化学」「生物」「地学」を指します。同一名称を付した科目、すなわち物理基礎と物理、化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学を選択することは認めません。
- 「英語」は、リーディングとリスニングが一体型となります。

2. 教科・科目の選択例（〔前期日程〕理学部物質地球科学科物理系）

学部・学科等名 及び入学定員等	区分・ 日程	共通テストの利用教科・科目名	
		教科	科目名等
理学部 物質地球科学科 65人 物理系 前期28 後期7 その他5 地球環境系 前期19 後期3 その他3	前期 2月 25日	国	国 ●
		地歴 公民 数	世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 ●
		理	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注1) [計2科目] *下記の①, ②のいずれかから選択する。
		物理系	①物基 化基, 生基, 地基から1 化学, 生物, 地学から1 [計3科目] ※ただし、「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注2)
		外	②物理 化基, 生基, 地基から2 [計3科目] 又は 化学, 生物, 地学から1 [計2科目] 英, 独, 仏, 中, 韓から1 ●

教科：国語
国語（必須）を1科目選択する。
【計1科目】

教科：地歴と公民
世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経の中から1科目選択する。
【計1科目】

教科：数学
数Ⅰ・数A（必須）を1科目選択する。
数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1科目選択する。
【計2科目】

教科：外国語
英, 独, 仏, 中, 韓から1科目選択する。
【計1科目】

<p>教科：理科 《①の場合》 物基（必須）を1科目選択する。 化基, 生基, 地基から1科目選択する。 化学, 生物, 地学から1科目選択する。 【計3科目】 ※同一名称を付した科目の選択は認めません。</p>	<p>《②の場合》 物理（必須）を1科目選択する。 (化基, 生基, 地基から2科目選択する。) 又は (化学, 生物, 地学から1科目選択する。) 【計3科目または計2科目】</p>
---	---

3. 共通テストの利用教科・科目の得点の採用について

本学が指定する共通テストの利用教科・科目数	本学の指定した科目数を超えて受験した場合の取扱い
「地理歴史」・「公民」から1科目を選択する。	<u>「地理歴史」・「公民」から2科目を受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を採用します。</u>
「数学」から1科目を選択する。	<u>「数学」から2科目を受験した場合は、受験した科目のうち、高得点の1科目を採用します。</u>
「理科」の「基礎を付していない科目」から1科目を選択する。	<u>「理科」の「基礎を付していない科目」から2科目を受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を採用します。</u>
「理科」の「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目を選択する。	① 「理科」の「基礎を付した科目」から2科目及び「基礎を付していない科目」から1科目の計3科目を受験した場合は、「基礎を付した科目(2科目の合計得点)」と「基礎を付していない科目」のうち得点の高い方を採用します。 ② 「理科」の「基礎を付していない科目」から2科目を受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を採用します。
「地理歴史」・「公民」及び「数学」から2科目を選択する。 *人文社会学部 国際法政学科 後期日程 *国際地域創造学部 (夜間主コース) 国際地域創造学科 後期日程	<u>「地理歴史」・「公民」及び「数学」から3科目以上受験した場合は、「地理歴史」・「公民」の「第1解答科目」を採用後、「地理歴史」・「公民」の「第2解答科目」の得点若しくは「数学」の得点のうち、高得点の1科目を採用します。</u>

【「個別学力検査等」欄について】

1. 数学(甲)の出題範囲については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲの全範囲、数学Aの全範囲、数学Bの「数列」と「ベクトル」とします。
数学(乙)の出題範囲については、数学Ⅰ、数学Ⅱの全範囲、数学Aの全範囲、数学Bの「数列」と「ベクトル」とします。
※理学部数理科学科が後期日程において課す「数学」の出題範囲は、数学(甲)の出題範囲と同一とします。
※数学(甲)とは、「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」を、数学(乙)とは、「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」をいいます。
2. 物理基礎・物理の出題範囲については、物理基礎と物理をあわせた範囲から出題します。
3. 化学基礎・化学の出題範囲については、化学基礎と化学をあわせた範囲から出題します。
4. 生物基礎・生物の出題範囲については、生物基礎と生物をあわせた範囲から出題します。
5. 地学基礎・地学の出題範囲については、地学基礎と地学をあわせた範囲から出題します。

【「共通テスト・個別学力検査等の配点等」欄について】

1. 「配点に*印を付してある教科」は選択教科を表します。
2. 外国語「英語」の配点比率について
 - (1) 共通テストにおける外国語(英語)の【リーディング】と【リスニング】の配点比率については、原則として全学部1:1とし(教育学部学校教育教員養成課程中学校教育コース教科教育専攻社会科教育専修のみ3:1)、その得点合計を各学部等の定める外国語の配点に換算して利用します。
 - (2) 【リスニング】を受験しなかった場合の取扱いについては、【リスニング】は0点扱いとし、リーディングの得点のみを利用します。
 - (3) 受験上の配慮によって【リスニング】受験を免除された者については【リーディング】の得点を利用して換算します。

【前年度の共通テストの成績利用について】

本学では、令和6年度入学者選抜において、前年度の共通テストの成績は利用しません。

【8】障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等）

障がい等を有する者、疾病・負傷等により受験上及び修学上の配慮を必要とする志願者は、あらかじめ本学障がい学生支援室に「受験時における合理的配慮申請書」を郵送にて提出してください。

申請された配慮事項について、本学において検討し、その結果を「受験時における合理的配慮の検討結果通知書」により郵送にて通知します。検討結果通知書の受領後は、記載事項を確認のうえ同封の書類をご返送ください。

また、上記手続きには2～3週間を要します。合理的配慮の内容によっては、対応にさらなる時間を要する場合があります。

事前相談は随時受け付けておりますので、早めの相談、申請書の提出をお願いいたします。

（1）申請期限

選抜区分	期限（消印有効）
総合型選抜	令和5年 7月28日（金）
学校推薦型選抜，社会人特別選抜， 帰国生徒特別選抜（令和5年12月試験実施），私費外国人留学生特別選抜	令和5年10月20日（金）
一般選抜，社会人特別選抜（令和6年2月試験実施）， 帰国生徒特別選抜（令和6年2月試験実施）	令和5年12月15日（金）

※申請期限後の書類については受理しませんのでご注意ください。

※大学入学共通テストで受験上の配慮申請が認められた場合でも、本学の障がい学生支援室へ申請が必要です。

なお、申請期限後に不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）のため、受験上の配慮を希望する場合は、下記問い合わせ先までご相談ください。

（2）申請の方法

以下の書類を障がい学生支援室へ「簡易書留」又は「レターパックプラス」で郵送してください。

- ① 「受験時における合理的配慮申請書」（本学指定の様式）
- ② 「医師からの意見書」（本学指定の様式）
- ③ その他検討する際に必要な参考資料

上記①及び②の本学指定の様式は、本学障がい学生支援室ホームページ（<https://g-support.std.u-ryukyu.ac.jp/>）「支援を希望される皆さまへ」よりダウンロードできます。

※共通テストで受けた配慮が分かる資料（配慮決定通知文の写し等）があれば提出してください。

※必要に応じて、追加資料の提出を依頼することもあります。

※本学が必要と判断した場合は、本学において志願者、保護者又はその立場を代弁し得る出身学校担当者等との面談等を行います。

問い合わせ先：琉球大学障がい学生支援室
〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
電話 098-895-8750 FAX 098-895-8791
E-mail g-support@acs.u-ryukyu.ac.jp

【9】入試情報開示に関する事項

（1）入学試験問題及び解答例又は出題意図等

本学個別学力検査等の試験問題については、当該試験終了後、報道機関に提供します。

また、著作権法に抵触しない試験問題等については、令和6年4月頃に本学ホームページ（[入試情報]→[入試データ]）に掲載します。

著作権法に抵触する試験問題については、令和6年6月以降に、大学にて閲覧することができます。閲覧方法の詳細については、入試課にお問い合わせください。

（2）合格者の成績（合格者の最高点、最低点、平均点）

合格者の成績（大学入学共通テストと個別学力検査の総合点の最高点、最低点、平均点）を令和6年5月に本学ホームページ（[入試情報]→[入試データ]）に掲載します。

ただし、合格者が少人数の学科等については、公表しない場合があります。

（3）試験成績開示

令和6年度選抜受験者の個人成績を、インターネット出願サイトで、出願時に試験成績開示を希望した方に開示します。詳細については、各学生募集要項に掲載します。

【10】学生募集要項の発表時期について

学生募集要項の発表時期

出願手続，出願書類，個別学力検査等の実施日時及び試験場等を記載した「学生募集要項」を以下のとおり発表する予定です。

※本学ホームページ→[入試情報]で発表します。受験する選抜の募集要項を必ず確認してください。


学生募集要項	発表時期
総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）学生募集要項	令和5年6月下旬
総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す）学生募集要項	
学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）学生募集要項	令和5年9月下旬
学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）学生募集要項	
社会人特別選抜学生募集要項	
帰国生徒特別選抜学生募集要項	
私費外国人留学生特別選抜学生募集要項	令和5年12月中旬
一般選抜学生募集要項	

【11】「大学案内」の請求について

令和5年5月に発行された大学案内は，以下の方法で請求できます。

《テレメール》での請求（郵便配達を利用する場合）

① 本学のホームページから請求する場合

本学ホームページから  テレメールを利用して大学案内及び募集要項等の資料が請求できます。詳しくは，本学ホームページ (<https://www.u-ryukyu.ac.jp> → [入試情報 リンク集]) をご覧ください。

② インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）または自動音声応答電話で請求する場合

1) 下記のいずれかの方法で  テレメールにアクセスしてください。

インターネット (パソコン・スマートフォン・携帯電話)	http://telemail.jp パソコン・携帯電話とも共通アドレス	携帯電話でバーコードを読み取り，アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。 
自動音声応答電話	IP電話 050-8601-0101 ※IP電話への通話料金は，一般電話回線からは日本全国どこからでも3分毎に約12円です。	

2) 請求を希望する資料請求番号（6桁）をプッシュまたは入力してください。

資料名	資料請求番号	発送開始予定
琉球大学案内	568292	令和5年7月下旬

3) 音声ガイダンスに従って登録してください。

③ テレメールでの請求方法に関する注意事項

- 発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は、発送開始日の翌日から3日程で資料が届きます。
- 発送開始日以降に請求された資料は請求してから2～3日程で届きます。ただし、受付日時や地域、配達事情によっては、4日以上かかる場合もあります（お届けまでの日数は請求日の翌日を起算日とします）。なお、5日以上経っても届かない場合は、下記テレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。
- 送料はお届けする資料に同封されている支払方法に従い、表示料金をお支払いください。支払い方法は「郵便局・ゆうちょ銀行での払込み」「コンビニ支払い」「ケータイ払い（携帯電話通話料金と一緒にのお支払い）」がご利用になれます。なお、支払いに際して手数料が別途必要になります（手数料は支払い方法によって異なります）。送料は資料の重量変更により変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 自動音声応答電話によるご請求の場合、住所・名前の録音時は、ゆっくりはっきりとお話してください。録音された音声の不鮮明な場合は、電話で住所・名前を確認することがありますので、電話番号は必ずご登録ください。
- 請求時期によっては資料がなくなり、早期終了する場合がありますのであらかじめご了承ください。

テレメールでの請求方法についてのお問い合わせ先：

テレメールカスタマーセンター **IP電話** 050-8601-0102（9：30～18：00）

《モバっちょ》での請求（宅配を利用する場合）

① 本学のホームページから請求する場合

本学ホームページからモバっちょを利用して大学案内及び募集要項等の資料が請求できます。詳しくは、本学ホームページ（[入試情報 リンク集]）をご覧ください。

② インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）で請求する場合

<https://djc-mb.jp/u-ryukyu3/>

パソコン・スマートフォン・携帯電話とも共通アドレス



携帯電話の機種等によっては、利用できない場合があります。

※支払い方法は、携帯電話の場合は通話料金と一緒にのお支払い、パソコンの場合はクレジットカード決済のみとなります。

モバっちょでの請求方法についてのお問い合わせ先：

モバっちょカスタマーセンター 050-3540-5005（平日10：00～18：00）

《LINE》での請求（スマートフォン限定となります）

「LINEで資料請求」をご利用いただく場合は、LINEアプリをインストールしているスマートフォンで、以下のQRコードからアクセスしてご利用ください。



【12】全学部の基本的な合否判定基準

※受験を希望する学部の合否判定基準については、各学部のページを確認してください。

一般選抜

- 共通テストの成績と個別学力検査等の成績の総合得点により、上位から順次合格者とします。
- 共通テスト及び個別学力検査等のいずれか1科目（実技検査、小論文、面接等を含む）でも欠席又は0点の者については、不合格とします。

総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）

- 個別学力検査等の成績の総合得点により、上位から順次合格者とします。
- 個別学力検査等のいずれか1科目（実技検査、小論文、面接等を含む）でも欠席又は0点の者については、不合格とします。

総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

- 共通テスト及び個別学力検査等のいずれか1科目（実技検査、小論文、面接等を含む）でも欠席又は0点の者については、不合格とします。

学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）

- 個別学力検査等の成績の総合得点により、上位から順次合格者とします。
- 個別学力検査等のいずれか1科目（実技検査、小論文、面接等を含む）でも欠席又は0点の者については、不合格とします。

学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

- 共通テストの成績と個別学力検査等の成績等、「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により、上位から順次合格者とします。（ただし、人文社会学部の人間社会学科、教育学部の学校教育教員養成課程小学校教育コース学校教育専攻、小学校教育コース教科教育専攻（国語教育専修・社会科教育専修・数学教育専修・音楽教育専修・保健体育専修・英語教育専修）を除く）
- 共通テスト及び個別学力検査等のいずれか1科目（実技検査、小論文、面接等を含む）でも欠席又は0点の者については、不合格とします。

社会人特別選抜

- 個別学力検査等の成績の総合得点により、上位から順次合格者とします。
- 個別学力検査等（実技検査、小論文、面接等を含む）のいずれか1科目でも欠席又は0点の者については、不合格とします。

帰国生徒特別選抜

- 個別学力検査等の成績の総合得点により、上位から順次合格者とします。
- 個別学力検査等（実技検査、小論文、面接等を含む）のいずれか1科目でも欠席又は0点の者については、不合格とします。

私費外国人留学生特別選抜

- 日本留学試験及び個別学力検査等の成績の総合得点により、上位から順次合格者とします。
- 日本留学試験及び個別学力検査等（実技検査、小論文、面接等を含む）のいずれか1科目でも欠席又は0点の者については、不合格とします。

【13】各学部の入学者選抜について

人文社会学部

人文社会学部では、次の入学者選抜方法を実施します。

国際法政学科・人間社会学科・琉球アジア文化学科

- 1) 一般選抜（前期日程・後期日程）
- 2) 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）
※人間社会学科のみプログラムごとを実施します。
- 3) 帰国生徒特別選抜
- 4) 私費外国人留学生特別選抜

募集人員は次のとおりです。

学部	学科・課程・(選抜方式)等	入学定員(名)	募 集 人 員 (名)								
			一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		社会人	帰国生徒	私費外国人
			分離分割方式		共通テストを課さない	共通テストを課す	共通テストを課さない	共通テストを課す			
			前期日程	後期日程							
人文社会学部	国際法政学科	80	50	14				16		若干名	若干名
	人間社会学科	哲学プログラム	80	41	18				5	若干名	若干名
		心理学プログラム							8		
		社会学プログラム							8		
	琉球アジア文化学科	40	25	9				6		若干名	若干名
計	200	116	41				43				

1. 一般選抜..... 26～27ページ
2. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）..... 28～30ページ
3. 帰国生徒特別選抜..... 31ページ
4. 私費外国人留学生特別選抜..... 31ページ
5. 個別学力検査等の採点・評価基準..... 32～33ページ
6. 合否判定基準..... 34ページ
7. 募集人員の留意事項..... 34～35ページ
8. 人文社会学部のプログラムの配属等について..... 35ページ

各選抜の出願手続、出願書類、個別学力検査等の実施日時及び試験会場等については、「学生募集要項」を必ず確認してください。

「学生募集要項」は本学ホームページに掲載します。（22ページ参照）

1. 一般選抜（前期日程・後期日程）

令和6年度入学者選抜の実施教科・科目等

学部・学科等名 及び入学定員等 〔令和5年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・日程	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜
人文社会 学部 〔3.7〕 200名 前期120 後期41 その他39	国際法政 学科 80名 前期 50名 2月25日	国 地歴 公民 数理 外	国 世B, 日B, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (6教科6科目又は6教科7科目)	外 その他	英(コミュ英Ⅰ ・コミュ英Ⅱ ・コミュ英Ⅲ ・英表Ⅰ ・英表Ⅱ) ※リスニング は除く 調査書	
	後期 14名 3月12日	国 地歴 公民 数 外	国 世B, 日B, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注) ※地理歴史, 公民, 数学から2科目選択する。 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (4教科4科目)	その他	小論文 調査書	
人間社会 学科 80名	前期 41名 2月25日	国 地歴 公民 数理 外	国 世B, 日B, 地理Bから2①※ 世B, 日B, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 ②※ ※地歴・公民は, ①②のいずれかを選択する。 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科6科目若しくは5教科7科目) 又は (6教科6科目若しくは6教科7科目)	その他	小論文 調査書	
	後期 18名 3月12日	その他	面接			
琉球アジア 文化学 科 40名	前期 25名 2月25日 2月26日	国 地歴 公民 数理 外	国 世B, 日B, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (6教科6科目又は6教科7科目)	その他	小論文 面接 調査書	
	後期 9名 3月12日	その他	口頭試問			

〔注〕数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の
○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

人文社会学部

試験の区分	共通テスト・個別学力検査等の配点等												特別選抜 方法等		
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書		配点 合計	
共通テスト	200	100	100	100	100	200							800	推 薦 帰国生徒 私 費	
個別学力検査等						200						50	250	追加合格	
計	200	100	100	100	100	400						50	1050		
共通テスト	200	*200 *1科目100点				200							600		
個別学力検査等											200	50	250		
計	200	200				200					200	50	850		
共通テスト	200	*200 *1科目100点		100	100	200							800	推 薦 帰国生徒 私 費	
個別学力検査等											200	50	250	追加合格	
計	200	200		100	100	200					200	50	1050		
共通テスト	200	*200 *1科目100点		100	100	200							800		
個別学力検査等											200		200		
計	200	200		100	100	200					200		1000		
共通テスト	200	100	100	50	50	200							700	推 薦 帰国生徒 私 費	
個別学力検査等											200	250	50	500	追加合格
計	200	100	100	50	50	200					200	250	50	1200	
共通テスト	100	50	50	50	50	100							400		
個別学力検査等											200		200		
計	100	50	50	50	50	100					200		600		

指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。

2. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

※国公立大学の学校推薦型選抜は、共通テストを課すもの及び課さないものを含め、1つの大学・学部にし
か出願できません。

学校推薦型選抜Ⅱ－1

実施学部 ・学科等	人文社会学部 国際法政学科
募集人員	16名
出願要件	<p>次の(1)～(3)又は(4)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を令和6年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 なお、学習成績概評が㊤に属する者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 高等学校等(*)以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記(4)に該当する志願者は、11ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（6教科6科目又は6教科7科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世B、日B、地理Bから1） ・公民（現社、倫、政経、倫・政経から1） ・数（数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1）（注） ・理（物基、化基、生基、地基から2） 又は （物理、化学、生物、地学から1） ・外（英、独、仏、中、韓から1） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・面接 ・調査書 <p>備考 （注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>
出願期間	令和5年11月 1日（水）～11月 4日（土）
選抜期日	令和5年12月 6日（水）
合格発表	令和6年 2月 9日（金）
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、1高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき3名以内

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	人文社会学部 人間社会学科
募集人員	哲学プログラム 5名
	心理学プログラム 8名
	社会学プログラム 8名
出願要件	<p>次の(1)～(3)又は(4)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を令和6年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 なお、学習成績概評が㊤又はAに属する者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 高等学校等(*)以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記(4)に該当する志願者は、11ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>ただし、共通テストの合計点が50%に満たない場合は不合格とします。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目 (5教科6科目若しくは5教科7科目)又は(6教科6科目若しくは6教科7科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国 (国) ・地歴 (世B, 日B, 地理Bから2) ①※ ・地歴 (世B, 日B, 地理Bから1) ・公民 (現社, 倫, 政経, 倫・政経から1) } ②※ <p>※地歴・公民は、①②のいずれかを選択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数 (数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1) (注) ・理 (物基, 化基, 生基, 地学から2) 又は (物理, 化学, 生物, 地学から1) ・外 (英, 独, 仏, 中, 韓から1) <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・面接 ・調査書 <p>備考 (注)：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。</p>
出願期間	令和5年11月 1日(水)～11月 4日(土)
選抜期日	令和5年12月 6日(水)
合格発表	令和6年 2月 9日(金)
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、1高等学校等(定時制及び通信制の課程を含む)につき哲学プログラム3名、心理学プログラム5名、社会学プログラム2名以内

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	人文社会学部 琉球アジア文化学科
募集人員	6名
出願要件	<p>次の(1)～(3)又は(4)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を令和6年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 なお、学習成績概評が㊤に属する者</p> <p>(3) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(4) 高等学校等(*)以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記(4)に該当する志願者は、11ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目(6教科6科目又は6教科7科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国 (国) ・地歴(世B, 日B, 地理Bから1) ・公民(現社, 倫, 政経, 倫・政経から1) ・数(数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1)(注) ・理(物基, 化基, 生基, 地基から2) <p>又は</p> <ul style="list-style-type: none"> (物理, 化学, 生物, 地学から1) ・外(英, 独, 仏, 中, 韓から1) <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・面接 ・調査書 <p>備考 (注): 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。</p>
出願期間	令和5年11月 1日(水)～11月 4日(土)
選抜期日	令和5年12月 6日(水)
合格発表	令和6年 2月 9日(金)
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、1高等学校等(定時制及び通信制の課程を含む)につき2名以内

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

3. 帰国生徒特別選抜

帰国生徒特別選抜－1

実施学部・学科等	人文社会学部	国際法政学科，人間社会学科，琉球アジア文化学科
募集人員	若干名	
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で，保護者の海外勤務等により外国で，2年以上滞在しており，次のいずれかに該当するもの。ただし，令和5年1月20日以前に帰国（一時的な短期の帰国を除く。）した者は，出願を認めない。</p> <p>(1) 学校教育における12年の課程を修了した者又は令和6年3月31日までに修了見込みの者で，原則として，外国において最終学年を含め，2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けているもの（ただし，外国に設置されたものであっても，日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学して教育を受けた期間は，「2年以上」という期間には算入しない。）</p> <p>(2) 外国において，スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者，ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者，フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者及びグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEAレベル）を有する者</p> <p>(3) 本学において，個別の入学資格審査により入学資格認定書の交付を受けた者</p> <p>○上記（3）に該当する志願者は，11ページの入学資格審査を参照すること。</p>	
選抜方法等	共通テストを免除し，成績証明書（調査書），小論文及び面接を総合して選考します。	
出願期間	令和5年11月1日（水）～11月4日（土）	
選抜期日	令和5年12月6日（水）	
合格発表	令和5年12月15日（金）	
その他	<p>1. 出願書類</p> <p>(1) 出願確認票，卒業（修了）証明書又は同見込み証明書，成績証明書，身上記録，保護者の在外勤務などに関する証明書等</p> <p>(2) 国際バカロレア資格を取得した者は，その証明書の写しと最終試験6科目の成績評価証明書</p> <p>(3) アビトゥア資格を取得した者は，一般的大学入学資格証明書（Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife）の写し</p> <p>(4) バカロレア資格（フランス共和国）を取得した者は，その証明書の写し</p> <p>(5) ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル）を有する者は，成績評価証明書</p> <p>※ 外国の学校又は機関が作成する書類について，日本語以外の場合は，日本語訳を添付すること。</p> <p>※ 表彰を受けた者は，関係書類の写しを添付すること。</p> <p>2. 本学他学部・学科等の帰国生徒特別選抜との併願は認めない。</p>	

4. 私費外国人留学生特別選抜

人文社会学部では，私費外国人留学生特別選抜を実施します。詳細は，134～136ページを参照してください。

5. 個別学力検査等の採点・評価基準

① 教科・科目

外国語	<p>○読解問題では、情報や概念などを理解する力、概要や要点を捉える力、文章の論理的な構成を理解する力を語彙、文法、論理性の観点から総合的に評価します。</p> <p>○口頭表現問題では、場面や目的に応じた基本的な慣用句や熟語、英語的言い回しの習熟度等の観点から評価します。</p> <p>○作文問題では、内容、文章構成力、表現力の観点から評価します。</p> <p>○綴りや文法上誤りがあり、解答が完全に正しくない場合でもコミュニケーションの観点から理解可能であれば誤りの度合いに応じた部分点を与えます。</p>
-----	---

② 教科・科目以外の科目

※「社会人」は社会人特別選抜、「帰国」は帰国生徒特別選抜、「私費」は私費外国人留学生特別選抜を意味します。

1) 人文社会学部

ア) 国際法政学科

一般選抜	調査書 (前期日程, 後期日程)	○総合的な学習を含む学業成績を評価します。
	小論文 (後期日程)	○理解力、考察力、論理的思考力、記述力、完結度等を評価します。 ○誤字、脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
学校推薦型 選抜Ⅱ	小論文	○理解力、考察力、論理的思考力、記述力、完結度等を評価します。 ○誤字、脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	面接	○意欲、目的意識、適性、表現力等を評価します。
	調査書	○総合的な学習を含む学業成績を評価します。
	推薦書	○受験生の人物、学校生活状況、学業成績、課外活動・特技・資格等を評価します。面接の評価に含めます。
	志願理由書	○進学のための目的、将来の計画及び長所・特技等を評価します。面接の評価に含めます。
帰国	小論文	○理解力、考察力、論理的思考力、記述力、完結度等を評価します。 ○誤字、脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	面接	○意欲、目的意識、適性、表現力等を評価します。
	成績証明書等	○学業成績、就学状況、課外活動、特技・資格等を評価します。面接の評価に含めます。
私費	面接	○進学の動機、学習意欲、日本語能力を総合的に評価します。

イ) 人間社会学科

一般選抜	小論文 (前期日程)	○理解力、考察力、論理的思考力、記述力、構成力等を評価します。 ○誤字、脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	調査書 (前期日程)	○学業成績等を評価します。
	面接 (後期日程)	○意欲、目的意識、適性、表現力等を評価します。なお調査書も本学部のアドミッション・ポリシーに照らして確認し、面接の参考資料とします。

学校推薦型 選 抜 II	小 論 文	○理解力, 考察力, 論理的思考力, 記述力, 構成力等を評価します。 ○誤字, 脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	面 接	○意欲, 目的意識, 適性, 表現力等を評価します。
	調 査 書	○学業成績を評点化するほか, 特別活動の記録や総合的な学習の時間の内容・評価, 部活動やボランティア活動, 取得資格, 検定など, 調査書の他の記載事項も本学部のアドミッション・ポリシーに照らして確認し, 面接の参考資料とします。
	推 薦 書	○学業, 人物, 課外活動等について, 面接の基礎資料とし, 面接の評価に含みます。
	志願理由書	○目的意識, 意欲, 志望に至った経緯, 記述力等について面接の基礎資料とし, 面接の評価に含みます。
帰 国	小 論 文	○理解力, 考察力, 論理的思考力, 記述力, 構成力等を評価します。 ○誤字, 脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	面 接	○意欲, 目的意識, 適性, 表現力等を評価します。
	成績証明書等	○学業成績, 就学状況, 課外活動, 特技・資格等を評価します。
私 費	面 接	○進学動機, 学習意欲, 日本語能力を総合的に評価します。

ウ) 琉球アジア文化学科

一 般 選 抜	小 論 文 (前期日程)	○理解力, 考察力, 論理的思考力, 記述力, 完結度等を評価します。 ○誤字, 脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	面 接 (前期日程)	○意欲, 目的意識, 適性, 表現力等を評価します。
	調 査 書 (前期日程)	○「学習成績の状況」を点数化します。
	口 頭 試 問 (後期日程)	○論理的思考力, 積極性, 表現力等を評価します。
学校推薦型 選 抜 II	小 論 文	○理解力, 考察力, 論理的思考力, 記述力, 完結度等を評価します。 ○誤字, 脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	面 接	○意欲, 目的意識, 適性, 表現力等を評価します。
	調 査 書	○「学習成績の状況」を点数化します。
	推 薦 書	○学業, 課外活動及び特技等を考慮して総合的に評価し, 面接の評価にも含みます。
	志願理由書	○志願理由・動機, 将来計画及び長所・特技・アピール点等を総合的に評価し, 面接の評価に含みます。
帰 国	小 論 文	○理解力, 考察力, 論理的思考力, 記述力, 完結度等を評価します。 ○誤字, 脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	面 接	○意欲, 目的意識, 適性, 表現力等を評価します。
	成績証明書等	○学業成績, 就学状況, 課外活動, 特技・資格等を評価します。
私 費	小 論 文	○理解力, 考察力, 論理的思考力, 記述力, 完結度等を評価します。 ○誤字, 脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	面 接	○進学動機, 学習意欲, 日本語能力を総合的に評価します。

6. 合否判定基準

全学に適用される全学部的基本的な合否判定基準（24ページ）も併せて参照してください。

ア) 国際法政学科

一般選抜	○総合得点が同点の場合は、次の順序に従って順位付けを行います。 1. 共通テストの得点上位者 2. 上記が同点の場合は同順位とし、その順位が合格者の最下位である場合は、全員合格とします。
学校推薦型選抜Ⅱ	○共通テストの成績、小論文、面接及び出願書類を総合的に判定します。
帰国	○小論文、面接及び出願書類を総合的に判定します。
私費	○日本留学試験及び面接を総合的に判定します。

イ) 人間社会学科

一般選抜	○総合得点が同点の場合は、次の順序に従って順位付けを行います。 1. 共通テストの得点上位者 2. 上記が同点の場合は同順位とし、その順位が合格者の最下位である場合は、全員合格とします。
学校推薦型選抜Ⅱ	○共通テストの成績、小論文、面接及び出願書類を総合的に判定します。 ○共通テストの合計点が50%に満たない場合は不合格とします。
帰国	○小論文、面接及び出願書類を総合的に判定します。
私費	○日本留学試験及び面接を総合的に判定します。

ウ) 琉球アジア文化学科

一般選抜	○総合得点が同点の場合は、次の順序に従って順位付けを行います。 1. 共通テストの得点上位者 2. 上記が同点の場合は同順位とし、その順位が合格者の最下位である場合は、全員合格とします。
学校推薦型選抜Ⅱ	○共通テストの成績、小論文、面接及び出願書類を総合的に判定します。
帰国	○小論文、面接及び出願書類を総合的に判定します。
私費	○日本留学試験、小論文及び面接を総合的に判定します。

7. 募集人員の留意事項

- (1) 人文社会学部では、各学科単位で募集を行い、1年次の間は合格した学科に配属されます。
1年次後学期を修了した時点で、本人の希望と1年次の成績等に基づき、2年次前学期から各プログラムに配属されます。
- (2) 人間社会学科の学校推薦型選抜Ⅱでは、プログラム単位で募集します。この選抜で入学した学生は、2年次前学期から合格したプログラムに配属されます。
- (3) 定員補充について
 - ① 以下の特別選抜の入学手続者が募集人員に満たなかった場合は、以下の選抜区分で満たない分の募集人員を補充します。

学 科	募集人員に満たなかった選抜区分	満たない分の募集人員の 補充を行う選抜区分
国際法政学科 人間社会学科 琉球アジア文化学科	学校推薦型選抜Ⅱ	一般選抜（前期日程）

② 以下の特別選抜の募集人員（若干名）は以下の選抜区分の募集人員に含まれます。

学 科	該当する特別選抜	特別選抜の募集人員を含む選抜区分
国際法政学科 人間社会学科	帰国生徒特別選抜	一般選抜（前期日程）
琉球アジア文化学科	私費外国人留学生特別選抜	一般選抜（後期日程）

（4）欠員補充

入学手続完了者が入学定員に達しなかった場合に、追加合格を実施してなお欠員がある場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

8. 人文社会学部のプログラムの配属等について

人文社会学部では、1年次の間は合格した学科に配属されます。1年次後学期を修了した時点で、本人の希望と1年次の成績等に基づき、2年次前学期から下記の表のとおり各プログラムに配属されます。ただし、下記に示すプログラムの受入人数は目安であり、各プログラムへの配属数は最終的に変動する場合があります。また、学生本人の成績やプログラムの受入人数等により、全学生の希望どおりの配属とならない可能性があります。

全ての学生は、2年次前学期から各プログラムに配属されます。

国 際 法 政 学 科	法学プログラム	40名
	政治・国際関係学プログラム	40名
人 間 社 会 学 科	哲学プログラム	18名
	心理学プログラム	30名
	社会学プログラム	32名
琉球アジア文化学科	歴史・民俗学プログラム	14名
	言語学プログラム	13名
	文学プログラム	13名

※人間社会学科の学校推薦型選抜Ⅱで入学した学生は、2年次前学期から合格したプログラムに配属されます。

【13】各学部の入学者選抜について

国際地域創造学部

国際地域創造学部国際地域創造学科では、次の入学者選抜方法を実施します。

昼間主コース（国際的思考系，論理的思考系，数学的思考系）

- 1) 一般選抜（前期日程：国際的思考系，論理的思考系，数学的思考系）
（後期日程：国際的思考系，論理的思考系）
- 2) 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）
- 3) 帰国生徒特別選抜
- 4) 私費外国人留学生特別選抜

夜間主コース（国際的思考系，論理的思考系）

- 1) 一般選抜（前期日程：国際的思考系，論理的思考系）
（後期日程：国際的思考系，論理的思考系）
- 2) 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）
- 3) 社会人特別選抜

募集人員は次のとおりです。

学部	学科・課程・（選抜方式）等			入学定員（名）	募集人員（名）								
					一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		社会人	帰国生徒	私費外国人
					分離分割方式		共通テストを課さない	共通テストを課す	共通テストを課さない	共通テストを課す			
					前期日程	後期日程							
国際地域創造学部	昼間主コース	国際地域創造学科	（国際的思考系）	265	60	15							
			（論理的思考系）		90	20		50			若干名	若干名	
			（数学的思考系）		30								
	夜間主コース	国際地域創造学科	（国際的思考系）	80	20	5							
			（論理的思考系）		24	8		13		10			
	計				345	224	48			63		10	

1. 一般選抜（前期日程・後期日程）…………… 38～41ページ
2. 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）…………… 42ページ
3. 社会人特別選抜（夜間主コースのみ）…………… 43ページ
4. 帰国生徒特別選抜…………… 44ページ
5. 私費外国人留学生特別選抜…………… 45ページ
6. 個別学力検査等の採点・評価基準…………… 45～46ページ
7. 合否判定基準…………… 46ページ
8. 募集人員の留意事項…………… 46～47ページ
9. 国際地域創造学部のプログラムの配属等について…………… 47～48ページ

各選抜の願書手続，出願書類，個別学力検査等の実施日時及び試験会場等については、「学生募集要項」を必ず確認してください。

「学生募集要項」は本学ホームページに掲載します。（22ページ参照）

1. 一般選抜（前期日程・後期日程）

令和6年度入学者選抜の実施教科・科目等

国際地域創造学部－1

学部・学科等名 及び入学定員等 〔令和5年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・日程	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜
国際地域 創造学部 〔3.1〕 345名 前期224 後期48 その他73	国際地域 創造学科 (昼間主) 265名 前期180 後期35 その他50	(国際的思考系) 前期 60名 2月25日	国 地歴 公民 数理 外	国 世B, 日B, 地理Bから2①※ 世B, 日B, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 } ②※ ※地歴・公民は, ①②のいずれかを選択する。 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (6教科6科目若しくは6教科7科目) 又は (5教科6科目若しくは5教科7科目)	外 英(コミュ英Ⅰ ・コミュ英Ⅱ ・コミュ英Ⅲ ・英表Ⅰ ・英表Ⅱ) ※リスニング は除く	
		(論理的思考系) 前期 90名 2月25日		その他	小論文 調査書	
		(数学的思考系) 前期 30名 2月25日		数 その他	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数A・数B) 調査書	
		(国際的思考系) 後期 15名 3月12日		その他	小論文(英語 資料読解) 調査書	
		(論理的思考系) 後期 20名 3月12日	その他	小論文 調査書		

(注) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の
○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

試験の区分	共通テスト・個別学力検査等の配点等												特別選抜 方法等	
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書		配点 合計
共通テスト	200	*200 *1科目100点		100	100	200							800	推 薦 帰 国 生 徒 費 追 加 合 格
個別学力検査等						200						50	250	
計	200	200		100	100	400						50	1050	
共通テスト	200	*200 *1科目100点		100	100	200							800	
個別学力検査等											200	50	250	
計	200	200		100	100	200					200	50	1050	
共通テスト	200	*200 *1科目100点		100	100	200							800	
個別学力検査等						200						50	250	
計	200	200		300	100	200						50	1050	
共通テスト	200	*200 *1科目100点		100	100	200							800	
個別学力検査等											300	50	350	
計	200	200		100	100	200					300	50	1150	
共通テスト	200	*200 *1科目100点		100	100	200							800	
個別学力検査等											300	50	350	
計	200	200		100	100	200					300	50	1150	

指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。

令和6年度入学者選抜の実施教科・科目等

国際地域創造学部－2

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・日程	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜
国際地域 創造学部 345名 前期224 後期48 その他73	(国際的思考系) 前期 20名 2月25日	国 地歴 公民 数理	国 世B, 日B, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数I・数A, 数II・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (6教科6科目又は6教科7科目)	外	英(コミュ英I ・コミュ英II ・コミュ英III ・英表I ・英表II) ※リスニング は除く	
				その他	調査書	
	(論理的思考系) 前期 24名 2月25日	外	その他	小論文 調査書		
	(国際的思考系) 後期 5名 3月12日	国 地歴 公民 数 外	国 世B, 日B, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数I・数A, 数II・数B, 簿・会, 情報から1 (注) ※地理歴史, 公民, 数学から2科目選択する。 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (4教科4科目)	その他	小論文(英語 資料読解) 調査書	
(論理的思考系) 後期 8名 3月12日	その他	小論文 調査書				

(注) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の
○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

試験の区分	共通テスト・個別学力検査等の配点等												特別選抜 方法等	
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書		配点 合計
共通テスト	200	100	100	100	100	200							800	推 薦 社 会 人 追 加 合 格
個別学力検査等						300						50	350	
計	200	100	100	100	100	500						50	1150	
共通テスト	200	100	100	100	100	200							800	
個別学力検査等											300	50	350	
計	200	100	100	100	100	200					300	50	1150	
共通テスト	200					200							600	
個別学力検査等											200	50	250	
計	200					200					200	50	850	
共通テスト	200					200							600	
個別学力検査等											200	50	250	
計	200					200					200	50	850	

指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。

2. 学校推薦型選抜 I（共通テストを課さない）

※国公立大学の学校推薦型選抜は、共通テストを課すもの及び課さないものを含め、1つの大学・学部にし
か出願できません。

学校推薦型選抜 I - 1

実施学部 ・学科等	国際地域創造学部 国際地域創造学科	
	昼間主コース	夜間主コース
募集人員	50名（うち専門高校卒業生枠5名）	13名（うち専門高校卒業生枠2名）
出願要件	<p>次の（1）～（3）又は（4）に該当する者</p> <p>（1）高等学校等(*)を令和6年3月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 なお、専門高校卒業生枠にあっては高等学校の商業(注)または観光関連学科を令和6年3月に卒業見込みの者 (注) 商業については原則、商業科目25単位以上とする。ただし、外国語（上限）5単位を含めてもよい。</p> <p>（2）学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦でき、学習成績概評が㊤又はAに属する者</p> <p>（3）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（4）高等学校等(*)以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記（4）に該当する志願者は、11ページの入学資格審査を参照すること。</p>	
選抜方法等	<p>共通テストを免除し、高等学校等の長の推薦に基づき、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・面接 ・調査書、推薦書 ・志願理由書 	
出願期間	令和5年11月 1日（水）～11月 4日（土）	
選抜期日	令和5年12月 6日（水）	
合格発表	令和5年12月15日（金）	
その他	<p>各高等学校等の長が推薦できる人数は、1高等学校（定時制及び通信制の課程を含む）につき昼間主は6名、夜間主は3名以内とします。</p> <p>ただし、専門高校卒業生枠については、昼間主は2名、夜間主は2名以内とし、専門高校卒業生枠は内数とします。</p>	

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

3. 社会人特別選抜（夜間主コースのみ）

社会人特別選抜－1

実施学部 ・学科等	国際地域創造学部 国際地域創造学科（夜間主コース）
募集人員	10名
出願要件	<p>次の各号の1つに該当する者で、令和6年4月1日現在、社会人の経験（注）を2年以上有するもの</p> <p>（注）全日制の学校に在籍していた期間は社会人経験期間に含みませんが、就職しながら定時制・通信制の学校に在籍していた期間、家事・家業従事、非正規・パート職員の期間は社会人経験期間に含みます。</p> <p>（1）高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和6年3月までに卒業見込みの者</p> <p>（2）通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和6年3月までに修了見込みの者</p> <p>（3）外国において、学校教育における12年の課程を修了した者若しくは、令和6年3月修了見込みの者又はこれに準じる者で文部科学大臣の指定した者</p> <p>（4）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和6年3月までに修了見込みの者</p> <p>（5）文部科学大臣が指定した者</p> <p>（6）高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。）</p> <p>（7）本学において、個別の入学資格審査により入学資格認定書の交付を受けた者</p> <p>○上記（7）に該当する志願者は、11ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>共通テストを免除し、個別学力検査等の成績、調査書、履歴書、志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・面接 ・調査書、履歴書、志願理由書
出願期間	令和5年11月 1日（水）～11月 4日（土）
選抜期日	令和5年12月 6日（水）
合格発表	令和5年12月15日（金）

4. 帰国生徒特別選抜

帰国生徒特別選抜－1

実施学部 ・学科等	国際地域創造学部 国際地域創造学科（昼間主コース）
募集人員	若干名
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等により外国に2年以上滞在しており、次のいずれかに該当するもの。ただし、令和5年1月20日以前に帰国（一時的な短期の帰国を除く）した者は、出願を認めない。</p> <p>(1) 学校教育における12年の課程を修了した者又は令和6年3月31日までに修了見込みの者で、原則として、外国において最終学年を含め、2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けているもの（ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学して教育を受けた期間は、「2年以上」という期間には算入しない。）</p> <p>(2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者及びグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEAレベル）を有する者</p> <p>(3) 本学において、個別の入学資格審査により入学資格認定書の交付を受けた者</p> <p>○上記（3）に該当する志願者は、11ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	共通テストを免除し、成績証明書（調査書）、英語（筆記）及び面接を総合して選考します。
出願期間	令和6年 1月15日（月）～1月19日（金）
選抜期日	令和6年 2月25日（日）
合格発表	令和6年 3月 8日（金）
その他	<p>1. 出願書類</p> <p>(1) 出願確認票、卒業（修了）証明書又は同見込み証明書、成績証明書、身上記録、保護者の在外勤務などに関する証明書等</p> <p>(2) 国際バカロレア資格を取得した者は、その証明書の写しと最終試験6科目の成績評価証明書</p> <p>(3) アビトゥア資格を取得した者は、一般的大学入学資格証明書（Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife）の写し</p> <p>(4) バカロレア資格（フランス共和国）を取得した者はその証明書の写し</p> <p>(5) ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル）を有する者は、成績評価証明書</p> <p>※ 外国の学校又は機関が作成する書類について、日本語以外の場合は、日本語訳を添付すること。</p> <p>※ 表彰を受けた者は、関係書類の写しを添付すること。</p> <p>2. 本学他学部・学科等の帰国生徒特別選抜との併願は認めない。</p>

5. 私費外国人留学生特別選抜

国際地域創造学部では、私費外国人留学生特別選抜を実施します。詳細は134～136ページを参照してください。

6. 個別学力検査等の採点・評価基準

① 教科・科目

外国語	<ul style="list-style-type: none"> ○読解問題では、情報や概念などを理解する力、概要や要点を捉える力、文章の論理的な構成を理解する力を語彙、文法、論理性の観点から総合的に評価します。 ○口頭表現問題では、場面や目的に応じた基本的な慣用句や熟語、英語的言い回しの習熟度等の観点から評価します。 ○作文問題では、内容、文章構成力、表現力の観点から評価します。 ○綴りや文法上誤りがあり、解答が完全に正しくない場合でもコミュニケーションの観点から理解可能であれば誤りの度合いに応じた部分点を与えます。
数 学	<ul style="list-style-type: none"> ○記述式の問題を出題することにより、数学の基本的な知識・技能・論理的思考力及び表現力が身についているかを評価します。 ○問題用紙に明記された配点に従って得点を合計します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。 ○記述式の問題の場合、途中の推論及び計算を記述せずに結論（最終的な答え）のみを書いても得点を与えません。

② 教科・科目以外の科目

※「社会人」は社会人特別選抜、「帰国」は帰国生徒特別選抜、「私費」は私費外国人留学生特別選抜を意味します。

一般選抜	小論文 (前期日程は論理的思考系のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ○理解力、考察力、論理的思考力、記述力、完結度等々を評価し点数化します。 ○誤字、脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	調査書 (前期日程、後期日程)	○「学習成績の状況（評定平均値）」を点数化するだけでなく、「総合的な学習の時間の内容・評価」、「特別活動の記録」、「指導上参考となる諸事項」等を本学部のアドミッション・ポリシーに照らし評価し点数化します。
学校推薦型選抜 I	小論文	○考察力や論理的思考力等を評価し点数化します。
	面接	○学びに対する意欲、目的、志向性を総合的に評価し評価し点数化します。
	調査書 推薦書	○「学習成績の状況（評定平均値）」を点数化するだけでなく、「総合的な学習の時間の内容・評価」、「特別活動の記録」、「指導上参考となる諸事項」等を本学部のアドミッション・ポリシーに照らし、評価し点数化します。
	志願理由書	○学びに対する意欲、目的、志向性を総合的に評価し点数化します。
社会人	小論文	○考察力や論理的思考力等を評価し点数化します。
	面接	○学びに対する意欲、目的、志向性を総合的に評価し点数化します。
	調査書	○学業成績全般、ならびに課外活動や社会的活動等を総合的に評価し点数化します。
	履歴書	○評価・点数化はしません。
	志願理由書	○志願理由、動機、これまでのキャリア及び将来計画等を評価し点数化します。

帰国	英語	○読解力，記述力，表現力等を評価し点数化します。
	面接	○学びに対する意欲，目的，志向性を総合的に評価し点数化します。
	成績証明書等	○学業成績，就学状況，課外活動，社会的活動等全般について本学部のアドミッション・ポリシーに照らし評価し点数化します。
私費	面接	○進学の実機，学習意欲，基礎的な日本語及び英語能力を総合的に評価し点数化します。

7. 合否判定基準

全学に適用される全学部の基本的な合否判定基準（24ページ）も併せて参照してください。

国際地域創造学部

国際地域創造学科

一般選抜	○同点者の順位決定は，共通テストの外国語の得点で判断し判定します。
学校推薦型選抜Ⅰ	○小論文，面接及び提出書類（調査書等）と合わせて総合的に判断し判定します。
社会人 （夜間主のみ）	○小論文，面接及び提出書類と合わせて総合的に判断し判定します。
帰国 （昼間主のみ）	○英語（筆記），面接及び提出書類（成績証明書等）と合わせて総合的に判断し判定します。
私費 （昼間主のみ）	○日本留学試験，面接の総合評価により判断し判定します。

8. 募集人員の留意事項

（1）国際地域創造学科（昼間主コース）の募集

学科一括で募集します。また，一般選抜は，学科一括で募集を行いますが，選抜方式毎に募集人員を設けています（募集人員は37ページ参照）。

選抜区分	選抜方式
一般選抜（前期日程）	国際的思考系，論理的思考系，数学的思考系の3方式
一般選抜（後期日程）	国際的思考系，論理的思考系の2方式

どの選抜区分，選抜方式で合格し入学しても，入学後は1年次後学期を修了した時点で，本人の希望と2個学期（1年次後学期まで）の年次の成績等に基づきプログラムに配属されます。（プログラムの配属等についての詳細は47ページ「9. 国際地域創造学部のプログラムの配属等について」参照。）

（2）国際地域創造学科（夜間主コース）の募集

学科一括で募集します。また，一般選抜は，学科一括で募集を行いますが，選抜方式毎に募集人員を設けています（募集人員は37ページ参照）。

選抜区分	選抜方式
一般選抜（前期日程）	国際的思考系，論理的思考系の2方式
一般選抜（後期日程）	国際的思考系，論理的思考系の2方式

どの選抜区分、選抜方式で合格し入学しても、入学後は1年次後学期を修了した時点で、本人の希望と2個学期（1年次後学期まで）の年次の成績等に基づきプログラムに配属されます。（プログラムの配属等についての詳細は47ページ「9. 国際地域創造学部のプログラムの配属等について」参照。）

(3) 定員補充について

① 以下の特別選抜の入学手続き者が募集人員に満たなかった場合は、以下の選抜区分で満たない分の募集人員を補充します。

学 科	募集人員に満たなかった選抜区分	満たない分の募集人員の補充を行う選抜区分
国際地域 創造学科	学校推薦型選抜Ⅰ	一般選抜（前期日程）（それぞれ対応する昼間主コース・夜間主コース）の論理的思考系の募集人員
	社会人特別選抜	一般選抜（後期日程）（夜間主コース）の論理的思考系の募集人員

② 以下の特別選抜の募集人員（若干名）は以下の選抜区分の募集人員に含まれます。

学 科	該当する選抜区分	特別選抜の募集人員を含む選抜区分
国際地域 創造学科	帰国生徒特別選抜 私費外国人留学生特別選抜	一般選抜（前期日程）（昼間主コース）の国際的思考系の募集人員

(4) 欠員補充

入学手続き完了者が入学定員に達しなかった場合に、追加合格を実施してなお欠員がある場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

9. 国際地域創造学部のプログラムの配属等について

国際地域創造学部は、昼間主コースと夜間主コースに分かれたうえで、学科一括で募集します。また、一般選抜は選抜方式毎に募集人員を設けますが、どの選抜方式で合格し、入学してもプログラムの配属には影響しません。

【昼間主コース】

学科単位で募集を行い、1年次は学科に配属します。

1年次後学期を修了した時点で、本人の希望と2個学期（1年次後学期まで）の成績等に基づき下記の5つのプログラムに配属を決定します。（全ての学生は、2年次前学期から各プログラムに配属されます。）

なお、配属までの学び方については、指導教員が「履修モデル」や「科目番号」等を活用しながら、配属を希望するプログラムに応じたカリキュラムの履修のアドバイスをを行います。

国際地域創造学科 （昼間主コース）	観光地域デザインプログラム	60名
	経営プログラム	60名
	経済学プログラム	65名
	国際言語文化プログラム	48名
	地域文化科学プログラム	32名

【夜間主コース】

学科単位で募集を行い、1年次は学科に配属します。

1年次後学期を修了した時点で、本人の希望と2個学期（1年次後学期まで）の成績等に基づき次の3つのプログラムに配属を決定します。（全ての学生は、2年次前学期から各プログラムに配属されます。）

なお、配属までの学び方については、指導教員が「履修モデル」や「科目番号」等を活用しながら、配属を希望するプログラムに応じたカリキュラムの履修のアドバイスを行います。

国際地域創造学科 (夜間主コース)	経営プログラム	20名
	経済学プログラム	30名
	国際言語文化プログラム	30名

各プログラム（昼間主・夜間主）に記した人数は、受入人数の目安であり、各プログラムへの配属数は最終的に変動する場合があります。また、学生本人の成績やプログラムの受入人数等により、全学生の希望どおりの配属とならない可能性があります。

【13】各学部の入学者選抜について

教育学部

教育学部では、次の入学者選抜方法等を実施します。

小学校教育コース 学校教育専攻

- 1) 一般選抜 (前期日程) 2) 学校推薦型選抜Ⅱ (共通テストを課す)
- 3) 総合型選抜Ⅰ (共通テストを課さない)

小学校教育コース 教科教育専攻

- 1) 一般選抜 (前期日程) 2) 学校推薦型選抜Ⅱ (共通テストを課す) 専修ごとに募集します。

中学校教育コース 教科教育専攻

- 1) 一般選抜 (前期日程) 専修ごとに募集します。 2) 学校推薦型選抜Ⅰ (共通テストを課さない) 技術教育専修
- 3) 学校推薦型選抜Ⅰ (共通テストを課さない) 「英語重視」英語教育専修 4) 帰国生徒特別選抜 美術教育専修

特別支援教育コース 特別支援教育専攻

- 1) 一般選抜 (前期日程) 2) 学校推薦型選抜Ⅱ (共通テストを課す)

募集人員は次のとおりです。

学部	学科・課程・(選抜方式)等		入学定員(名)	募集人員(名)								
				一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		社会人	帰国生徒	私費外国人
				分離分割方式		共通テストを課さない	共通テストを課す	共通テストを課さない	共通テストを課す			
				前期日程	後期日程							
教育学部	小学校教育コース	学校教育専攻	35		5			10				
		教科教育専攻	国語教育専修	25					2			
			社会科教育専修					2				
			数学教育専修					2				
			理科教育専修					2				
			音楽教育専修					2				
			美術教育専修					2				
			保健体育専修					2				
			技術教育専修					2				
			生活科学教育専修					2				
	英語教育専修				2							
	中学校教育コース	教科教育専攻	国語教育専修	4								
			社会科教育専修	3								
			数学教育専修	5								
			理科教育専修	5								
			音楽教育専修	3								
			美術教育専修	3							若干名	
			保健体育専修	3								
			技術教育専修	2				1				
			生活科学教育専修	3								
英語教育専修			2				1 英語重視					
特別支援教育コース	特別支援教育専攻	特別支援教育専修	8				2					
計			140	101	5		2	32				

1. 一般選抜 (前期日程) 50～55 ページ
2. 総合型選抜Ⅰ (共通テストを課さない) 56 ページ
3. 学校推薦型選抜Ⅰ (共通テストを課さない)
中学校教育コース教科教育専攻技術教育専修 57 ページ
4. 学校推薦型選抜Ⅰ (共通テストを課さない) 「英語重視」
中学校教育コース教科教育専攻英語教育専修 58 ページ
5. 学校推薦型選抜Ⅱ (共通テストを課す) 59～70 ページ
6. 帰国生徒特別選抜 71 ページ
7. 実技検査等実施方法 72～74 ページ
8. 個別学力検査等の採点・評価基準 75～80 ページ
9. 合否判定基準 81 ページ
10. 募集人員の留意事項 82 ページ
11. 教育学部の専修の決定方法等について 82 ページ

各選抜の出願手続、出願書類、個別学力検査等の実施日時及び試験会場等については、「学生募集要項」を必ず確認してください。「学生募集要項」は本学ホームページに掲載します。(22 ページ参照)

1. 一般選抜（前期日程）

令和6年度入学者選抜の実施教科・科目等

学部・学科等名 及び入学定員等 〔令和5年度〕 〔志願倍率〕	区分 学 力 検 査 等 程 の 日 等 程	共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜	
教育学部 〔2.5〕 140名 前期101 その他39	小学校教育コース 学校教育専攻 50名 前期35 その他15	前期 2月 25日 26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B }から1 現社, 倫・政経 } 数Ⅰ・数A }から1 数Ⅱ・数B } 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目)	その他	小論文 面接	
	小学校教育コース 教科教育専攻 45名 前期25 その他20	前期 2月 25日 26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B }から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目)	国 数 その他	(国総・国表(古・漢を除く)) (数Ⅰ・数Ⅱ・ 数A・数B) 面接 調査書	
	中学校教育コース 教科教育専攻 国語教育専修 4名 前期4	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B }から2※ 現社, 倫・政経 } 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科6科目, 5教科7科目, 6教科6科目又は6教科7科目) ※現社と倫・政経を2科目選択することはできない。	国 その他	(国総・国表) 面接	
	中学校教育コース 教科教育専攻 社会科教育専修 3名 前期3	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (6教科6科目又は6教科7科目)	その他	小論文 面接	

〔注〕数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の
○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

試験の区分	共通テスト・個別学力検査等の配点等												特別選抜 方法等	
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書		配点 合計
共通テスト	100	*100		100	100	100							500	推 薦 追加合格
個別学力検査等								150			200		350	
計	100	*100		100	100	100		150			200		850	
共通テスト	200	*200		200	200	200							1000	推 薦 追加合格
個別学力検査等	200			200				100				50	550	
計	400	*200		400	200	200		100				50	1550	
共通テスト	200	*200		100	100	200							800	追加合格
個別学力検査等	400							100					500	
計	600	*200		100	100	200		100					1300	
共通テスト	200	200	200	100	100	200							1000	追加合格
個別学力検査等								100			500		600	
計	200	200	200	100	100	200		100			500		1600	

指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。

学部・学科等名 及び入学定員等	区分 学力検査 日程	共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	
教育学部	中学校教育コース 教科教育専攻 数学教育専修 5名 前期 5	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B }から1 現社, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)	数 その他	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B) 面接	
	中学校教育コース 教科教育専攻 理科教育専修 5名 前期 5	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B }から1 現社, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B *下記の①, ②のいずれかから選択する。 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 物理, 化学, 生物, 地学から1 [計3科目] ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注1) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 [計2科目] 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数 理 その他	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数A・数B) (物基・物理, 化基・化学, 生基・生物, 地基・地学 から1)	
	中学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修 3名 前期 3	前期 2月 25日 26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B }から1 現社, 倫・政経 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注2) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目)	その他	音楽必須(基礎 実技・筆記試験) 音楽選択 (選択実技) *実技検査等実施 方法については 73ページ参照 口頭試問を含 む面接	
	中学校教育コース 教科教育専攻 美術教育専修 3名 前期 3	前期 2月 25日 26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B }から1※ 現社, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注2) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目) ※世A, 日A, 地理Aの科目を選択解答できる者は, 高等学校等 でこれらの科目を履修した者に限る。	その他	実技検査 筆記試験 *実技検査等 実施方法につ いては74 ページ参照 面接	
中学校教育コース 教科教育専攻 保健体育専修 3名 前期 3	前期 2月 25日 26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B }から1 現社, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注2) [計2科目] 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科6科目又は5教科7科目)	その他	実技検査 *実技検査実 施方法につ いては74 ページ参照 面接 調査書		

(注1) 「同一名称を付した科目の選択は認めない」とは, 物理基礎と物理, 化学基礎と化学, 生物基礎と生物, 地学基礎と地学の
(注2) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は, 高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣
(注3) 中学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修は, 「音楽必須(基礎実技・筆記試験)」とする。
(注4) 中学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修は, 「音楽選択(選択実技)」とする。
○配点に*印を付してある教科は, 選択教科を表す。

試験の区分	共通テスト・個別学力検査等の配点等													特別選抜 方法等	
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査 (注3)	筆記試験 (注4)	面接	口頭 試問	小論文	調査書	競技歴 調査書		配点 合計
共通テスト	200	*100		200	200	200								900	追加合格
個別学力検査等				400					50					450	
計	200	*100		600	200	200			50					1350	
共通テスト	200	*100		200	200	200								900	追加合格
個別学力検査等				100	200				200					500	
計	200	*100		300	400	200			200					1400	
共通テスト	200	*100		100	100	200								700	追加合格
個別学力検査等							音楽 必須 ₂₅₀	音楽 選択 ₁₅₀	100					500	
計	200	*100		100	100	200	音楽 必須 ₂₅₀	音楽 選択 ₁₅₀	100					1200	
共通テスト	200	*100		100	100	200								700	帰国生徒 追加合格
個別学力検査等							実技 検査 ₃₀₀	筆記 試験 ₃₀₀	100					700	
計	200	*100		100	100	200	実技 検査 ₃₀₀	筆記 試験 ₃₀₀	100					1400	
共通テスト	200	*100		200	100	200								800	追加合格
個別学力検査等							実技 検査 ₂₅₀		300			50	面接に 含む	600	
計	200	*100		200	100	200	実技 検査 ₂₅₀		300		50			1400	

科目を選択することは認めないことを指す。
の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。

令和6年度入学者選抜の実施教科・科目等

教育学部－3

学部・学科等名 及び入学定員等	区分 学力検査等 日程	共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜
教育学部 学校教育 教育 教員 養成 課程	中学校教育コース 教科教育専攻 技術教育専修 3名 前期 2 その他 1	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B }から1 現社, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注) [計2科目] 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科6科目又は5教科7科目)	数 その他	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数A・数B) 面接
	中学校教育コース 教科教育専攻 生活科学教育専修 3名 前期 3	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B }から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科5科目又は5教科6科目)	その他	小論文 口頭試問を含む 面接 調査書
	中学校教育コース 教科教育専攻 英語教育専修 3名 前期 2 その他 1	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注) 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英 (6教科6科目又は6教科7科目)	外 その他	英(コミュ英Ⅰ ・コミュ英Ⅱ ・コミュ英Ⅲ ・英表Ⅰ ・英表Ⅱ) ※リスニング は除く 一部英語による 面接 調査書
	特別支援 教育コース 特別支援 教育専攻 特別支援 教育専修 10名 前期 8 その他 2	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 (注) [計2科目] 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (6教科7科目又は6教科8科目)	その他	面接

(注) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の
○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

試験の区分	共通テスト・個別学力検査等の配点等												特別選抜 方法等	
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書		配点 合計
共通テスト	200	*50		200	200	200							850	推 薦 追加合格
個別学力検査等				200					200				400	
計	200	*50		400	200	200			200				1250	
共通テスト	200	*100		100	100	200							700	追加合格
個別学力検査等									200		200	100	500	
計	200	*100		100	100	200			200		200	100	1200	
共通テスト	200	100	100	50	100	300							850	推 薦 追加合格
個別学力検査等						250			200			50	500	
計	200	100	100	50	100	550			200			50	1350	
共通テスト	200	50	50	200	100	200							800	推 薦 追加合格
個別学力検査等									200				200	
計	200	50	50	200	100	200			200				1000	

指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)の者に限る。

2. 総合型選抜 I（共通テストを課さない）

総合型選抜 I - 1

実施学部 ・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 学校教育専攻
募集人員	5 名
出願要件	<p>次の1～4すべてに該当する者</p> <p>1. 次のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和6年3月31日までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和6年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>2. 学業成績優秀で、全体の評定平均値が3.5以上の者</p> <p>3. 教育学部で学ぶための一定の基礎学力と強い意欲を持つ者</p> <p>4. 合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>※1. の（3）に該当する志願者は、11ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>志願理由書，自己推薦書，調査書を参考にして第1次選考（個人面接）を行い，合格者に対し第2次選考（問題解決型グループワーク）を実施し，総合して選考します。</p> <p>1. 第1次選考 個人面接 ○提出書類</p> <p>(1) 志願理由書（入学後に何をどのように学びたいか1000字程度で記述してください。）</p> <p>(2) 自己推薦書（高等学校における学業等に関する活動（勉学の経過，資格取得，受賞等）とその他の活動（生徒会活動，部活動，ボランティア活動等）について，合計1000字程度で自己のアピールをしてください。） 出願要件1.（3）に該当する者は，上記に準じる活動について，合計1000字程度で自己のアピールをしてください。</p> <p>(3) 調査書（高等学校長等が発行するもの）</p> <p>2. 第2次選考 問題解決型グループワーク：問題解決型の課題に沿ってグループ活動を行います。</p>
出願期間	令和5年9月1日（金）～9月3日（日）
選抜期日	<p>第1次選考 個人面接：令和5年 9月 8日（金）[9月9日（土）]</p> <p>第2次選考 問題解決型グループワーク：令和5年 9月28日（木）[9月30日（土）]</p> <p>※ [] 内は暴風警報等の発令等で期日に試験ができない場合の日程</p>
合格発表	<p>第1次選考合格発表：令和5年 9月15日（金）</p> <p>最終合格発表：令和5年11月 1日（水）</p>
その他	入学前教育を実施します。

3. 学校推薦型選抜 I（共通テストを課さない）

※国公立大学の学校推薦型選抜は、共通テストを課すもの及び課さないものを含め、1つの大学・学部にし
か出願できません。

学校推薦型選抜 I - 1

実施学部 ・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 技術教育専修
募集人員	1 名
出願要件	次の（1）～（3）又は（4）に該当する者 （1）高等学校等（*）を令和6年3月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 （2）高等学校等の学習成績・人物が優秀で、技術の分野に強い関心と勉学意欲を有し、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で全体の評定平均値が3.5以上のもの （3）合格した場合は、入学することを確約できる者 （4）高等学校等（*）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの ○上記（4）に該当する志願者は、11ページの入学資格審査を参照すること。
選抜方法等	共通テストを免除し、高等学校等の長の推薦に基づき、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。 ○個別学力検査等 ・口頭試問を含む面接 ・調査書
出願期間	令和5年11月 1日（水）～11月 4日（土）
選抜期日	令和5年12月 6日（水）
合格発表	令和5年12月15日（金）
その他	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。

* 「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

4. 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）「英語重視」

※国公立大学の学校推薦型選抜は、共通テストを課すもの及び課さないものを含め、1つの大学・学部にし
か出願できません。

学校推薦型選抜Ⅰ－2「英語重視」

実施学部 ・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 英語教育専修
募集人員	1 名
出願要件	<p>次の（１）～（４）又は（５）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（*）を令和6年3月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で全体の評定平均値が4.2以上のもの</p> <p>（３）次のいずれかに該当する者</p> <p>① 実用英語技能検定試験で準1級以上を取得した者</p> <p>② TOEFL試験でiBT61点以上を取得した者</p> <p>③ TOEIC Listening&Reading Testで600点以上を取得した者</p> <p>（４）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（５）高等学校等（*）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記（５）に該当する志願者は、11ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>共通テストを免除し、高等学校等の長の推薦に基づき、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接（英語による面接） ・調査書、推薦書、志願理由書
出願期間	令和5年11月 1日（水）～11月 4日（土）
選抜期日	令和5年12月 6日（水）
合格発表	令和5年12月15日（金）
その他	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

5. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

※国公立大学の学校推薦型選抜は、共通テストを課すもの及び課さないものを含め、1つの大学・学部しか出願できません。

学校推薦型選抜Ⅱ - 1

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 学校教育専攻	
募集人員	沖縄県内地域指定推薦 2名	一般推薦 8名
出願要件	<p>いずれの推薦枠も、出身高等学校等の長が次の件について人物および能力等に責任を持って推薦できる者とする。</p> <p>(1) 学習成績が優秀で、小学校教員として活躍する強い意欲およびそれにふさわしい資質を持つ者</p> <p>(2) 児童の育成に熱意をもってあたり、地域の教育の担い手として活躍できる者として認められることができる者</p>	
	<p>次の(1)～(5)又は(6)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を令和6年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 沖縄県北部地域(大宜味村, 今帰仁村, 本部町, 名護市, 宜野座村)ならびに沖縄県内離島地域(宮古島市, 石垣市, 久米島町)に所在する高等学校(通信制の課程は含まない)を卒業見込みの者</p> <p>(3) 学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任を持って推薦できる者で、全体の評定平均値が4.3以上のもの</p> <p>(4) 将来沖縄本島北部地域ならびに離島地域における小学校教育活動に貢献する強い意志がある者</p> <p>(5) 合格した場合には、入学することを確約できる者</p> <p>(6) 高等学校等(*)以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記(6)に該当する志願者は、11ページの入学資格審査を参照すること。</p>	<p>次の(1)～(4)又は(5)に該当する者</p> <p>(1) 高等学校等(*)を令和6年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(2) 学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任を持って推薦できる者で、全体の評定平均値が4.3以上のもの</p> <p>(3) 将来小学校教育活動に貢献する強い意志がある者</p> <p>(4) 合格した場合には、入学することを確約できる者</p> <p>(5) 高等学校等(*)以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記(5)に該当する志願者は、11ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績が合計点の50%以上の者で、個別学力検査等の成績を中心に、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（5教科5科目又は5教科6科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世B, 日B, 地理B） ・公民（現社, 倫・政経） <p>から1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数（数Ⅰ・数A） ・数（数Ⅱ・数B） <p>から1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理（物基, 化基, 生基, 地基から2） <p>又は</p> <ul style="list-style-type: none"> （物理, 化学, 生物, 地学から1） <ul style="list-style-type: none"> ・外（英, 独, 仏, 中, 韓から1） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・面接 	
出願期間	令和5年11月 1日（水）～ 11月 4日（土）	
選抜期日	令和5年12月 6日（水）	
合格発表	令和6年 2月 9日（金）	
その他	<p>①沖縄県内地域指定推薦については、1高等学校等（定時制の課程を含む）の長が推薦できる人数は制限しません。②一般推薦については、1高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は制限しません。</p> <p>※①沖縄県内地域指定推薦と②一般推薦の両方の枠に同一人物を推薦することはできません。</p>	

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部 ・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 国語教育専修
募集人員	2 名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の（１）～（３）又は（４）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）を令和４年４月１日から令和６年３月３１日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が４．３以上のもの</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和６年３月３１日までに１８歳に達するもの</p> <p>○上記（４）に該当する志願者は、１１ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績が合計点の５０％以上の者で、小論文と面接（口頭試問を含む）の成績を中心に、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（５教科５科目又は５教科６科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、地理Ｂ） ・公民（現社、倫、政経、倫・政経） ・数（数Ⅰ、数Ⅰ・数Ａ、数Ⅱ、数Ⅱ・数Ｂ、簿・会、情報から１）（注） ・理（物基、化基、生基、地学から２） <p style="text-align: right;">} から１</p> <p>又は</p> <ul style="list-style-type: none"> （物理、化学、生物、地学から１） ・外（英、独、仏、中、韓から１） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・口頭試問を含む面接 <p>備考</p> <p>（注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>
出願期間	令和５年１１月 １日（水）～１１月 ４日（土）
選抜期日	令和５年１２月 ６日（水）
合格発表	令和６年 ２月 ９日（金）
その他	１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。

* 「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 社会科教育専修
募集人員	2 名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の（１）～（３）又は（４）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）を令和４年４月１日から令和６年３月３１日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和６年３月３１日までに１８歳に達するもの</p> <p>○上記（４）に該当する志願者は、１１ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績が合計点の５０％以上の者で、小論文と面接の成績を中心に、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（５教科５科目又は５教科６科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ） ・公民（現社，倫，政経，倫・政経） ・数（数Ⅰ，数Ⅰ・数Ａ，数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１）（注） ・理（物基，化基，生基，地基から２） <p style="text-align: center;">又は</p> <ul style="list-style-type: none"> （物理，化学，生物，地学から１） ・外（英，独，仏，中，韓から１） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・面接 <p>備考</p> <p>（注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>
出願期間	令和５年１１月 １日（水）～１１月 ４日（土）
選抜期日	令和５年１２月 ６日（水）
合格発表	令和６年 ２月 ９日（金）
その他	１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。

* 「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 数学教育専修
募集人員	2 名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の（１）～（３）又は（４）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（*）を令和４年４月１日から令和６年３月３１日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が４．３以上のもの</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）高等学校等（*）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和６年３月３１日までに１８歳に達するもの</p> <p>○上記（４）に該当する志願者は、１１ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>ただし、共通テストの成績が合計点の６０％に満たない場合は不合格とします。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（５教科５科目又は５教科６科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、地理Ｂ） ・公民（現社、倫、政経、倫・政経） ・数（数Ⅰ、数Ⅰ・数Ａ、数Ⅱ、数Ⅱ・数Ｂ、簿・会、情報から１）（注１） ・理（物基、化基、生基、地基から２） <p style="text-align: center;">又は</p> <ul style="list-style-type: none"> （物理、化学、生物、地学から１） <p>・外（英、独、仏、中、韓から１）</p> <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口頭試問（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ）を含む面接（注２） <p>備考</p> <p>（注１）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p> <p>（注２）：口頭試問の出題範囲については、数学（甲）の出題範囲と同じとする。</p>
出願期間	令和５年１１月 １日（水）～１１月 ４日（土）
選抜期日	令和５年１２月 ６日（水）
合格発表	令和６年 ２月 ９日（金）
その他	１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部 ・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 理科教育専修
募集人員	2 名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の（１）～（３）又は（４）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）を令和４年４月１日から令和６年３月３１日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が４．０以上のもの</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和６年３月３１日までに１８歳に達するもの</p> <p>○上記（４）に該当する志願者は、１１ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストおよび面接（口頭試問を含む）の成績を中心に、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（５教科５科目又は５教科６科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、地理Ｂ） ・公民（現社、倫、政経、倫・政経） ・数（数Ⅰ、数Ⅰ・数Ａ、数Ⅱ、数Ⅱ・数Ｂ、簿・会、情報から１）（注） ・理（物基、化基、生基、地基から２） <p>又は</p> <p>（物理、化学、生物、地学から１）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外（英、独、仏、中、韓から１） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口頭試問を含む面接 ・調査書 <p>備考</p> <p>（注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>
出願期間	令和５年１１月 １日（水）～１１月 ４日（土）
選抜期日	令和５年１２月 ６日（水）
合格発表	令和６年 ２月 ９日（金）
その他	１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。

* 「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修
募集人員	2名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の（１）～（３）又は（４）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）を令和４年４月１日から令和６年３月３１日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が４．０以上のもの</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和６年３月３１日までに１８歳に達するもの</p> <p>○上記（４）に該当する志願者は、１１ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>ただし、共通テストの成績が合計点の５０％に満たない場合は不合格とします。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（５教科５科目又は５教科６科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、地理Ｂ） ・公民（現社、倫、政経、倫・政経） ・数（数Ⅰ、数Ⅰ・数Ａ、数Ⅱ、数Ⅱ・数Ｂ、簿・会、情報から１）（注） ・理（物基、化基、生基、地基から２） <p style="text-align: center;">又は</p> <ul style="list-style-type: none"> （物理、化学、生物、地学から１） <p>・外（英、独、仏、中、韓から１）</p> <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技検査（ピアノによる弾き歌い・選択実技） ※実技検査等実施方法については、７２ページ参照 ・小論文 ・口頭試問を含む面接 <p>備考 （注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>
出願期間	令和５年１１月 １日（水）～１１月 ４日（土）
選抜期日	令和５年１２月 ６日（水）
合格発表	令和６年 ２月 ９日（金）
その他	１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。

* 「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部 ・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 美術教育専修
募集人員	2 名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の（１）～（３）又は（４）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）を令和４年４月１日から令和６年３月３１日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和６年３月３１日までに１８歳に達するもの</p> <p>○上記（４）に該当する志願者は、１１ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（５教科５科目又は５教科６科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ） ・公民（現社，倫，政経，倫・政経） ・数（数Ⅰ，数Ⅰ・数Ａ，数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１）（注） ・理（物基，化基，生基，地基から２） <p style="text-align: center;">又は</p> <ul style="list-style-type: none"> （物理，化学，生物，地学から１） ・外（英，独，仏，中，韓から１） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・面接 <p>備考 （注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>
出願期間	令和５年１１月 １日（水）～１１月 ４日（土）
選抜期日	令和５年１２月 ６日（水）
合格発表	令和６年 ２月 ９日（金）
その他	１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。

* 「高等学校等」とは、高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部 ・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 保健体育専修
募集人員	2 名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の（１）～（３）又は（４）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）を令和４年４月１日から令和６年３月３１日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が４．３以上のもの</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和６年３月３１日までに１８歳に達するもの</p> <p>○上記（４）に該当する志願者は、１１ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書、志願理由書及び競技歴調査書を総合して選考します。</p> <p>ただし、共通テストの成績が合計点の４５％に満たない場合は不合格とします。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（５教科５科目又は５教科６科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、地理Ｂ） ・公民（現社、倫、政経、倫・政経） ・数（数Ⅰ、数Ⅰ・数Ａ、数Ⅱ、数Ⅱ・数Ｂ、簿・会、情報から１）（注） ・理（物基、化基、生基、地基から２） <p style="text-align: center;">又は</p> <ul style="list-style-type: none"> （物理、化学、生物、地学から１） ・外（英、独、仏、中、韓から１） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接 ・調査書 <p>備考 （注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>
出願期間	令和５年１１月 １日（水）～１１月 ４日（土）
選抜期日	令和５年１２月 ６日（水）
合格発表	令和６年 ２月 ９日（金）
その他	１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。

* 「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 技術教育専修
募集人員	2名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の（１）～（３）又は（４）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）を令和４年４月１日から令和６年３月３１日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が３．５以上のもの</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和６年３月３１日までに１８歳に達するもの</p> <p>○上記（４）に該当する志願者は、１１ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績と面接（口頭試問を含む）の成績を中心に、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（５教科５科目又は５教科６科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ） ・公民（現社，倫，政経，倫・政経） ・数（数Ⅰ，数Ⅰ・数Ａ，数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１）（注） ・理（物基，化基，生基，地基から２） <p style="text-align: center;">又は</p> <ul style="list-style-type: none"> （物理，化学，生物，地学から１） ・外（英，独，仏，中，韓から１） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口頭試問を含む面接 ・調査書 <p>備考 （注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>
出願期間	令和５年１１月 １日（水）～１１月 ４日（土）
選抜期日	令和５年１２月 ６日（水）
合格発表	令和６年 ２月 ９日（金）
その他	１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。

* 「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部 ・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース教科教育専攻 生活科学教育専修
募集人員	２名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の（１）～（３）又は（４）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）を令和４年４月１日から令和６年３月３１日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が４．０以上のもの</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和６年３月３１日までに１８歳に達するもの</p> <p>○上記（４）に該当する志願者は、１１ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（５教科５科目又は５教科６科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世Ａ，世Ｂ，日Ａ，日Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ） ・公民（現社，倫，政経，倫・政経） ・数（数Ⅰ，数Ⅰ・数Ａ，数Ⅱ，数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１）（注） ・理（物基，化基，生基，地基から２） <p style="text-align: center;">又は</p> <p style="text-align: center;">（物理，化学，生物，地学から１）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外（英，独，仏，中，韓から１） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・口頭試問（家庭総合）を含む面接 ・調査書 <p>備考 （注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>
出願期間	令和５年１１月 １日（水）～１１月 ４日（土）
選抜期日	令和５年１２月 ６日（水）
合格発表	令和６年 ２月 ９日（金）
その他	１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。

* 「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部 ・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 英語教育専修
募集人員	2 名
出願要件	<p>小学校教員になることを目指しており、次の（１）～（３）又は（４）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）を令和４年４月１日から令和６年３月３１日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が４．２以上のもの</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和６年３月３１日までに１８歳に達するもの</p> <p>○上記（４）に該当する志願者は、１１ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績が合計点の５５％以上の者で、面接（口頭試問を含む）の成績を中心に、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（５教科５科目又は５教科６科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、地理Ｂ） ・公民（現社、倫、政経、倫・政経） ・数（数Ⅰ、数Ⅰ・数Ａ、数Ⅱ、数Ⅱ・数Ｂ、簿・会、情報から１）（注） ・理（物基、化基、生基、地基から２） <p style="text-align: center;">又は</p> <ul style="list-style-type: none"> （物理、化学、生物、地学から１） ・外（英、独、仏、中、韓から１） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口頭試問を含む面接（一部英語で行う） ・調査書 <p>備考 （注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>
出願期間	令和５年１１月 １日（水）～１１月 ４日（土）
選抜期日	令和５年１２月 ６日（水）
合格発表	令和６年 ２月 ９日（金）
その他	１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部 ・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース 特別支援教育専攻 特別支援教育専修
募集人員	2 名
出願要件	次の（１）～（３）又は（４）に該当する者 （１）高等学校等（*）を令和６年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第 ９３条第３項の規定に基づき令和５年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 （２）学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、 全体の評定平均値が４．０以上のもの （３）合格した場合は、入学することを確約できる者 （４）高等学校等（*）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査 により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、 令和６年３月３１日までに１８歳に達するもの ○上記（４）に該当する志願者は、１１ページの入学資格審査を参照すること。
選抜方法等	高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推 薦書及び志願理由書を総合して選考します。 ○共通テスト利用教科・科目（６教科７科目又は６教科８科目） ・国（国） ・地歴（世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、地理Ｂから１） ・公民（現社、倫、政経、倫・政経から１） ・数（数Ⅰ・数Ａ） （数Ⅱ・数Ｂ、簿・会、情報から１）（注）〔計２科目〕 ・理（物基、化基、生基、地基から２） 又は （物理、化学、生物、地学から１） ・外（英、独、仏、中、韓から１） ○個別学力検査等 ・面接 備考 （注）：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの 科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見 込み）の者に限る。
出願期間	令和５年１１月 １日（水）～１１月 ４日（土）
選抜期日	令和５年１２月 ６日（水）
合格発表	令和６年 ２月 ９日（金）
その他	１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の
高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指
定を受けた専修学校高等課程をいう。

6. 帰国生徒特別選抜

帰国生徒特別選抜－1

実施学部 ・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 美術教育専修
募集人員	若干名
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等により外国で、2年以上滞在しており、次のいずれかに該当するもの。ただし、令和5年1月20日以前に帰国（一時的な短期の帰国を除く。）した者は、出願を認めません。</p> <p>(1) 学校教育における12年の課程を修了した者又は令和6年3月31日までに修了見込みの者で、原則として、外国において最終学年を含め、2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けているもの（ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学して教育を受けた期間は、「2年以上」という期間には算入しない。）</p> <p>(2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者及びグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEAレベル）を有する者</p> <p>(3) 本学において、個別の入学資格審査により入学資格認定書の交付を受けた者</p> <p>○上記（3）に該当する志願者は、11ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>共通テストを免除し、成績証明書（調査書）、小論文及び面接を総合して選考します。また、美術教育専修は実技検査、筆記試験も課します。</p>
出願期間	令和6年 1月15日（月）～1月19日（金）
選抜期日	令和6年 2月25日（日）・26日（月）
合格発表	令和6年 3月 8日（金）
その他	<p>1. 出願書類</p> <p>(1) 出願確認票、卒業（修了）証明書又は同見込み証明書、成績証明書、身上記録、保護者の在外勤務などに関する証明書等</p> <p>(2) 国際バカロレア資格を取得した者は、その証明書の写しと最終試験6科目の成績評価証明書</p> <p>(3) アビトゥア資格を取得した者は、一般的大学入学資格証明書（ZeugnisderallgemeinenHochschulreife）の写し</p> <p>(4) バカロレア資格（フランス共和国）を取得した者は、その証明書の写し</p> <p>(5) ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEAレベル）を有する者は、成績評価証明書</p> <p>※ 外国の学校又は機関が作成する書類について、日本語以外の場合は、日本語訳を添付すること。</p> <p>※ 表彰を受けた者は、関係書類の写しを添付すること。</p> <p>2. 本学他学部・学科等の帰国生徒特別選抜との併願は認めない。</p>

7. 実技検査等実施方法

(1) 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修 (学校推薦型選抜Ⅱ)

A ピアノによる弾き歌い ※対面にて実施

○次の楽曲のなかから任意の1曲を選んで、ピアノで弾き歌いをする。演奏・歌唱の際には、必ず1番と2番など、最低2コーラスは行うものとする。

「夕やけこやけ」 中村雨紅 作詞 草川信 作曲
「スキーの歌」文部省唱歌 林柳波 作詞 橋本国彦 作曲
「ふるさと」文部省唱歌 高野辰之 作詞 岡野貞一 作曲

注1：暗譜の必要はなし。伴奏には必ず前奏をつけ、伴奏譜の選択は任意とし、各自で用意する。移調可とする。

2：試験前のピアノの練習は、可能。

B 選択実技 ※実技動画提出にて実施

下記の(ア)～(ウ)より1つ選択すること。

(ア) ピアノ

○スケールと、M.クレメンティのピアノ・ソナタより第1楽章を演奏すること。

注1：選択実技検査申請書に、スケールの調性、曲名(作品番号を含む)を明記する。

2：スケールは選曲したピアノ・ソナタと同じ調性とし、3オクターブ、カデンツを付ける。また短調の場合は和声的短音階と旋律的短音階とする。

3：繰り返しは省略する。

4：暗譜演奏とする。

(イ) 声楽

○コンコーネ50番から任意の1曲を選び、母音唱法にて歌うこと。

注1：選択実技検査申請書に、コンコーネの番号と調性を明記する。

2：調性は任意とする。

3：暗譜演奏とする。

4：無伴奏とする。

(ウ) 管弦打楽器

○スケールと、任意のエチュード1曲を演奏すること。

○楽器は、次に指示したものより、1つ選択すること。

①管楽器

フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、リコーダー

②弦楽器

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

③打楽器

マリンバ

注1：選択実技検査申請書に、スケールの調性、曲名(作品番号を含む)、作曲者名及び楽器名を明記する。

2：スケールは選曲したエチュードと同じ調性とし、2オクターブとする。また短調の場合は和声的短音階と旋律的短音階とする。

3：暗譜の必要はなし。

4：無伴奏とする。

C 口頭試問を含む面接

(2) 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修 (一般選抜 (前期日程))

A 音楽必須 (基礎実技・筆記試験) ※対面にて実施

(ア) 聴音：8～12小節程度の単旋律書き取り

(イ) 音楽理論の筆記試験

(ウ) ピアノによる弾き歌い

○次の楽曲のなかから任意の1曲を選んで、ピアノで弾き歌いをする。演奏・歌唱の際には、必ず1番と2番など、最低2コーラスは行うものとする。

「夏の思い出」 江間章子 作詞 中田喜直 作曲

「浜辺の歌」 林古溪 作詞 成田為三 作曲

「翼をください」 山上路夫 作詞 村井邦彦 作曲

注1：聴音の調・拍子・小節数は、当日提示する。

2：音楽理論については、基礎的な楽典、用語、音楽史などの内容を課す。

3：ピアノによる弾き歌いについては、暗譜の必要はなし。伴奏には必ず前奏をつけ、伴奏譜の選択は任意とし、各自で用意する。移調可とする。

4：試験前のピアノの練習は、可能。

B 音楽選択 (選択実技) ※実技動画提出にて実施

下記の (ア)～(ウ) より1つ選択すること。

(ア) ピアノ

○スケールと、F.J.ハイドン、W.A.モーツァルト、L.V.ベートーヴェンのピアノ・ソナタより第1楽章を演奏すること。

注1：選択実技検査申請書に、スケールの調性、曲名 (作品番号を含む)、作曲者名を明記する。

2：スケールは選曲したピアノ・ソナタと同じ調性とし、3オクターブ、カデンツを付ける。また短調の場合は和声的短音階と旋律的短音階とする。

3：繰り返しは省略する。

4：暗譜演奏とする。

(イ) 声楽

○任意の声楽曲1曲を歌うこと。

注1：選択実技検査申請書に、曲名、作曲者名を明記する。

2：オペラ・アリア以外は移調可とする。

3：暗譜演奏とする。

4：無伴奏とする。

(ウ) 管弦打楽器

○スケールと、任意の楽曲1曲を演奏すること。

○楽器は、次に指示したものより、1つ選択すること。

①管楽器

フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、リコーダー

②弦楽器

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

③打楽器

マリンバ

注1：選択実技検査申請書に曲名 (作品番号を含む)、作曲者名及び楽器名を明記する。

2：スケールは選曲した楽曲と同じ調性とし、2オクターブとする。また短調の場合は和声的短音階と旋律的短音階とする。

3：暗譜の必要はなし。

4：無伴奏とする。

C 口頭試問を含む面接

(3) 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 美術教育専修 (一般選抜 (前期日程))

A 実技検査	発想力及び造形力を評価します。	【解答時間 4時間】
B 筆記試験	鑑賞力や知識, 造形教育への関心度及び発想力を評価します。	【解答時間 2時間】
C 面接	受験の動機, 学習意欲, 表現力及び適性を評価します。	

※実技検査に必要な用具・材料は大学側で準備します。

(4) 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 保健体育専修 (一般選抜 (前期日程))

A 実技検査 (「新体カテスト」を実施)	
①握力 ②上体起こし ③長座体前屈 ④反復横とび ⑤20mシャトルラン ⑥50m走 ⑦立ち幅とび ⑧ハンドボール投げ	
注1: 上記のテスト8項目を体育館で全員が受験すること。 2: 実技検査の際には, 実技の服装及び体育館用運動靴を準備すること。 3: 受験番号を記入したゼッケン (15cm×25cm) を各自で準備し, 胸部につけること。 4: 更衣室あり。	
B 面接	
学校教員としての資質や適性, 運動・スポーツの専門家となるための資質や適性, 専門種目についての理解と競技実績・成績 (所定の「競技歴調査書」に記載) などを総合的に評価します。	

8. 個別学力検査等の採点・評価基準

(1) 個別学力検査等の採点・評価基準

① 教科・科目

外国語	<p>○読解問題では、情報や概念などを理解する力、概要や要点を捉える力、文章の論理的な構成を理解する力を語彙、文法、論理性の観点から総合的に評価します。</p> <p>○口頭表現問題では、場面や目的に応じた基本的な慣用句や熟語、英語的言い回しの習熟度等の観点から評価します。</p> <p>○作文問題では、内容、文章構成力、表現力の観点から評価します。</p> <p>○綴りや文法上誤りがあり、解答が完全に正しくない場合でもコミュニケーションの観点から理解可能であれば誤りの度合いに応じた部分点を与えます。</p>
国語	<p>○記述式問題においては、その記述内容に応じて、解答例にかかわらず得点・部分点を与えることがあります。</p> <p>○小説・評論等の現代文分野では、基本的な語彙力・漢字力をみるほか、設問において問われていることを正確に把握し、問題文の内容を踏まえて的確に記述・表現する力を求めます。</p> <p>○古文分野では、古典語彙や解釈、文法等の基本的な知識を踏まえた読解力を求め、なおかつそれについて論述する能力をみます。(中学校教育コース教科教育専攻国語教育専修のみ)</p> <p>○漢文分野では、書き下しや解釈、句法等の基本的な知識を踏まえた読解力を求めます。(中学校教育コース教科教育専攻国語教育専修のみ)</p>
数学	<p>○記述式の問題を出題することにより、数学の基本的な知識・技能、論理的思考力及び表現力が身についているかを評価します。</p> <p>○問題用紙に明記された配点に従って得点を合計します。</p> <p>○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。</p> <p>○記述式の問題の場合、途中の推論及び計算を記述せずに結論(最終的な答え)のみを書いても得点を与えません。</p>
物理	<p>○自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に判断、評価します。</p> <p>○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。</p>
化学	<p>○自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に判断、評価します。</p> <p>○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。</p>
生物	<p>○生物の基礎的知識に加え、設問の内容を的確に判断し、論理的に記述・表現する力を、総合的に評価します。</p> <p>○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。</p>
地学	<p>○設問の趣旨をよく理解しているか、また、自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などが備わっているかを、総合的に判断、評価します。</p> <p>○解答(記述、計算)が完全には正しくない場合でも、理解の度合いに応じた部分点を与えます。</p>

② 教科・科目以外の科目

※「帰国生徒」は帰国生徒特別選抜を意味します。

一般選抜	小学校教育コース	学校教育専攻	小論文	<p>○教育や子どもに関する知識・理解をみます。</p> <p>○小学校教員として必要な思考力・判断力・表現力をみます。</p> <p>○小学校教育に対する意欲・関心をみます。</p>
			面接	<p>○小学校教育に対する意欲・関心をみます。</p> <p>○小学校教員としての適性をみます。</p> <p>○コミュニケーション能力をみます。</p>
			調査書	○面接時の参考にします。
			志願理由書	○面接時の参考にします。

一般選抜	小学校教育	専攻	専攻	面接	○小学校教育や教科に対する意欲・関心・適性をみます。 ○個人面接または集団面接により, 思考力・判断力・表現力を評価します。		
				調査書	○「教科全体の評定平均値」を評点化します。		
一般選抜	中学校教育コース	専攻	教科教育専攻	専修	面接	○中学校または高校の国語教員としての意欲, 目的意識, 適性および表現力等を評価します。	
					調査書	○面接時の参考にします。	
				専修	小論文	○資料等の読解力・分析力, および設問の趣旨をふまえて論述する構想力・表現力について評価します。	
					面接	○目的意識, 学習意欲, 適性, 表現力等を評価します。	
				専修	調査書	○面接時の参考にします。	
					専修	面接	○数学科教師への意欲・関心・適性をみます。
				専修		○面接時の参考にします。	
				専修	理科教育	面接	○意欲, 目的意識, 適性, 表現力等を評価します。
						調査書	○面接時の参考にします。
				専修	音楽教育専修	実技検査	○正確な音程とリズムで音楽性豊かに演奏できるかをみます。 ○弾き歌いについては, 歌唱指導に繋がる能力をみます。
						筆記試験	○基礎的な楽典, 用語, 音楽史などの知識・理解をみます。
						口頭試問を含む面接	○大学生生活に対する熱意や目的意識の高さをみます。 ○音楽教育への理解度や学習意欲をみます。 ○面接態度, 表現力等をみます。 ○基礎的な理論, 楽典, 用語, 音楽史の知識・理解をみます。
							調査書
						専修	美術教育専修
				筆記試験	○鑑賞力や知識, 造形教育への関心度及び発想力を評価します。		
				面接	○受験の動機, 学習意欲, 表現力及び適性を評価します。		
				調査書	○面接時の参考にします。		
				専修	保健体育専修	実技検査	○「新体力テスト」を実施し, 体力・運動能力を評価します。
						面接	○学校教員としての資質や適性を評価します。 ○運動・スポーツの専門家となるための資質や適性を評価します。 ○専門種目についての理解と競技実績・成績(出願書類の競技歴調査書)を評価します。
							調査書
				専修	技術教育	面接	○技術科教師への意欲をみます。 ○技術に関する基礎的な知識と技術的体験及び技術的思考力をみます。
						調査書	○面接時の参考にします。

一般選抜	中学校教育コース	教科教育専攻	生活科学 教育専修	小論文	○家庭科教育への関心・意欲及び基礎的な文章力をみます。		
				口頭試問を含む面接	○家庭科教師への意欲をみます。 ○家庭総合に関する知識と実践力をみます。		
			調査書	○「学習成績の状況」を評点化します。			
			英語教育 専修	面接	○筆記試験では測れない英語のコミュニケーション能力をみます。		
		調査書		○「学習成績の状況」を評点化します。			
		特別支援教育コース	特別支援教育専攻	特別支援 教育専修	面接	○志望理由，特別支援教育に関する学習及び研究意欲，将来の進路計画，社会貢献への意識などについて評価します。特別支援教育に関する思考力・判断力・表現力に関する口頭試問を含みます。	
調査書	○調査書は独立しては評点化せず，面接の評点に反映させます。						
学校推薦型選抜Ⅰ	中学校教育コース	教科教育専攻	技術教育専修	口頭試問を含む面接	○技術科教師への意欲をみます。 ○技術に関する基礎的な知識と技術的体験及び技術的思考力をみます。		
				調査書	○理数系科目の評定及び総合評定を評点化します。 ○取得資格，研究発表等の受賞，課外活動，社会的活動等を評点化します。		
				推薦書	○面接時の参考にします。		
				志願理由書	○面接時の参考にします。		
		英語教育専修	面接	○志望理由，動機，将来の進路計画，英語学習や英語教育に関する意欲，興味などについて英語による面接を行います。			
			調査書	○「学習成績の状況」を評点化します。			
			推薦書	○高校3年間の主体的な活動や能動的な学びが集約された資料として，面接の重要な資料とします。			
			志願理由書	○志望動機・将来計画・長所・特技・自己アピール等を示す資料として，面接の重要な資料とします。			
			学校推薦型選抜Ⅱ	小学校教育コース	学校教育専攻	小論文	○教育や子どもに関する知識・理解をみます。 ○小学校教員として必要な思考力・判断力・表現力をみます。 ○小学校教育に対する意欲・関心をみます。
						面接	○小学校教育に対する意欲・関心をみます。 ○小学校教員としての適性をみます。 ○コミュニケーション能力をみます。
調査書	○面接時の参考にします。						
推薦書	○面接時の参考にします。						
志願理由書	○面接時の参考にします。						
教科教育専攻	国語教育専修	口頭試問を含む面接			○現代文・古文・漢文等の著名かつ基礎的な作品（の一部）を提示し，読解力や思考力をみます。 ○意欲，目的意識，適性，表現力等をみます。		
		小論文			○国語教育や言語の問題等に関するまとまった分量の文章を読んだうえで，その内容を正確に把握していることを前提に，しっかりとした根拠に基づいて自らの意見を的確に論述・表現できる能力を求めます。		
		調査書			○学習成績や就学状況等を確認できる資料として，面接の重要な資料とします。		
		推薦書			○高校3年間の主体的な活動や能動的な学びが集約された資料として，面接の重要な資料とします。		
		志願理由書			○志望動機・将来計画・長所・特技・自己アピール等を示す資料として，面接の重要な資料とします。		

学校推薦型選抜Ⅱ	小学校教育コース	教科教育専攻	社会科教育専修	面接	○小学校教育に対する意欲・関心・適性をみます。 ○自分の意見をまとめ、適切に表現する力をみます。 ○教育や子どもに関する問題について自分なりの視点で分析し、議論する力をみます。
				小論文	○小学校教育に対する意欲・関心・適性をみます。 ○理解力、分析力、考察力、論理的な思考力および記述力を評価します。
				調査書	○「学習成績の状況」等について面接の参考資料とします。
				推薦書	○高校3年間の主体的な活動や能動的な学びについて学校側の認識を示す資料として、面接の重要な資料とします。
				志願理由書	○志望動機・将来計画・自己アピール等を示す資料として、面接の重要な資料とします。
			数学教育専修	口頭試問を含む面接	○小学校教師としての適性、および数学についての理解の程度と論理的思考力について評価します。
				調査書	○学習成績や修学状況等を確認できる資料として、面接時の参考にします。
				推薦書	○高校3年間の主体的な活動や能動的な学びが集約された資料として、面接時の参考にします。
				志願理由書	○志望動機・将来計画等を示す資料として、面接時の参考にします。
			理科教育専修	口頭試問を含む面接	○意欲、目的意識、適性、表現力等を評価します。 ○自然科学についての理解の程度及び論理的思考力について評価します。
				調査書	○学業成績、就学状況、課外活動、特技等を総合的に評価します。
				推薦書	○高校3年間の主体的な活動や能動的な学びが集約された資料として、面接時に活用します。
				志願理由書	○志望動機・将来計画・長所・特技・自己アピール等を示す資料として、面接時に活用します。
			音楽教育専修	実技検査	○正確な音程とリズムで音楽性豊かに演奏できるかをみます。 ○弾き歌いについては、歌唱指導に繋がる能力をみます。
				口頭試問を含む面接	○大学生活に対する熱意や目的意識の高さをみます。 ○音楽教育への理解度や学習意欲をみます。 ○面接態度、表現力等をみます。 ○基礎的な理論、楽典、用語、音楽史の知識・理解をみます。
				小論文	○出題の意図を把握し、問題の解決のための分析力や意見、主張に論理性があり説得力があるかをみます。
				調査書	○学習成績や修学状況等を確認できる資料として、面接時の参考にします。
				推薦書	○高校3年間の主体的な活動や能動的な学びが集約された資料として、面接の重要な資料とします。
				志願理由書	○志望動機・将来計画・長所・特技・自己アピール等を示す資料として、面接の重要な資料とします。
			美術教育専修	面接	○受験の動機、学習意欲、表現力および適正を評価します。
小論文	○発想力や鑑賞力、造形教育への関心度を評価します。				
調査書	○学習成績や修学状況等を確認できる資料として、面接の重要な資料とします。				
推薦書	○高校3年間の主体的な活動や能動的な学びが集約された資料として、面接の重要な資料とします。				
志願理由書	○志望動機・将来計画・長所・特技・自己アピール等を示す資料として、面接の重要な資料とします。				

学校推薦型選抜Ⅱ	小学校教育コース	教科教育専攻	保健体育専修	面接	○小学校の教員としての資質や適性を評価します。 ○運動・スポーツの専門家となるための資質や適性を評価します。 ○専門種目についての理解と競技実績・成績（出願書類の競技歴調査書）を評価します。	
				調査書	○「学習成績の状況」および部活動、学級・生徒会活動、特技や表彰・受賞等についてそれぞれ評点化します。	
				競技歴書	○専門種目についての競技実績や成績を判断するための基礎資料とします。（エビデンスを添付すること） ○面接の評価に加味します。 高等学校等の長が責任をもって記載した所定の「競技歴調査書」を精査し、面接でも聴取します。なお、競技歴調査書には本人の競技大会・試合への出場や競技成績が客観的に証明できる資料を添付すること。（競技歴調査書の記入上の注意事項を必読のこと。）	
				推薦書	○学業・人物・課外活動（部活動に重点を置く）について、面接の基礎資料とします。 ○高校3年間の主体的な活動や能動的な学びが集約された資料として、面接の重要な資料とします。	
				志願理由書	○志望動機・将来計画・長所・特技・自己アピール等を示す資料として、面接の重要な資料とします。	
				技術教育専修	口頭試問を含む面接	○学校教員への意欲をみます。 ○ものづくりに関する基礎的な知識とものづくり体験及び技術的思考力をみます。
					調査書	○「学習成績の状況」を評点化します。
					推薦書	○高校3年間の主体的な活動や能動的な学びが集約された資料として、面接の重要な資料とします。
			志願理由書		○志望動機・将来計画・長所・特技・自己アピール等を示す資料として、面接の重要な資料とします。	
			生活科学教育専修	小論文	○小学校教育への関心・意欲及び基礎的な文章力をみます。	
				口頭試問を含む面接	○教師への意欲をみます。 ○家庭総合に関する知識と実践力をみます。	
				調査書	○「学習成績の状況」を評点化します。	
				推薦書	○高校3年間の主体的な活動や能動的な学びが集約された資料として、面接の重要な資料とします。	
				志願理由書	○志望動機・将来計画・長所・特技・自己アピール等を示す資料として、面接の重要な資料とします。	
			英語教育専修	面接	○志望理由、動機、将来の進路計画、英語学習や英語教育に関する意欲、興味などについて面接を行います。面接は一部英語で行います。	
				調査書	○「学習成績の状況」を評点化します。	
	推薦書	○高校3年間の主体的な活動や能動的な学びが集約された資料として、面接の重要な資料とします。				
	志願理由書	○志望動機・将来計画・長所・特技・自己アピール等を示す資料として、面接の重要な資料とします。				
	特別支援教育コース	特別支援教育専攻	面接	○志望理由、特別支援教育に関する学習及び研究意欲、将来の進路計画、社会貢献への意識などについて評価します。		
			調査書	○調査書は独立しては評点化せず、面接の評点に反映させます。		
推薦書			○高校3年間の主体的な活動や能動的な学びが集約された資料として、面接の重要な資料とします。			
志願理由書			○志望動機・将来設計・長所・特技・自己アピール等を示す資料として面接の重要な資料とします。			

総合型選抜Ⅰ	小学校教育コース	学校教育専攻	第1次選考	個人面接	○小学校教育に対する意欲・関心をみます。 ○知識・技能を含む小学校教員としての適性をみます。 ○コミュニケーション能力をみます。
				調査書	○面接時の参考にします。
				志願理由書	○面接時の参考にします。
				自己推薦書	○面接時の参考にします。
			第2次選考	問題解決型グループワーク	○課題を集団で遂行しようとする姿勢をみます。 ○他者の意見もふまえて自分の考えを自らの言葉で表現する力をみます。 ○与えられた課題に対する理解や思考力をみます。 ○子ども理解や教職に対する知識・技能や意欲・関心をみます。
帰国生徒	中学校教育コース	教科教育専攻	美術教育専修	実技検査	○発想力及び造形力を評価します。
				筆記試験	○鑑賞力や知識，造形教育への関心度及び発想力を評価します。
				面接	○受験の動機，学習意欲及び基礎的な会話能力を評価します。
				小論文	○美術・美術教育への関心度，創造性及び基礎的な文章表現能力を評価します。
				成績証明書等	○面接時の参考にします。

9. 合否判定基準

全学に適用される全学部の基本的な合否判定基準（24ページ）も併せて参照してください。

「帰国生徒」は帰国生徒特別選抜を意味します。

一般選抜	学部共通		○同点者は同順位とし、その順位が合格者の最下位である場合は、その順位の者をすべて合格者とします。
総合型選抜Ⅰ	教育コース 小学校	学校教育専攻	○第1次選考では、個人面接の点数で順位付けを行い、合否を判定します。 ○第2次選考では、問題解決型グループワークの点数と第1次選考の点数を加えた合計点で順位付けを行い、合否を判定します。
学校推薦型選抜Ⅰ	教育コース 中学校	教科教育専攻 技術教育専修	○面接（口頭試問を含む）及び出願書類を総合的に判断します。
		英語教育専修（英語重視）	○面接（英語で行う）及び出願書類を総合的に判断します。
学校推薦型選抜Ⅱ	学部共通		○共通テストの成績、個別学力試験等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して判定します。
	小学校教育コース	学校教育専攻	○小論文と面接の成績を中心に、出願書類を総合して判定します。共通テストは資格審査として用いるので、配点には影響しません。
		教科教育専攻 国語教育専修	○小論文と面接（口頭試問を含む）の成績を中心に、出願書類を総合して判定します。共通テストは資格審査として用いるので、配点には影響しません。
		社会科教育専修	○小論文と面接の成績を中心に、出願書類を総合して判定します。共通テストは資格審査として用いるので、配点には影響しません。
		数学教育専修	○共通テストと面接（口頭試問を含む）の総合評価により判定します。
		理科教育専修	○共通テスト、面接（口頭試問を含む）及び出願書類の総合評価により判定します。
		音楽教育専修	○共通テスト、実技検査、小論文、面接（口頭試問を含む）及び出願書類を総合して判定します。 ○共通テストの成績が配点合計の50%に満たない場合は不合格とします。
		美術教育専修	○共通テスト、小論文、面接の総合評価により判定します。
		保健体育専修	○共通テストの合計点に1/2を乗じた値を共通テストの得点とします。 ○面接を中心に共通テスト、調査書、推薦書、志願理由書及び競技歴調査書を総合して選考します。 ○共通テストの成績が配点合計の45%に満たない場合は不合格とします。
		技術教育専修	○共通テストと面接（口頭試問を含む）及び出願書類を総合評価により判定します。
		生活科学教育専修	○共通テスト、小論文、面接（口頭試問を含む）の成績を中心に、出願書類を総合して判定します。
英語教育専修	○共通テスト、面接（口頭試問を含む、一部英語で行う）及び出願書類を総合的に判定します。		
特別支援教育コース	特別支援教育専攻	特別支援教育専修	○共通テストと面接及び調査書の総合評価により判定します。
帰国生徒	中学校教育コース	教科教育専攻 美術教育専修	○募集要項の選抜方法により、専門的能力及び日本語能力等について総合的に判定します。

10. 募集人員の留意事項

- (1) 学校教育教員養成課程中学校教育コース教科教育専攻及び特別支援教育コース特別支援教育専攻の一般選抜については前期日程のみの選抜です。
- (2) 学校教育教員養成課程小学校教育コース学校教育専攻の一般選抜は、学校教育専攻一括で募集します。共通テストと個別学力検査等の総合点の上位者から順に、学校教育専攻全体として合格者を決定します。(専修配属・所属についての詳細は下記「11. 教育学部の専修の決定方法等について」参照。)
- (3) 学校教育教員養成課程小学校教育コース学校教育専攻の学校推薦型選抜の選抜は専攻で行います。合格者は学校教育専攻に所属します。
- (4) 学校教育教員養成課程小学校教育コース教科教育専攻の一般選抜は、教科教育専攻一括で募集します。共通テストと個別学力検査等の総合点の上位者から順に、教科教育専攻全体として合格者を決定します。(専修配属・所属についての詳細は下記「12. 教育学部の専修の決定方法等について」参照。)
- (5) 学校教育教員養成課程小学校教育コース教科教育専攻の学校推薦型選抜の選抜は専修毎に行います。合格者は志望専修に所属します。
- (6) 学校教育教員養成課程中学校教育コース教科教育専攻は、各専修単位で募集を行い、1年次から合格した専修に所属します。
- (7) 定員補充について
 - ①以下の特別選抜の入学手続者が募集人員に満たなかった場合は、以下の選抜区分で満たない分の募集人員を補充します。

募集人員に満たなかった選抜区分	満たない分の募集人員の補充を行う選抜区分
学校推薦型選抜，総合型選抜	一般選抜（前期日程）

- ②以下の特別選抜の募集人員（若干名）は以下の選抜区分の募集人員に含まれます。

該当する特別選抜	特別選抜の募集人員を含む選抜区分
帰国生徒特別選抜 学校教育教員養成課程中学校教育コース教科教育専攻 (美術教育専修)	一般選抜（前期日程）

- (8) 欠員補充

入学手続完了者が入学定員に達しなかった場合に、追加合格を実施してなお欠員がある場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

11. 教育学部の専修の決定方法等について

学校教育教員養成課程小学校教育コース学校教育専攻の一般選抜は、学校教育専攻一括で募集します。

共通テストと個別学力検査等の総合点の上位者から順に、学校教育専攻全体として合格者を決定します。合格者は学校教育専攻に所属します。2年次前学期開始前に、本人の希望と入学後の成績等に基づき、専修配属を行います。

学校教育教員養成課程小学校教育コース教科教育専攻の一般選抜は、教科教育専攻一括で募集します。

共通テストと個別学力検査等の総合点の上位者から順に、教科教育専攻全体として合格者を決定します。出願時に教科教育専攻10専修に対する志望順位を第3志望まで記入してもらい、その志望に沿って合格者を各専修に仮配属します。得点上位者から順に第1志望の専修に配属し、第3志望まで、専修の受入人員以内になるよう配属します。

各専修の最大の受入人員の日安は、7名程度です。志望順位を第3志望まで記入していない場合は、志望していない専修に配属されることもあります。仮配属専修名は、合格通知書に同封して通知します。

2年次前学期開始前に、本人の希望と1年次の成績に基づき、最終的な専修配属を行います。専修変更は、それを希望する学生のみで、希望しない学生の専修変更はありません。なお、希望する専修への変更を確約するものではありません。

【13】各学部の入学者選抜について

理 学 部

理学部では、次の方法で入学者選抜方法を実施します。

数理学科

- 1) 一般選抜（前期日程・後期日程） 2) 私費外国人留学生特別選抜

物質地球科学科

物理系

- 1) 一般選抜（前期日程・後期日程） 2) 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）
3) 帰国生徒特別選抜 4) 私費外国人留学生特別選抜

地球環境系

- 1) 一般選抜（前期日程・後期日程） 2) 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）
3) 帰国生徒特別選抜 4) 私費外国人留学生特別選抜

海洋自然科学科

化学系

- 1) 一般選抜（前期日程・後期日程） 2) 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）
3) 帰国生徒特別選抜 4) 私費外国人留学生特別選抜

生物系

- 1) 一般選抜（前期日程・後期日程） 2) 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）
3) 帰国生徒特別選抜 4) 私費外国人留学生特別選抜

募集人員は次のとおりです。

学 部	学科・課程・(選抜方式)等	入学 定員 (名)	募集人員(名)									
			一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		社会人	帰国 生徒	私 費 外国人	
			分離分割方式		共通テスト を課さない	共通テスト を課す	共通テスト を課さない	共通テスト を課す				
			前期日程	後期日程								
理 学 部	数 理 科 学 科	40	30	10							若干名	
	物 質 地 球 科 学 科	物 理 系	65	28	7			5			若干名	若干名
			地球環境系	19	3			3		若干名	若干名	
	海 洋 自 然 科 学 科	化 学 系	95	27	10			10			若干名	若干名
		生 物 系		37	10			1		若干名	若干名	
	計	200	141	40			19					

1. 一般選抜（前期日程・後期日程） 84～89ページ
2. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）
 - 物質地球科学科 物理系 90ページ
 - 物質地球科学科 地球環境系 91ページ
 - 海洋自然科学科 化学系 92ページ
 - 海洋自然科学科 生物系 93ページ
3. 帰国生徒特別選抜 94ページ
4. 私費外国人留学生特別選抜 95ページ
5. 出願に関する第2志望の取扱い 95ページ
6. 個別学力検査等の採点・評価基準 96～98ページ
7. 合否判定基準 98ページ
8. 募集人員の留意事項 99ページ

各選抜の出願手続、出願書類、個別学力検査等の実施日時及び試験会場等については、「学生募集要項」を必ず確認してください。

「学生募集要項」は本学ホームページに掲載します。（22ページ参照）

1. 一般選抜（前期日程・後期日程）

令和6年度入学者選抜の実施教科・科目等

理学部－1

学部・学科等名 及び入学定員等 〔令和5年度〕 志願倍率	区分 ・ 検査 日程	共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	
理学部 〔3.2〕 200名 前期141 後期40 その他19	数理科学科 40名 前期30 後期10	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫・政経 数I・数A 数II・数B 物理, 化学, 生物から2 英 (5教科7科目)	数 理 その他	(数I・数II・ 数III・数A・ 数B) (物基・物理, 化基・化学, 生基・生物 から1) 調査書	
物質地球 科学科 65名	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1〔計2科目〕 *下記の①, ②のいずれかから選択する。 ①物基 化基, 生基, 地基から1 化学, 生物, 地学から1〔計3科目〕 ※ただし, 「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注2) ②物理 化基, 生基, 地基から2〔計3科目〕 又は 化学, 生物, 地学から1〔計2科目〕 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数 理 その他	(数I・数II・ 数III・数A・ 数B) (物基・物理) 調査書		
							物理系 前期28 後期7 その他5
地球環境系 前期19 後期3 その他3	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I・数A 数II・数B, 簿・会, 情報から1〔計2科目〕 *下記の①, ②のいずれかから選択する。 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 物理, 化学, 生物, 地学から1〔計3科目〕 ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注2) ②物理, 化学, 生物, 地学から2〔計2科目〕 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数 理 その他	(数I・数II・ 数III・数A・ 数B) (物基・物理, 化基・化学, 地基・地学 から1) 調査書		
							物理系 前期28 後期7 その他5

〔注1〕数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の
〔注2〕「同一名称を付した科目の選択は認めない」とは、物理基礎と物理, 化学基礎と化学, 生物基礎と生物, 地学基礎と地学の科
○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

共通テスト・個別学力検査等の配点等													特別選抜 方法等	
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書		配点 合計
共通テスト	200	*100		200	200	200							900	私 費 追加合格
個別学力検査等				400	200							50	650	
計	200	*100		600	400	200						50	1550	
共通テスト	200	*100		200	200	200							900	推 薦 国生 私 費 追加合格
個別学力検査等				600								50	650	
計	200	*100		800	200	200						50	1550	
パターンA	共通テスト	200	*100		200	200	200						900	推 薦 国生 私 費 追加合格
	個別学力検査等				200	200						50	450	
	計	200	*100		400	400	200					50	1350	
パターンB	共通テスト	100	*50		100	100	100						450	推 薦 国生 私 費 追加合格
	個別学力検査等				400	450						50	900	
	計	100	*50		500	550	100					50	1350	
上記のパターンA（共通テスト重視）とパターンB（個別学力検査重視）のそれぞれの合計点を比較し、高得点の点数を利用して合否判定を行います。														
パターンA	共通テスト	200	*100		200	200	200						900	推 薦 国生 私 費 追加合格
	個別学力検査等				200	200						50	450	
	計	200	*100		400	400	200					50	1350	
パターンB	共通テスト	100	*50		100	100	100						450	推 薦 国生 私 費 追加合格
	個別学力検査等				400	450						50	900	
	計	100	*50		500	550	100					50	1350	
上記のパターンA（共通テスト重視）とパターンB（個別学力検査重視）のそれぞれの合計点を比較し、高得点の点数を利用して合否判定を行います。														

指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。
目を選択することは認めないことを指す。

令和6年度入学選抜の実施教科・科目等

理学部－2

学部・学科等名 及び入学定員等	区分 ・ 日等 程の	共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	
理学部 物質地球 科学科 65名 物理系 前期28 後期7 その他5 地球環境 系 前期19 後期3 その他3	後期	物理系 外	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理 化基、生基、地基から2 [計3科目] 又は 化学、生物、地学から1 [計2科目] 英、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	その他	調査書	
	後期 3月 12日		地球環境系 外	国 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B *下記の①、②のいずれかから選択する。 ①物基、化基、生基、地基から2 物理、化学、生物、地学から1 [計3科目] ※ただし、「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注1) ②物理、化学、生物、地学から2 [計2科目] 英、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	その他	小論文 調査書	
海洋自然 科学科 95名 化学系 前期27 後期10 その他10 生物系 前期37 後期10 その他1	前期 2月 25日	化学系 外	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1 (注2) [計2科目] 化学 物基、生基、地基から2 [計3科目] 又は 物理、生物、地学から1 [計2科目] 英、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数 理 その他	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B) (化基・化学) 調査書	
			生物系 外	国 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1 (注2) [計2科目] 物理、化学、生物、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 (5教科7科目)	数 理 その他	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B) (生基・生物) 調査書	

(注1) 「同一名称を付した科目の選択は認めない」とは、物理基礎と物理、化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学の科
(注2) 数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の
○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

試験の区分	共通テスト・個別学力検査等の配点等											特別選抜 方法等		
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	筆記試験	面接	口頭 試問	小論文		調査書	配点 合計
共通テスト	200	*100		400	400	200							1300	推 薦 帰国生徒 私 費 追加合格
個別学力検査等												50	50	
計	200	*100		400	400	200						50	1350	
共通テスト	200	*100		400	400	200							1300	推 薦 帰国生徒 私 費 追加合格
個別学力検査等											200	50	250	
計	200	*100		400	400	200					200	50	1550	
共通テスト	200	*100		200	200	200							900	推 薦 帰国生徒 私 費 追加合格
個別学力検査等				200	200							50	450	
計	200	*100		400	400	200						50	1350	
共通テスト	200	*100		200	200	200							900	推 薦 帰国生徒 私 費 追加合格
個別学力検査等				100	300							30	430	
計	200	*100		300	500	200						30	1330	

目を選択することは認めないことを指す。
指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。

令和6年度入学選抜の実施教科・科目等

学部・学科等名 及び入学定員等	区分 ・ 日等 程の	共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜	
理学部 海洋自然科学科 95名 化学系 前期27 後期10 その他10 生物系 前期37 後期10 その他1	後期	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数I・数A 数II・数B 化学 物基, 生基, 地基から2 [計3科目] 又は 物理, 生物, 地学から1 [計2科目] 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	その他	調査書		
	後期 3月 12日	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数I・数A 数II・数B 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)	その他	小論文		

○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

理学部-3

試験の区分	共通テスト・個別学力検査等の配点等												特別選抜 方法等	
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書		配点 合計
共通テスト	200	*100		200	400	200							1100	推 薦 帰国生徒 私 費 追加合格
個別学力検査等												50	50	
計	200	*100		200	400	200						50	1150	
共通テスト	200	*100		200	200	200							900	
個別学力検査等											200		200	
計	200	*100		200	200	200					200		1100	

2. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

※国公立大学の学校推薦型選抜は、共通テストを課すもの及び課さないものを含め、1つの大学・学部にし
か出願できません。

学校推薦型選抜Ⅱ－1

実施学部 ・学科等	理学部 物質地球科学科 物理系
募集人員	5 名
出願要件	<p>次の（１）～（５）又は（６）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（*）を令和6年3月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が3.5以上のもの</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）特に、物理の分野に強い関心と勉学意欲がある者</p> <p>（５）物理及び数学Ⅲを履修又は履修中の者</p> <p>（６）高等学校等（*）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記（６）に該当する志願者は、11ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（5教科7科目又は5教科8科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世B、日B、地理B） ・公民（現社、倫、政経、倫・政経） <p>} から1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数（数Ⅰ・数A） （数Ⅱ・数B） ・理（物理） （化基、生基、地基から2）[計3科目] 又は （化学、生物、地学から1）[計2科目] ・外（英、独、仏、中、韓から1） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接
出願期間	令和5年11月 1日（水）～11月 4日（土）
選抜期日	令和5年12月 6日（水）
合格発表	令和6年 2月 9日（金）
その他	1高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しない。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部 ・学科等	理学部 物質地球科学科 地球環境系
募集人員	3 名
出願要件	<p>次の（１）～（５）又は（６）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）を令和６年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和５年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が４．０以上のもの</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）特に、地学の分野に強い関心と勉学意欲がある者</p> <p>（５）物理、化学、生物、または地学（理数科においては、理数物理、理数化学、理数生物、理数地学）の中から２科目以上履修した者、若しくは現在履修している者</p> <p>（６）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和６年３月３１日までに１８歳に達するもの</p> <p>○上記（６）に該当する志願者は、１１ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（５教科７科目又は５教科８科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世Ｂ、日Ｂ、地理Ｂ） ・公民（現社、倫、政経、倫・政経） ・数（数Ⅰ・数Ａ） （数Ⅱ・数Ｂ） ・理 ※下記の①、②のいずれかから選択する。 <ul style="list-style-type: none"> ①物基、化基、生基、地基から２ 物理、化学、生物、地学から１〔計３科目〕 ※ただし、「同一名称を付した科目」の選択は認めない。（注） ②物理、化学、生物、地学から２〔計２科目〕 ・外（英、独、仏、中、韓から１） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接 <p>備考 （注）「同一名称を付した科目の選択は認めない」とは、物理基礎と物理、化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学の科目を選択することは認めないことを指す。</p>
出願期間	令和５年１１月 １日（水）～１１月 ４日（土）
選抜期日	令和５年１２月 ６日（水）
合格発表	令和６年 ２月 ９日（金）
その他	１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しない。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部 ・学科等	理学部 海洋自然科学科 化学系
募集人員	10名（うち専門高校卒業生枠3名程度）
出願要件	<p>次の（１）～（４）又は（５）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）を令和6年3月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 専門高校卒業生枠にあつては工業高等学校および農業高等学校を令和6年3月に卒業見込みの者</p> <p>（２）特に化学の分野に強い関心と勉学意欲がある者</p> <p>（３）高等学校等での全体の評定平均値が3.5以上で、かつ出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者</p> <p>（４）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（５）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記（５）に該当する志願者は、11ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（3教科5科目又は3教科6科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数（数Ⅰ・数A） （数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1）（注）〔計2科目〕 ・理（化学） （物基、生基、地基から2）〔計3科目〕 又は （物理、生物、地学から1）〔計2科目〕 ・外（英、独、仏、中、韓から1） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接 ・調査書 <p>備考 （注）数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>
出願期間	令和5年11月 1日（水）～11月 4日（土）
選抜期日	令和5年12月 6日（水）
合格発表	令和6年 2月 9日（金）
その他	1高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しない。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部 ・学科等	理学部 海洋自然科学科 生物系
募集人員	1 名（水産に関する学科のみ）
出願要件	<p>次の（１）～（３）又は（４）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（*）の水産に関する学科を令和６年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和５年度中に高等学校（水産に関する学科）を卒業又は卒業見込みの者 なお、水産高等学校専攻科在学中又は令和６年３月卒業見込みの者も対象とする</p> <p>（２）特に生物学に強い関心と学習意欲を持ち、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 なお、学習成績概評が㊤に属する者</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）高等学校等（*）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和６年３月３１日までに１８歳に達するもの</p> <p>○上記（４）に該当する志願者は、１１ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（５教科７科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ） ・公民（現社，倫，政経，倫・政経） ・数（数Ⅰ・数Ａ） （数Ⅱ・数Ｂ，簿・会，情報から１）（注）〔計２科目〕 ・理（物理，化学，生物，地学から２） ・外（英，独，仏，中，韓から１） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接 ・調査書 ・志願理由書 <p>備考 （注）数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」で選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>
出願期間	令和５年１１月 １日（水）～１１月 ４日（土）
選抜期日	令和５年１２月 ６日（水）
合格発表	令和６年 ２月 ９日（金）
その他	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しない。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

3. 帰国生徒特別選抜

帰国生徒特別選抜

実施学部 ・学科等	理学部 物質地球科学科 物理系・地球環境系, 海洋自然科学科 化学系・生物系
募集人員	若干名
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等により外国で、2年以上滞在しており、次のいずれかに該当するもの。ただし、令和5年1月20日以前に帰国（一時的な短期の帰国を除く。）した者は、出願を認めない。</p> <p>(1) 学校教育における12年の課程を修了した者又は令和6年3月31日までに修了見込みの者で、原則として、外国において最終学年を含め、2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けているもの（ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学して教育を受けた期間は、「2年以上」という期間には算入しない。）</p> <p>(2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者及びグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE Aレベル）を有する者</p> <p>(3) 本学において、個別の入学資格審査により入学資格認定書の交付を受けた者</p> <p>○上記（3）に該当する志願者は、11ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	共通テストを免除し、成績証明書（調査書）、小論文及び面接を総合して選考します。
出願期間	令和5年11月 1日（水）～11月 4日（土）
選抜期日	令和5年12月 6日（水）
合格発表	令和5年12月15日（金）
その他	<p>1. 出願書類</p> <p>(1) 出願確認票、卒業（修了）証明書又は同見込み証明書、成績証明書、身上記録、保護者の在外勤務などに関する証明書等</p> <p>(2) 国際バカロレア資格を取得した者は、その証明書の写しと最終試験6科目の成績評価証明書</p> <p>(3) アビトゥア資格を取得した者は、一般的大学入学資格証明書（Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife）の写し</p> <p>(4) バカロレア資格（フランス共和国）を取得した者は、その証明書の写し</p> <p>(5) ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル）を有する者は、成績評価証明書</p> <p>※ 外国の学校又は機関が作成する書類について、日本語以外の場合は、日本語訳を添付すること。</p> <p>※ 表彰を受けた者は、関係書類の写しを添付すること。</p> <p>2. 本学他学部・学科等の帰国生徒特別選抜との併願は認めない。</p>

4. 私費外国人留学生特別選抜

理学部では、私費外国人留学生特別選抜を実施します。詳細は134～136ページを参照してください。

5. 出願に関する第2志望の取扱い（理学部数理科学科、物質地球科学科、海洋自然科学科化学系）

(1) 物質地球科学科物理系を第2志望とする出願について

次に該当する志願者に限り物質地球科学科物理系を第2志望として出願することができます。

- ① 理学部数理科学科及び物質地球科学科地球環境系（以下「第1志望学科等」）の前期日程志願者で、物質地球科学科物理系（以下「物理系」）が課す共通テストの教科・科目を受験し、物理系が課す個別学力検査の教科・科目を選択する者は、物理系への第2志望を認めます。ただし、試験当日、物理系が課す個別学力検査の教科・科目を受験しなかった者は、第2志望を取り消したものとみなします。（「1. 一般選抜（前期日程・後期日程）」84～89ページ参照）
- ② 物理系を第2志望とする者が第1志望学科等の合格者となった場合は、第2志望である物理系の合否判定の対象者とはしません。
- ③ 物理系の合否判定においては、物理系の志願者（物理系のみを志望している者）及び物理系を第2志望とする者（第1志望学科等の合格者を除く）を対象者とし、総合得点（物理系の配点に基づく得点）の上位から順次合格者とします。ただし、物理系を第2志望とする者の合格者数は3名を上限とします。
- ④ 上記③において、物理系を第2志望とする者が合格者となった場合は、その者を第1志望学科等の追加合格候補者としません。

(2) 物質地球科学科地球環境系を第2志望とする出願について

次に該当する志願者に限り物質地球科学科地球環境系を第2志望として出願することができます。

- ① 理学部数理科学科、物質地球科学科物理系及び海洋自然科学科化学系（以下「第1志望学科等」）の前期日程志願者で、物質地球科学科地球環境系（以下「地球環境系」）が課す共通テストの教科・科目を受験し、地球環境系が課す個別学力検査の教科・科目を選択する者は、地球環境系への第2志望を認めます。ただし、試験当日、地球環境系が課す個別学力検査の教科・科目を受験しなかった者は、第2志望を取り消したものとみなします。（「1. 一般選抜（前期日程・後期日程）」84～89ページ参照）
- ② 地球環境系を第2志望とする者が第1志望学科等の合格者となった場合は、第2志望である地球環境系の合否判定の対象者とはしません。
- ③ 地球環境系の合否判定においては、地球環境系の志願者（地球環境系のみを志望している者）及び地球環境系を第2志望とする者（第1志望学科等の合格者を除く）を対象者とし、総合得点（地球環境系の配点に基づく得点）の上位から順次合格者とします。ただし、地球環境系を第2志望とする者の合格者数は3名を上限とします。
- ④ 上記③において、地球環境系を第2志望とする者が合格者となった場合は、その者を第1志望学科等の追加合格候補者としません。

6. 個別学力検査等の採点・評価基準

① 教科・科目

数 学	<p>○記述式の問題を出題することにより、数学の基本的な知識・技能、論理的思考力及び表現力が身につけているかを評価します。</p> <p>○問題用紙に明記された配点に従って得点を合計します。</p> <p>○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。</p> <p>○記述式の問題の場合、途中の推論及び計算を記述せずに結論（最終的な答え）のみを書いても得点を与えません。</p>
物 理	<p>○自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に判断、評価します。</p> <p>○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。</p>
化 学	<p>○自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に判断、評価します。</p> <p>○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。</p>
生 物	<p>○生物の基礎的知識に加え、設問の内容を的確に判断し、論理的に記述・表現する力を、総合的に評価します。</p> <p>○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。</p>
地 学	<p>○設問の趣旨をよく理解しているか、また、自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などが備わっているかを、総合的に判断、評価します。</p> <p>○解答（記述、計算）が完全には正しくない場合でも、理解の度合いに応じた部分点を与えます。</p>

② 教科・科目以外の科目

※「社会人」は社会人特別選抜、「帰国」は帰国生徒特別選抜、「私費」は私費外国人留学生特別選抜を意味します。

ア) 数理科学科

一般選抜	調 査 書	○学習に対する主体性・協働的態度を、調査書の内容に基づき総合的に評価します。
私 費	面 接	○数学の基礎学力と学習意欲を総合的に評価します。

イ) 物質地球科学科

一般選抜	物理系	調 査 書	○「学習成績の状況」を評点化します。
	地球環境系	調 査 書	○学習に対する主体性を評価するため、評定平均値を点数化し、総合得点に加算して合算します。
		小 論 文 (後期日程)	○自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に判断、評価します。
学校推薦型 選 抜 II	物理系	面 接	○動機、意欲、長所、将来計画、物理学の基礎学力（数学の基礎学力も含む）、適性等を総合的に評価します。その際に、調査書、推薦書、志願理由書の記載内容も含めて評価します。
		調 査 書 推 薦 書 志 願 理 由 書	○面接の際に活用します。
	地球環境系	面 接	○志望理由、学習への意欲、適性等を評価し、調査書、推薦書、志願理由書の記載内容も含めて総合的に評価します。
		調 査 書	○中等教育での学習成果および学習に対する主体性を評価します。
		推 薦 書	○中等教育での地学分野（天文分野を含む）への取組、活動実績を中心として評価します。
		志 願 理 由 書	○志望理由、地学の専門分野に対する学習への意欲、適性等を評価します。

帰 国	物理系	小 論 文	○自然科学についての思考力，独創性，発想力及び表現力等を総合的に判断，評価します。
		面 接	○志願理由，学習への意欲，適性，物理学の基礎学力（数学の基礎学力も含む）等を総合的に評価します。
		成 績 等 証 明 書	○学業成績，就学状況，課外活動，特技，資格等を総合的に評価します。
	地 球 環 境 系	小 論 文	○自然科学についての思考力，独創性，発想力及び表現力等を総合的に判断，評価します。
		面 接	○志望理由，学習への意欲，適性等などを総合的に評価します。
		成 績 等 証 明 書	○学業成績，就学状況，課外活動，特技・資格等を総合的に評価します。
私 費	物理系	面 接	○志願理由，学習への意欲，適性，物理学の基礎学力（数学の基礎学力も含む）等を総合的に評価します。
	地 球 環 境 系	面 接	○志望理由，学習への意欲，適性等を総合的に評価します。

ウ) 海洋自然科学科

一 般 選 抜	化学系	調 査 書	○主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度，および指導上参考となる諸事項等を総合的に評価します。
	生物系	調 査 書 (前期日程)	○主体性・協調性を総合的に評価します。
		小 論 文 (後期日程)	○設問に関する理解力，考察力，発想力及び表現力，主体性・協調性などを総合的に評価します。
学 校 推 薦 型 選 抜 II	化学系	面 接	○自然科学に対する学習意欲，化学に必要な論理的思考力・判断力・表現力，志望動機等を総合的に評価します。
		調 査 書	○主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度，および指導上参考となる諸事項等を総合的に評価します。
		推 薦 書 志 願 理 由 書	○面接の際に活用します。
	生物系	面 接	○生物学に対する関心と基礎知識，学習意欲，動機，適性等を総合的に評価します。
		調 査 書	○生物学に関する活動や資格，指導上参考となる諸事項等特記事項等を評価します。
		推 薦 書	○面接の際に活用します。
		志 願 理 由 書	○生物学に関する関心の程度や，学習意欲，文章力や論理性などを総合的に評価します。
帰 国	化学系	小 論 文	○化学の基礎及びトピックス的内容からいくつかの設問を出題し，その設問に対する解答内容を点数化し，評価します。
		面 接	○意欲（動機，長所，将来計画），化学の基礎学力，海外生活経験，適性等を総合的に評価します。
		成 績 等 証 明 書	○学業成績ならびに主に化学（あるいは科学全般）に関する活動及び特記事項を評価します。
	生物系	小 論 文	○設問に関する理解力，考察力，発想力及び表現力などを総合的に評価します。
		面 接	○生物学に対する関心と基礎知識，学習意欲，動機，適性，主体性・協調性等を総合的に評価します。
		成 績 等 証 明 書	○学業成績及び生物学に関する特記事項等を評価します。

私費	化学系	面接	○意欲（動機，興味のある化学の分野，大学で学びたいこと，将来計画，進路）および化学の基礎学力（日本留学試験の化学の出題範囲）を点数化し，評価します。
	生物系	面接	○生物学に対する関心と基礎知識，学習意欲，動機，適性，主体性・協調性等を総合的に評価します。

7. 合否判定基準

全学に適用される全学部の基本的な合否判定基準（24ページ）も併せて参照してください。

ア) 数理科学科

一般選抜	○同点者の順位決定は，個別学力検査の数学の得点，次に共通テストの数学の得点で判定します。
私費	○日本留学試験及び面接の成績等を総合して判定します。

イ) 物質地球科学科

一般選抜	物理系	前期日程	○同点者の順位決定は，換算前の個別学力検査の物理の得点，次に換算前の共通テストの理科の得点で判定します。
		後期日程	○同点者の順位決定は，共通テストの理科の得点で判定します。
	地球環境系	前期日程	○同点者の順位決定は，共通テスト及び個別学力検査の理科の合計点で判定します。
		後期日程	○同点者の順位決定は，共通テストの理科の合計点で判定します。
学校推薦型選抜Ⅱ	物理系	○共通テスト及び面接の総合点により判定します。	
	地球環境系	○共通テスト及び面接の総合点により判定します。	
帰国	物理系	○小論文，面接，成績証明書（調査書）の評価に基づいて総合的に判定します。	
	地球環境系	○小論文・面接等の評価に基づいて総合的に判定します。	
私費	物理系	○日本留学試験及び面接の成績を総合して判定します。	
	地球環境系	○総合点で判定します。	

ウ) 海洋自然科学科

一般選抜	化学系	前期日程	○同点者の順位決定は，共通テストの理科の合計点で判定します。
		後期日程	○同点者の順位決定は，共通テストの理科の合計点で判定します。
	生物系	前期日程	○同点者の順位決定は，共通テストの理科の合計点で判定します。
		後期日程	○共通テストの成績，小論文を総合的に判定します。 ○同点者の順位決定は，共通テストの理科の合計点で判定します。
学校推薦型選抜Ⅱ	化学系	○共通テスト，面接及び調査書の総合点により判定します。	
	生物系	○共通テスト，面接，調査書，推薦書及び志願理由書を総合して選考します。	
帰国	化学系	○総合点で判定します。	
	生物系	○成績証明書（調査書）・小論文及び面接の成績等を総合して選考します。	
私費	化学系	○総合点で判定します。	
	生物系	○日本留学試験及び面接の成績等を総合して選考します。	

8. 募集人員の留意事項

- (1) 物質地球科学科は、物理系（40名）と地球環境系（25名）に分け、海洋自然科学科は、化学系（47名）と生物系（48名）に分けて、それぞれ募集します。また、2年次に進級する際に他の系へ進路変更の希望があれば、各系（物理系、地球環境系、化学系、生物系）とも3名以内に限り、選考の上、受入れが可能です（一般選抜入学者を対象とする）。
- (2) 学校推薦型選抜には物質地球科学科の物理系と地球環境系、海洋自然科学科の化学系と生物系があり、募集人員は物理系が5名、地球環境系が3名、化学系が10名、生物系が1名です。
- (3) 定員補充について
- ① 以下の左欄の特別選抜の入学手続者が募集人員に満たなかった場合は、以下の右欄の選抜区分で満たない分の募集人員を補充します。

学 科	募集人員に満たなかった選抜区分	満たない分の募集人員の補充を行う選抜区分
物質地球科学科 (物理系・地球環境系) 海洋自然科学科 (化学系・生物系)	学校推薦型選抜Ⅱ	一般選抜（前期日程）

- ② 以下の左欄の特別選抜等の募集人員（若干名）は以下の右欄の選抜区分の募集人員に含まれます。

該当する特別選抜	特別選抜の募集人員を含む選抜区分
帰国生徒特別選抜 物質地球科学科（物理系・地球環境系） 海洋自然科学科（化学系・生物系）	一般選抜（前期日程）
私費外国人留学生特別選抜（各学科系）	一般選抜（後期日程）

(4) 欠員補充

入学手続完了者が入学定員に達しなかった場合に、追加合格を実施してなお欠員がある場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

【13】各学部の入学者選抜について

医 学 部

医学部では、次の入学者選抜を実施します。

医学科

- 1) 一般選抜（前期日程・後期日程）
- 2) 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

保健学科

- 1) 一般選抜（前期日程・後期日程）
- 2) 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）
- 3) 帰国生徒特別選抜
- 4) 私費外国人留学生特別選抜

募集人員は次のとおりです。

学部	学科・課程・（選抜方式）等	入学定員 （名）	募 集 人 員（名）								
			一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		社会人	帰国 生徒	私 費 外国人
			分離分割方式		共通テスト を課さない	共通テスト を課す	共通テスト を課さない	共通テスト を課す			
			前期日程	後期日程							
医学部	医 学 科	100	70	25				5			
	保 健 学 科	60	41	10				9		若干名	
	計	160	111	35				14			

注：医学部医学科の学校推薦型選抜（共通テストを課す）の募集人員については、3ページを参照してください。

1. 一般選抜（前期日程・後期日程）…………… 102～103ページ
2. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）…………… 104～105ページ
3. 帰国生徒特別選抜…………… 106ページ
4. 私費外国人留学生特別選抜…………… 107ページ
5. 個別学力検査等の採点・評価基準…………… 107～108ページ
6. 合否判定基準…………… 108ページ
7. 2段階選抜（医学部医学科）…………… 109ページ
8. 募集人員の留意事項…………… 109ページ

各選抜の出願手続、出願書類、個別学力検査等の実施日時及び試験会場等については、「学生募集要項」を必ず確認してください。

「学生募集要項」は本学ホームページに掲載します。（22ページ参照）

1. 一般選抜（前期日程・後期日程）

令和6年度入学選抜の実施教科・科目等

医学部

学部・学科等名 及び入学定員等 〔令和5年度〕 〔志願倍率〕	区分 ・ 学力検査 日程	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜
医学部 〔7.8〕 172名 前期70 後期25 その他17	前期 2月 25日 26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 化学, 生物から2 英 (5教科7科目)	外	英(コミュ英Ⅰ ・コミュ英Ⅱ ・コミュ英Ⅲ ・英表Ⅰ ・英表Ⅱ) ※リスニング は除く	約5倍
	後期 3月 12日			数 理 その他	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B) (物基・物理, 化基・化学, 生基・生物 から2) 面接	
保健学科 60名 前期41 後期10 その他9	前期 2月 25日 26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 化学, 生物から2 英 (5教科7科目)	数 理 その他	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B) (物基・物理, 化基・化学, 生基・生物 から1) 面接	
	後期 3月 12日			その他	小論文 面接	

○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

試験の区分	共通テスト・個別学力検査等の配点等												特別選抜 方法等	
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書		配点 合計
共通テスト	200	*100		200	200	200							900	推薦 追加合格
個別学力検査等				200	200	200			200				800	
計	200	*100		400	400	400			200				1700	
共通テスト	200	*100		200	200	300							1000	
個別学力検査等									200		100		300	
計	200	*100		200	200	300			200		100		1300	
共通テスト	300	*100		200	200	300							1100	推薦 国生徒 私費
個別学力検査等				100	200				100				400	追加合格
計	300	*100		300	400	300			100				1500	
共通テスト	300	*100		200	200	300							1100	
個別学力検査等									200		100		300	
計	300	*100		200	200	300			200		100		1400	

2. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

※国公立大学の学校推薦型選抜は、共通テストを課すもの及び課さないものを含め、1つの大学・学部にし
か出願できません。

※「経済財政運営と改革の基本方針2019」による増員申請が認められた場合、申請の結果について、本
学ホームページ等で公表します。（3ページ参照）

学校推薦型選抜Ⅱ－1

実施学部 ・学科等	医学部 医学科
募集人員	【申請が認可されない場合】 5名
	【申請が認められた場合】 地域枠 14名程度（※出願要件（2）除く） 離島・北部枠 3名程度
出願要件	<p>次の（1）～（5）に該当する者</p> <p>（1）沖縄県に居住し、沖縄県の高等学校等（*）を令和4年4月1日以降に卒業した者及び令和6年3月に卒業見込みの者で出身学校長から推薦を受けた者</p> <p>（2）沖縄県に居住し、沖縄県内離島地域（石垣市、宮古島市、久米島町）ならびに沖縄県本島北部地域（大宜味村、今帰仁村、本部町、名護市、宜野座村）に所在する高等学校等を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>（3）沖縄県で将来の医療を担う強い意志があり、かつ沖縄県が貸与する奨学金の受給を希望する者</p> <p>（4）人物、学力ともに優れ、健康で、高等学校等における全体の評定平均値が4.3以上の者</p> <p>（5）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>※沖縄県からの奨学金（医師修学資金）の概要 本選抜での入学者全員に対し、沖縄県が学費、生活費など修学に必要な資金を貸し付けます。入学者は、卒業までの6年間奨学金を受給する必要があります。 大学卒業後は、沖縄県地域枠キャリア形成プログラムのもとで原則として琉球大学病院にて臨床研修医として勤務し、その後は沖縄県知事が指定する医療機関に医師として臨床研修を合わせて9～13年間勤務していただきます（うち離島・北部の医療機関に4年間）。この場合、奨学金貸与額の全額の返還が免除されます。 （参考）沖縄県地域枠キャリア形成プログラム (http://www.chi.med.u-ryukyu.ac.jp/uploads/2021/04/6fcfef2e033986bd6ce59acb86b619b9-1.pdf)</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（5教科7科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世B、日B、地理B） ・公民（現社、倫・政経） <p style="text-align: right;">} から1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数（数Ⅰ・数A） （数Ⅱ・数B） ・理（物理、化学、生物から2） ・外（英） <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・面接
出願期間	令和5年11月 1日（水）～11月 4日（土）
選抜期日	令和5年12月 6日（水）
合格発表	令和6年 2月 9日（金）
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、1高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき3名以内

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部 ・学科等	医学部 保健学科
募集人員	9名（うち専門高校・総合学科卒業生枠1名）
出願要件	<p>次の（１）～（４）又は（５）に該当する者</p> <p>（１）高等学校等（＊）を令和6年3月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者</p> <p>（２）学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 なお、学習成績概評が㊤に属する者</p> <p>（３）合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>（４）専門高校・総合学科卒業生枠にあっては、高等学校の総合学科を令和6年3月卒業見込みの者で福祉及び看護関係科目を20単位以上履修した者又は履修見込みの者又は看護関係学科を令和6年3月卒業見込みのもの</p> <p>（５）高等学校等（＊）以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記（５）に該当する志願者は、11ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（5教科7科目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国（国） ・地歴（世B、日B、地理B） ・公民（現社、倫・政経） ・数（数Ⅰ・数A） （数Ⅱ・数B） ・理（物理、化学、生物から2） ・外（英） <p style="text-align: right;">} から1</p> <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接 ・調査書
出願期間	令和5年11月 1日（水）～11月 4日（土）
選抜期日	令和5年12月 6日（水）
合格発表	令和6年 2月 9日（金）
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、1高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき2名内

* 「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

3. 帰国生徒特別選抜

帰国生徒特別選抜－1

実施学部・学科等	医学部 保健学科
募集人員	若干名
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等により外国で、2年以上滞在しており、次のいずれかに該当するもの。ただし、令和4年3月31日以前に帰国（一時的な短期の帰国を除く。）した者は、出願を認めない。</p> <p>(1) 学校教育における12年の課程を修了した者又は令和6年3月31日までに修了見込みの者で、原則として、外国において最終学年を含め、2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けているもの（ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学して教育を受けた期間は、「2年以上」という期間には算入しない。）</p> <p>(2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者及びグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE Aレベル）を有する者</p> <p>(3) 本学において、個別の入学資格審査により入学資格認定書の交付を受けた者</p> <p>○上記（3）に該当する志願者は、11ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	共通テストを免除し、成績証明書（調査書）、小論文及び面接を総合して行います。
出願期間	令和5年11月 1日（火）～11月 4日（土）
選抜期日	令和5年12月 6日（水）
合格発表	令和5年12月15日（金）
その他	<p>1. 出願書類</p> <p>(1) 出願確認票、卒業（修了）証明書又は同見込み証明書、成績証明書、身上記録、保護者の在外勤務などに関する証明書等</p> <p>(2) 国際バカロレア資格を取得した者は、その証明書の写しと最終試験6科目の成績評価証明書</p> <p>(3) アビトゥア資格を取得した者は、一般的大学入学資格証明書（Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife）の写し</p> <p>(4) バカロレア資格（フランス共和国）を取得した者は、その証明書の写し</p> <p>(5) ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル）を有する者は、成績評価証明書</p> <p>※ 外国の学校又は機関が作成する書類について、日本語以外の場合は、日本語訳を添付すること。</p> <p>※ 表彰を受けた者は、関係書類の写しを添付すること。</p> <p>2. 本学他学部・学科等の帰国生徒特別選抜との併願は認めない。</p>

4. 私費外国人留学生特別選抜

医学部保健学科では、私費外国人留学生特別選抜を実施します。詳細は134～136ページを参照してください。

5. 個別学力検査等の採点・評価基準

① 教科・科目

外国語	<ul style="list-style-type: none"> ○読解問題では、情報や概念などを理解する力、概要や要点を捉える力、文章の論理的な構成を理解する力を語彙、文法、論理性の観点から総合的に評価します。 ○口頭表現問題では、場面や目的に応じた基本的な慣用句や熟語、英語的言い回しの習熟度等の観点から評価します。 ○作文問題では、内容、文章構成力、表現力の観点から評価します。 ○綴りや文法上誤りがあり、解答が完全に正しくない場合でもコミュニケーションの観点から理解可能であれば誤りの度合いに応じた部分点を与えます。
数 学	<ul style="list-style-type: none"> ○記述式の問題を出題することにより、数学の基本的な知識・技能、論理的思考力及び表現力が身につけているかを評価します。 ○問題用紙に明記された配点に従って得点を合計します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。 ○記述式の問題の場合、途中の推論及び計算を記述せずに結論（最終的な答え）のみを書いても得点を与えません。
物 理	<ul style="list-style-type: none"> ○自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に判断、評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。
化 学	<ul style="list-style-type: none"> ○自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に判断、評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。
生 物	<ul style="list-style-type: none"> ○生物の基礎的知識に加え、設問の内容を的確に判断し、論理的に記述・表現する力を、総合的に評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。
地 学	<ul style="list-style-type: none"> ○設問の趣旨をよく理解しているか、また、自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などが備わっているかを、総合的に判断、評価します。 ○解答（記述、計算）が完全には正しくない場合でも、理解の度合いに応じた部分点を与えます。

② 教科・科目以外の科目

※「社会人」は社会人特別選抜、「帰国」は帰国生徒特別選抜、「私費」は私費外国人留学生特別選抜を意味します。

ア) 医学科

一般選抜	小論文 (後期日程)	○思考力、独創性、発想力、表現力等を総合的に評価します。
	面接	○適性、意欲、表現力等を総合的に評価します。
	調査書	○面接の参考にします。
	志願理由書	○面接の参考にします。
学校推薦型 選 抜 II	小論文	○思考力、独創性、発想力、表現力等を総合的に評価します。
	面接	○適性、意欲、表現力等を総合的に評価します。
	調査書	○面接の参考にします。
	推薦書	○面接の参考にします。
	志願理由書	○面接の参考にします。

イ) 保健学科

一般選抜	小論文 (後期日程)	○課題に対する理解力及び文章表現力(論理性, 独創性, 表現力等)を総合的に評価します。
	面接	○動機, 意欲, 適性, 表現力等を総合的に評価します。
	調査書	○面接の参考にします。
	志願理由書	○面接の参考にします。
学校推薦型 選抜Ⅱ	面接	○動機, 意欲, 適性, 表現力等を総合的に評価します。
	調査書	○学力, リーダーシップ, 課外活動, 表彰等を総合的に評価します。
	推薦書	○面接の参考にします。
	志願理由書	○面接の参考にします。
帰国	小論文	○課題に対する理解力及び文章表現力(論理性, 独創性, 表現力等)を総合的に評価します。
	面接	○動機, 意欲, 適性, 表現力等を総合的に評価します。
	成績証明書等 (調査書)	○面接の参考にします。
私費	面接	○動機, 意欲, 適性, 表現力等を総合的に評価します。

6. 合否判定基準

全学に適用される全学部的基本的な合否判定基準(24ページ)も併せて参照してください。

ア) 医学科

一般選抜	○合格ラインに同点者がいる場合には, 次の順序に従って順位を付して合格者とします。 ①個別学力検査等の高得点者 ②共通テストの外国語の高得点者 ③共通テストの数学の高得点者 ④共通テストの理科の高得点者 ⑤面接の高得点者
学校推薦型 選抜Ⅱ	○合格ラインに同点者がいる場合には, 次の順序に従って順位を付して合格者とします。 ①面接の高得点者 ②小論文の高得点者 ③共通テストの外国語の高得点者 ④共通テストの数学の高得点者 ⑤共通テストの理科の高得点者

イ) 保健学科

一般選抜	○合格ライン上に同点者がいる場合は, 次の順序に従って合格者を決めます。 ①個別学力検査等の高得点者 ②共通テストの英語の高得点者
学校推薦型 選抜Ⅱ	○共通テスト550点, 調査書300点, 面接250点の配点とし, 総合点1100点満点 で上位者から合格者とします。
帰国	○小論文, 面接等の評価に基づいて総合的に判定します。
私費	○日本留学試験, 面接の評価に基づいて総合的に判定します。

7. 2段階選抜（医学部医学科）

医学部医学科（一般選抜（前期日程・後期日程））において、入学志願者が前期日程は募集人員の約5倍、後期日程は募集人員の約10倍を超えた場合には、共通テストの成績（「令和6年度入学者選抜の実施教科・科目等」（102～103ページ参照）の配点による成績）による第1段階選抜を行い、その合格者について個別学力検査等による第2段階選抜を行うことがあります。実施の有無は、本学ホームページ〔入試情報〕でお知らせします。

8. 募集人員の留意事項

（1）定員補充について

①医学科及び保健学科では、学校推薦型選抜の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。

学 科	募集人員に満たなかった選抜区分	満たない分の募集人員を加える選抜区分
医 学 科	学校推薦型選抜Ⅱ	一般選抜（前期日程）
保 健 学 科	学校推薦型選抜Ⅱ	一般選抜（前期日程）

②保健学科の前期日程の募集人員には、帰国生徒特別選抜及び私費外国人留学生特別選抜の募集人員を含みます。

学 科	該当する特別選抜	特別選抜の募集人員を含む選抜区分
保 健 学 科	帰国生徒特別選抜	一般選抜（前期日程）
	私費外国人留学生特別選抜	

（2）医学科では、入学後、一般コースと地域医療コースの2コースに分かれます。原則として、一般選抜（前期日程・後期日程）により入学した者は一般コース、学校推薦型選抜Ⅱにより入学した者は地域医療コースとなります。2つのコース間では入学者が受講する科目の一部が異なります。各コースの特徴は次の通りです。

一 般 コ ー ス：従来のカリキュラムをベースに、アクティブラーニング科目を受講する。

地 域 医 療 コ ー ス：従来のカリキュラムを基本としつつ、低学年次からプライマリ・ケアの能力を身に付けるための科目を受講する。

（3）保健学科では、入学後、看護学コース・検査技術学コースの2つのコースに分かれます。なお、看護学コースの学生は、2年次以降に、保健師（15名程度）、または助産師（6名程度）もしくは養護教諭（10名程度）の免許取得のためのカリキュラムをいずれか1つ選択することができます。選抜にあたっては、入学後の成績等を考慮します。

（4）欠員補充

入学手続完了者が入学定員に達しなかった場合に、追加合格を実施してなお欠員がある場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

【13】各学部の入学者選抜について

工 学 部

工学部では、次の入学者選抜方法を実施します。

工学科

- 1) 一般選抜（前期日程・後期日程）
- 2) 総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）
- 3) 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）
- 4) 社会人特別選抜
- 5) 私費外国人留学生特別選抜

募集人員は次のとおりです。

学 部	学科・課程・（選抜方式）等		入学 定員 （名）	募 集 人 員（名）								
				一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		社会人	帰国 生徒	私 費 外国人
				分離分割方式		共通テスト を課さない	共通テスト を課す	共通テスト を課さない	共通テスト を課す			
				前期日程	後期日程							
工 学 部	工学科	機 械 工 学 コ ー ス	350	206	40	6			11	若干名		若干名
		エネルギー環境工学コース				10			7	若干名		若干名
		電気システム工学コース				2			9	若干名		若干名
		電子情報通信コース				4			7	若干名		若干名
		社会基盤デザインコース				5			10	若干名		若干名
		建 築 学 コ ー ス				2			10	若干名		若干名
		知 能 情 報 コ ー ス				7			14	若干名		若干名
	計		350	206	40	36			68			

1. 一般選抜（前期日程・後期日程）…………… 112～113ページ
2. 総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）…………… 114～115ページ
3. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）…………… 116ページ
4. 社会人特別選抜…………… 117ページ
5. 私費外国人留学生特別選抜…………… 118ページ
6. 個別学力検査等の採点・評価基準…………… 118ページ
7. 合否判定基準…………… 119ページ
8. 工学部の選抜方法等について…………… 119ページ
9. 募集人員の留意事項…………… 120ページ

各選抜の出願手続、出願書類、個別学力検査等の実施日時及び試験会場等については、「学生募集要項」を必ず確認してください。

「学生募集要項」は本学ホームページに掲載します。（22ページ参照）

1. 一般選抜（前期日程・後期日程）
令和6年度入学者選抜の実施教科・科目等

学部・学科等名 及び入学定員等 〔令和5年度〕 志願倍率	区分 ・ 検査 日程の	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜
工学部 〔3.3〕 350名 前期206 後期40 その他104	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理 化基, 生基, 地基から2 [計3科目] 又は 化学, 生物, 地学から1 [計2科目] 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数 理 その他	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B) (物基・物理) 調査書	
	後期	数 理 外	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理 化基, 生基, 地基から2 [計3科目] 又は 化学, 生物, 地学から1 [計2科目] 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (3教科5科目又は3教科6科目)	その他	調査書	

○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

工学部

試験の区分	共通テスト・個別学力検査等の配点等												特別選抜 方法等	
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	筆記試験	面接	口頭 試問	小論文	調査書		配点 合計
共通テスト	200	*100		300	200	200							1000	総 合 推 薦 社 会 私 人 費 追加合格
個別学力検査等				300	200							150	650	
計	200	*100		600	400	200						150	1650	
共通テスト				400	400	200							1000	
個別学力検査等												100	100	
計				400	400	200						100	1100	

2. 総合型選抜 I (共通テストを課さない)

実施学部 ・学科等	工学部 工学科
募集人員	<p>機械工学コース 6名 (うち一般枠3名, 女子枠3名) エネルギー環境工学コース 10名 (うち一般枠5名, 女子枠5名) 電気システム工学コース 2名 電子情報通信コース 4名 社会基盤デザインコース 5名 (うち一般枠3名, 女子枠2名) 建築学コース 2名 知能情報コース 7名 計36名</p> <p>※女子枠を設けているコースを志願する女子志願者は、一般枠と女子枠から1つを選択し、出願してください。併願はできません。</p>
出願資格	<p>次の1～4すべてに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 次のいずれかに該当する者 <ol style="list-style-type: none"> 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和6年3月31日までに卒業見込みの者 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和6年3月31日までに修了見込みの者 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者 学業成績優秀で、全体の評定平均値が3.5以上の者 工学部工学科で学ぶための一定の基礎学力と強い意欲を持つ者 合格した場合は入学することを確約できる者 <p>○1. の(3)に該当する志願者は、令和5年7月31日(月)までに、入試課へ相談すること。</p>
選抜方法等	<p>志願理由書、自己推薦書、活動内容を証明する資料、活動内容を証明する資料の概要、調査書を総合して第1次選考(書類選考)を行い、合格者に対し第2次選考(面接・口頭試問及びプレゼンテーション)を実施し、総合して選考します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 第1次選考(書類選考) <ul style="list-style-type: none"> ○提出書類 <ol style="list-style-type: none"> 志願理由書(志望動機、将来計画等について1000字程度で記述してください。) 自己推薦書(高等学校における学業等に関する活動(勉学の経過、資格取得、科学作品等の受賞等)とその他の活動(生徒会活動、クラブ活動、ボランティア活動等)について、合計1000字程度で自己のアピールをしてください。) 活動内容を証明する資料(上記自己推薦書に記載した活動の証拠となる資料を最大5件まで添付してください。) 活動内容を証明する資料の概要(上記証明資料の概要を記入してください。) 調査書(高等学校長等が発行するもの) 第2次選考(個別面接等) <ol style="list-style-type: none"> 面接・口頭試問 志願理由書及び自己推薦書を基に面接します。また、数学、物理の基礎に関する口頭試問を実施します。 プレゼンテーション 課題について10分程度の口頭発表形式でプレゼンテーション(液晶プロジェクター、レジュメ、ポスター等を使用)を行った後、質疑応答を実施します。各コースの課題例は以下のとおりです。 ※プレゼンテーション等の課題等の詳細は、第1次選考(書類選考)の合格者に、第1次選考の合格通知と共に文書で連絡します。

選抜方法等	<p>【機械工学コース】 本コースでは以下の2つの課題についてプレゼンテーションをしてもらいます。 1) 機械工学分野（材料力学，材料・工作，熱工学，流体工学，制御工学等）における本人の興味ある技術内容について 2) これまでの本人の活動における優れた特質，経験や成果について</p> <p>【エネルギー環境工学コース】 本コースでは以下の2つの課題についてプレゼンテーションをしてもらいます。 1) エネルギー・環境分野（エネルギー工学，環境システム，設計・計測等）における本人の興味ある技術内容について 2) これまでの本人の活動における優れた特質，経験や成果について</p> <p>【電気システム工学コース】 電力工学，電力変換，電気機器，制御工学，ロボティックスの専門分野から出題</p> <p>【電子情報通信コース】 電子材料・デバイス，電子回路，通信工学，計測工学，計算機工学の専門分野から出題</p> <p>【社会基盤デザインコース】 1) 自然環境を生かした観光都市・しまづくり 2) 自然災害に対する防災・減災技術 3) 橋・ダム・空港・鉄道等の社会基盤建設の3分野のうち，興味のある技術分野について出題</p> <p>【建築学コース】 本コースでは，建築に関連して自分が関心を持っている課題についてプレゼンテーションをしてもらいます。</p> <p>【知能情報コース】 本コースでは以下の2つの課題についてプレゼンテーションをしてもらいます。 1) 知能情報関連分野における本人の興味ある技術内容 2) これまでの本人の活動における優れた特質，経験や成果</p> <p>求める学生像や評価基準等については下記URLよりご確認ください。 (https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/3policy/admission/) また，女子枠志願者については4ページの【令和6年度工学部工学科『総合型選抜Ⅰ・学校推薦型選抜Ⅱの「女子枠」導入について』】も併せてご確認ください。</p>
出願期間	令和5年 9月 1日（金）～ 9月 3日（日）
第2次選考	令和5年 9月28日（木），[9月30日（土）]（建築学コース以外の6コース） 令和5年10月14日（土），[10月21日（土）]（建築学コースのみ） ※ [] 内は暴風警報の発令等で期日に試験が実施できない場合の日程
合格発表	第1次選考合格発表：令和5年 9月15日（金） 最終合格発表：令和5年11月 1日（水）
入学手続	令和5年11月 1日（水）～13日（月）
その他	入学前教育：コース別に対応します。

3. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

※国公立大学の学校推薦型選抜は、共通テストを課すもの及び課さないものを含め、1つの大学・学部しか出願できません。

学校推薦型選抜Ⅱ－1

実施学部・学科等	工学部 工学科
募集人員	<p>機械工学コース 11名（うち一般枠5名，専門高校卒業生枠2名，女子枠4名） エネルギー環境工学コース 7名（うち一般枠3名，専門高校卒業生枠2名，女子枠2名） 電気システム工学コース 9名（うち専門高校卒業生枠1名） 電子情報通信コース 7名（うち専門高校卒業生枠1名） 社会基盤デザインコース 10名（うち一般枠4名，専門高校卒業生枠2名，女子枠4名） 建築学コース 10名（うち専門高校卒業生枠1名） 知能情報コース 14名（うち専門高校卒業生枠3名） 計68名</p> <p>※女子枠を設けているコースを志願する女子志願者は、一般枠と女子枠から1つを選択し、出願してください。併願はできません。 ※専門高校生及び卒業生は、専門高校卒業生枠を選択し、出願することができます。併願はできません。</p>
出願要件	<p>次の（1）～（4）又は（5）に該当する者 （1）高等学校等(*)を令和6年3月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 （2）学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の評定平均値が3.5以上のもの （3）合格した場合は、入学することを確約できる者 （4）専門高校卒業生枠にあっては、工業高等学校、水産高等学校及び商工農高等学校等を令和6年3月卒業見込みの者又は卒業後1年以内のもの （5）高等学校等(*)以外を卒業又は卒業見込みの者で、本学において個別の入学資格審査により、入学資格認定書の交付を受け、合格した場合は入学することを確約でき、令和6年3月31日までに18歳に達するもの ○上記（5）に該当する志願者は、11ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。 出願を希望する者は、第1志望コースのみ出願することができます。自分の適性や将来に向けて学びたい専門性を考慮し記入してください。</p> <p>○共通テスト利用教科・科目（3教科5科目又は3教科6科目） ・数（数Ⅰ・数A） （数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1）（注）[計2科目] ・理（物理） （化基，生基，地基から2）[計3科目] 又は （化学，生物，地学から1）[計2科目] ・外（英，独，仏，中，韓から1）</p> <p>○個別学力検査等 ・面接 ・調査書 ・推薦書 ・志願理由書</p> <p>求める学生像や評価基準等については下記URLよりご確認ください。 (https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/3policy/admission/) また、女子枠志願者については4ページの【令和6年度工学部工学科『総合型選抜Ⅰ・学校推薦型選抜Ⅱの「女子枠」導入について』】も併せてご確認ください。</p> <p>備考 (注)：数学の「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校等でこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）の者に限る。</p>
出願期間	令和5年11月 1日（水）～11月 4日（土）
選抜期日	令和5年12月 6日（水）
合格発表	令和6年 2月 9日（金）
その他	1高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しない。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

4. 社会人特別選抜

社会人特別選抜－1

実施学部 ・学科等	工学部 工学科
募集人員	機械工学コース エネルギー環境工学コース 電気システム工学コース 電子情報通信コース 社会基盤デザインコース 建築学コース 知能情報コース } 各コース若干名
出願要件	<p>次の各号の1つに該当する者で、3年以上の勤務経験を有し、令和6年4月1日以降も同一の企業等に継続して勤務するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 (5) 文部科学大臣が指定した者 (6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。） (7) 本学において、個別の入学資格審査により入学資格認定書の交付を受けた者 <p>○上記（7）に該当する志願者は、11ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	<p>共通テストを免除し、個別学力検査等の成績、調査書、履歴書、志願理由書を総合して選考します。</p> <p>出願を希望する者は、第1志望コースのみ出願することができます。</p> <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口頭試問を含む面接 ・志願理由書
出願期間	令和6年 1月15日（月）～ 1月19日（金）
選抜期日	令和6年 2月26日（月）
合格発表	令和6年 3月 8日（金）

5. 私費外国人留学生特別選抜

工学部では、私費外国人留学生特別選抜を実施します。詳細は134～136ページを参照してください。

6. 個別学力検査等の採点・評価基準

① 教科・科目

数 学	<ul style="list-style-type: none"> ○記述式の問題を出題することにより、数学の基本的な知識・技能、論理的思考力及び表現力が身につけているかを評価します。 ○問題用紙に明記された配点に従って得点を合計します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。 ○記述式の問題の場合、途中の推論及び計算を記述せずに結論（最終的な答え）のみを書いても得点を与えません。
物 理	<ul style="list-style-type: none"> ○自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に判断、評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。

② 教科・科目以外の科目

※「社会人」は社会人特別選抜、「帰国」は帰国生徒特別選抜、「私費」は私費外国人留学生特別選抜を意味します。

工学科

一般選抜	調 査 書	○評定平均値を点数化します。	
総合型選抜Ⅰ	第1次選考	志願理由書	○志願する目的意識、内容の論理性、将来の計画性、意欲・関心などを評価し、点数化します。
	第2次選考	自己推薦書	○学業に関わる活動の状況、その他の活動の状況などを評価し、点数化します。
		活動内容資料	○自己推薦書を点数化する際の資料とします。
	調 査 書	○評定平均値を点数化します。	
学校推薦型選抜Ⅱ	面接	面接・口頭試問	○志願理由・動機、将来計画及び長所・特技・自己アピールなどの質疑をとおして、意欲や個性などを評価し、点数化します。 ○数学、物理の基礎学力を評価する口頭試問を行い、点数化します。
		プレゼンテーション	○プレゼンテーション（質疑応答含む）をとおして総合的な能力を評価し、点数化します。
	志願理由書	○志望動機、将来計画、長所・特技、自己アピール等を総合的に評価し、点数化します。	
	調 査 書	○評定平均値を点数化します。	
社会人	面接	口頭試問を含む面接	○志願理由・動機、将来計画及び長所・特技・自己アピールなどの質疑をとおして、意欲や個性などを評価し、点数化します。 ○数学、物理の基礎学力を評価する口頭試問を行い、点数化します。
		志願理由書	○志望動機、将来計画、長所・特技、免許類、自己アピール等を総合的に評価し、点数化します。
私 費	面接	口頭試問を含む面接	○志望理由・動機、将来計画及び長所・特技・自己アピールなどの質疑をとおして、意欲や個性などを評価し、点数化します。 ○数学、物理の基礎学力を評価する口頭試問を行い、点数化します。

7. 合否判定基準

全学に適用される全学部的基本的な合否判定基準（24ページ）も併せて参照してください。

工学科

一般選抜	○総合得点が同点の場合は、共通テストの得点に基づき順位付けを行います。その結果、同点の場合は全員同順位とし、その順位が合格者の最下位である場合は、全員合格とします。
総合型選抜Ⅰ	○第1次選考では、志願理由書、自己推薦書、調査書を点数化し、総合得点で志願コースの志願枠ごとに順位付けを行い、合否を判定します。 ○第2次選考では、面接・口頭試問及びプレゼンテーションの点数と第1次選考の点数を加えた合計点で志願コースの志願枠ごとに順位付けを行い、合否を判定します。
学校推薦型選抜Ⅱ	○共通テスト、調査書、推薦書、志願理由書、面接を点数化し、総合得点で志願コースの志願枠ごとに順位付けを行い、合否を判定します。
社会人	○口頭試問を含む面接、志願理由書を点数化し、総合得点で順位付けを行い、合否を判定します。
私費	○日本留学試験、口頭試問を含む面接を点数化し、総合得点で順位付けを行い、合否を判定します。

8. 工学部の選抜方法等について

工学部の一般選抜は、工学科全体で入学者選抜試験を実施します。出願を希望する者は、出願時に工学科7コースに対する志望順位を記入してください。

工学科全体で、共通テストと個別学力検査等の総合点に関して上位から順に合格者を決定します。

その上で、次の方法により志望に沿って合格者を各コースに配属します。総合点の上位者から各コースの受け入れ人員の目安を考慮して、その志望順の上位者から順に配属します。続いて、同様な手順を第2志望、第3志望の順に第7志望まで繰り返して合格者の上位志望順に配属します。志望順位を第7志望まで記入していない場合には、志望順位を記入していないコースに配属されることがあります。

配属コース名は合格通知書に同封して通知します。

各コースの受入人員の目安は次のとおりです。

	(前期日程)	(後期日程)
○機械工学コース	32名程度	6名程度
○エネルギー環境工学コース	32名程度	6名程度
○電気システム工学コース	28名程度	6名程度
○電子情報通信コース	28名程度	6名程度
○社会基盤デザインコース	25名程度	5名程度
○建築学コース	28名程度	5名程度
○知能情報コース	33名程度	6名程度

コース配属の変更は、1年次のキャリア教育等を踏まえて、2年次前学期開始前に本人の希望と学力成果に応じて行います。コース変更は、それを希望する学生のみで、希望しない学生のコース変更はありません。なお、コース変更を希望しても、必ずしも希望するコースにコース変更できるわけではありません。

9. 募集人員の留意事項

(1) 一般選抜の選抜は工学科で実施します。

共通テストと個別学力検査等の総合点の上位から順に、工学科として合格者を決定し、その上で、志望に沿って合格者を各コースに配属します。(詳細は119ページ「8. 工学部の選抜方法等について」参照。)

(2) 特別選抜(総合型選抜Ⅰ, 学校推薦型選抜Ⅱ, 社会人特別選抜, 私費外国人留学生特別選抜)の選抜はコース毎に行います。合格者は志望コースに配属されます。

(3) 定員補充について

① 以下の特別選抜の合格者(入学手続き者)が募集人員に満たなかった場合は、以下の選抜区分で満たない分の募集人員を補充します。

学 科	募集人員に満たなかった選抜区分	満たない分の募集人員の補充を行う選抜区分
工 学 科	総合型選抜Ⅰ	一般選抜(前期日程)
	学校推薦型選抜Ⅱ	

② 以下の特別選抜の募集人員(若干名)は以下の選抜区分の募集人員に含みます。

学 科	該当する特別選抜	特別選抜の募集人員を含む選抜区分
工 学 科	社会人特別選抜	一般選抜(後期日程)
	私費外国人留学生特別選抜	

(4) 欠員補充

入学手続き完了者が入学定員に達しなかった場合に、追加合格を実施してなお欠員がある場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

【13】各学部の入学者選抜について

農 学 部

農学部では、次の入学者選抜を実施します。

亜熱帯地域農学科

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1) 一般選抜（前期日程・後期日程） | 2) 総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す） |
| 3) 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない） | 4) 帰国生徒特別選抜 |
| 5) 私費外国人留学生特別選抜 | |

亜熱帯農林環境科学科

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1) 一般選抜（前期日程・後期日程） | 2) 総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す） |
| 3) 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない） | 4) 帰国生徒特別選抜 |
| 5) 私費外国人留学生特別選抜 | |

地域農業工学科

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1) 一般選抜（前期日程・後期日程） | 2) 総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す） |
| 3) 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない） | 4) 帰国生徒特別選抜 |
| 5) 私費外国人留学生特別選抜 | |

亜熱帯生物資源科学科

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1) 一般選抜（前期日程・後期日程） | 2) 総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す） |
| 3) 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない） | 4) 帰国生徒特別選抜 |
| 5) 私費外国人留学生特別選抜 | |

亜熱帯生物資源科学科 健康栄養科学コース

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1) 一般選抜（前期日程） | 2) 総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す） |
|---------------|---------------------|

募集人員は次のとおりです。

学部	学科・課程・(選抜方式)等	入学定員(名)	募 集 人 員 (名)								
			一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		社会人	帰国生徒	私費外国人
			分離分割方式		共通テストを課さない	共通テストを課す	共通テストを課さない	共通テストを課す			
			前期日程	後期日程							
農学部	亜熱帯地域農学科	35	22	5		3	5		若干名	若干名	
	亜熱帯農林環境科学科	35	22	5		3	5		若干名	若干名	
	地域農業工学科	25	16	2		2	5		若干名	若干名	
	亜熱帯生物資源科学科	45	23	4		2	6		若干名	若干名	
	健康栄養科学コース		8			2					
	計	140	91	16		12	21				

1. 一般選抜（前期日程・後期日程）…………… 122～125ページ
2. 総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す）…………… 126～127ページ
3. 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）…………… 128ページ
4. 帰国生徒特別選抜…………… 129ページ
5. 私費外国人留学生特別選抜…………… 129ページ
6. 個別学力検査等の採点・評価基準…………… 130～131ページ
7. 合否判定基準…………… 131～132ページ
8. 募集人員の留意事項…………… 132～133ページ

各選抜の出願手続、出願書類、個別学力検査等の実施日時及び試験会場等については、「学生募集要項」を必ず確認してください。

「学生募集要項」は本学ホームページに掲載します。（22ページ参照）

1. 一般選抜（前期日程・後期日程）

令和6年度入学選抜の実施教科・科目等

学部・学科等名 及び入学定員等 〔令和5年度〕 〔志願倍率〕	区分 学力検査 日程の	共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	
農学部 〔3.4〕 140名 前期91 後期16 その他33	前期 2月 25日	国	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B *下記の①, ②のいずれかから選択する。 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 物理, 化学, 生物, 地学から1 [計3科目] ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 [計2科目] 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数A・数B)		
		理	(物基・物理, 化基・化学, 生基・生物, 地基・地学 から1)				
	外	調査書	その他				
	後期 3月 12日	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B *下記の①, ②のいずれかから選択する。 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 物理, 化学, 生物, 地学から1 [計3科目] ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 [計2科目] 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (3教科5科目又は3教科6科目)	その他	口頭試問を含 む面接 調査書		
	理						
	外						
亜熱帯農 林環境科 35名 前期22 後期5 その他8	前期 2月 25日	国	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B *下記の①, ②のいずれかから選択する。 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 物理, 化学, 生物, 地学から1 [計3科目] ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 [計2科目] 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数A・数B)		
		理	(物基・物理, 化基・化学, 生基・生物, 地基・地学 から1)				
	外	調査書	その他				
	後期 3月 12日	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B *下記の①, ②のいずれかから選択する。 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 物理, 化学, 生物, 地学から1 [計3科目] ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 [計2科目] 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (3教科5科目又は3教科6科目)	その他	口頭試問を含 む面接 調査書		
	理						
	外						
地域農業 工学科 25名 前期16 後期2 その他7	前期 2月 25日	国	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B *下記の①, ②のいずれかから選択する。 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 物理, 化学, 生物, 地学から1 [計3科目] ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 [計2科目] 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数	(数Ⅰ・数Ⅱ・ 数A・数B)		
		理	(物基・物理, 化基・化学, 生基・生物, 地基・地学 から1)				
	外	調査書	その他				
	後期 3月 12日	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B *下記の①, ②のいずれかから選択する。 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 物理, 化学, 生物, 地学から1 [計3科目] ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 [計2科目] 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (3教科5科目又は3教科6科目)	その他	口頭試問を含 む面接 調査書		
	理						
	外						

(注)「同一名称を付した科目の選択は認めない」とは、物理基礎と物理、化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学の科目
○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

試験の区分	共通テスト・個別学力検査等の配点等											特別選抜 方法等	
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	筆記試験	口頭試問 を含む面接	小論文	調査書		配点 合計
共通テスト	200	*100		200	200	200						900	総 合 推 薦 帰 国 生 徒 私 費 追加合格
個別学力検査等				200	200						100	500	
計	200	*100		400	400	200					100	1400	
共通テスト				200	200	200						600	
個別学力検査等											300	400	
計				200	200	200					300	1000	
共通テスト	200	*100		200	200	200						900	総 合 推 薦 帰 国 生 徒 私 費 追加合格
個別学力検査等				200	200						100	500	
計	200	*100		400	400	200					100	1400	
共通テスト				200	200	200						600	
個別学力検査等											300	400	
計				200	200	200					300	1000	
共通テスト	200	*100		200	200	200						900	総 合 推 薦 帰 国 生 徒 私 費 追加合格
個別学力検査等				200	200						100	500	
計	200	*100		400	400	200					100	1400	
共通テスト				200	200	200						600	
個別学力検査等											300	400	
計				200	200	200					300	1000	

を選択することは認めないことを指す。

令和6年度入学者選抜の実施教科・科目等

学部・学科等名 及び入学定員等	区分 学力検査 日程	共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜
農学部 亜熱帯生物資源科学科 35名 前期23 後期4 その他8	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫・政経 } 数I・数A 数II・数B *下記の①, ②のいずれかから選択する。 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 物理, 化学, 生物, 地学から1 [計3科目] ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 [計2科目] 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数 理 その他	(数I・数II・ 数A・数B) (物基・物理, 化基・化学, 生基・生物 から1) 調査書	
	後期 3月 12日	数 理 外	数I・数A 数II・数B 物理, 化学, 生物, 地学から2 [計2科目] 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (3教科5科目)	その他	口頭試問を含 む面接 調査書	
農学部 亜熱帯生物資源科学科 健康栄養科学コース 10名 前期8 その他2	前期 2月 25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫・政経 } 数I・数A 数II・数B *下記の①, ②のいずれかから選択する。 ①物基, 化基, 生基, 地基から2 物理, 化学, 生物, 地学から1 [計3科目] ※ただし「同一名称を付した科目」の選択は認めない。(注) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 [計2科目] 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は5教科8科目)	数 理 その他	(数I・数II・ 数A・数B) (物基・物理, 化基・化学, 生基・生物 から1) 調査書	

(注)「同一名称を付した科目の選択は認めない」とは、物理基礎と物理、化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学の科目
○配点に*印を付してある教科は、選択教科を表す。

農学部-2

試験の区分	共通テスト・個別学力検査等の配点等											特別選抜 方法等	
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	筆記試験	口頭試問 を含む面接	小論文	調査書		配点 合計
共通テスト	200	*100		200	200	200						900	総合 推薦 帰国生徒 私費 追加合格
個別学力検査等				200	200						100	500	
計	200	*100		400	400	200					100	1400	
共通テスト				150	300	150						600	総合 追加合格
個別学力検査等								350			50	400	
計				150	300	150		350			50	1000	
共通テスト	200	*100		200	200	200						900	総合 追加合格
個別学力検査等				200	200						100	500	
計	200	*100		400	400	200					100	1400	

を選択することは認めないことを指す。

2. 総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

実施学部・学科等	農学部 亜熱帯地域農学科, 亜熱帯農林環境科学科, 地域農業工学科, 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コース含む）																				
募集人員	<table border="0"> <tr> <td>亜熱帯地域農学科</td> <td>3名</td> <td>亜熱帯生物資源科学科健康栄養科学コース</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>亜熱帯農林環境科学科</td> <td>3名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域農業工学科</td> <td>2名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜熱帯生物資源科学科</td> <td>2名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>計12名</td> </tr> </table>	亜熱帯地域農学科	3名	亜熱帯生物資源科学科健康栄養科学コース	2名	亜熱帯農林環境科学科	3名			地域農業工学科	2名			亜熱帯生物資源科学科	2名						計12名
亜熱帯地域農学科	3名	亜熱帯生物資源科学科健康栄養科学コース	2名																		
亜熱帯農林環境科学科	3名																				
地域農業工学科	2名																				
亜熱帯生物資源科学科	2名																				
			計12名																		
出願資格	<p>次の1～3すべてに該当する者</p> <p>1. 次のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和4年4月以降に卒業した者及び令和6年3月31日までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を令和4年4月以降に修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和4年4月以降にこれに該当する者及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>2. 農学部で学ぶ強い意欲を持つ者</p> <p>3. 合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>※1. の（3）に該当する志願者は、11ページの入学資格審査を参照すること。</p>																				
選抜方法等	<p>志願理由書，活動実績書，調査書を採点の上，プレゼンテーション及び面接並びに口頭試問を第1次試験とし，第2次試験で共通テストを課し，各試験の点数を総合して選考します。</p> <p>1. 第1次試験（プレゼンテーション及び面接・口頭試問）</p> <p>【亜熱帯地域農学科】【亜熱帯農林環境科学科】【地域農業工学科】</p> <p>○プレゼンテーション及び面接</p> <p>活動実績書の内容から1つの活動について，自身のこれまでに行ってきた活動内容を説明し，それを踏まえて，今後，大学で学びたいことや実践したいことについて，数名の面接者の前で3分間のプレゼンテーション（スピーチ）を行っていただきます。</p> <p>発表者は，A4サイズ1枚の資料を基に，プレゼンテーションを行います。プレゼンテーションの際は手元にメモ等を準備しても構いませんが，道具の持ち込み，あるいはプロジェクターなどの機器の使用はできません。</p> <p>続けて，プレゼンテーションに対する質疑応答（面接）を行います。</p> <p>○口頭試問</p> <p>農学部で重要となる教科・科目（数学・理科・英語に関する科目）等に関する質問や一般的な知識に関する質問を行います。</p> <p>【亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを除く）】</p> <p>○プレゼンテーション及び面接</p> <p>活動実績書の内容から1つの活動について，自身のこれまでの活動内容を説明し，それを踏まえて，今後，大学で学びたいことや実践したいことについて，数名の面接者の前で3分間のプレゼンテーション（スピーチ）を行っていただきます。</p> <p>発表者は，A4サイズ1枚の資料を基に，プレゼンテーションを行います。プレゼンテーションの際は手元にメモ等を準備しても構いませんが，道具の持ち込み，あるいはプロジェクターなどの機器の使用はできません。</p> <p>プレゼンテーションの後，その内容に関して面接者からの質問に答えていただきます。</p> <p>○口頭試問</p> <p>農学部で特に重要となる教科・科目（理科，特に化学や生物）等に関する質問や一般的な知識に関する質問を行います。</p>																				

<p>選抜方法等</p>	<p>【亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コース）】</p> <p>○プレゼンテーションを含む面接 一人ずつ、自身のこれまでの活動内容を説明し、それを踏まえて、今後、大学で学びたいことや実践したいと考えることについて、数名の面接者の前で3分間のプレゼンテーション（スピーチ）を行っていただきます。 発表者は、A4サイズ1枚の資料を基に、プレゼンテーションを行います。プレゼンテーションの際は手元にメモ等を準備しても構いませんが、道具の持ち込み、あるいはプロジェクターなどの機器の使用はできません。 プレゼンテーションの後、その内容に関して面接者からの質問に答えていただきます。 次にグループを構成して面接を行います。そこでは提示したテーマについて各々の考えや意見を共有し、集約していただきます。その後、関連する質疑応答を行います。</p> <p>○口頭試問 農学部で重要となる教科・科目（理科，特に化学や生物）等に関する質問や一般的な知識に関する質問を行います。</p> <p>2. 第2次試験（共通テスト） 【各学科共通（健康栄養科学コースを含む）】</p> <p>○大学入学共通テスト利用教科・科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数（数Ⅰ・数A） （数Ⅱ・数B） ・理 ※下記の①，②のいずれかから選択する。 ただし、亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを除く）は②に限る。 ①（物基，化基，生基，地学から2） （物理，化学，生物，地学から1） [計3科目] ※ただし、「同一名称を付した科目」の選択は認めない。（注） ②（物理，化学，生物，地学から2） [計2科目] ・外（英，独，仏，中，韓から1） （3教科5科目又は3教科6科目） <p>（注）「同一名称を付した科目の選択は認めない」とは、物理基礎と物理，化学基礎と化学，生物基礎と生物，地学基礎と地学の科目を選択することは認めないことを指す。</p>
<p>出願期間</p>	<p>令和5年 9月 1日（金）～9月 3日（日）</p>
<p>第1次選考</p>	<p>面接：令和5年10月14日（土） [10月21日（土）] ※ [] 内は暴風警報の発令等で期日に試験が実施できない場合の日程</p>
<p>第2次選考</p>	<p>共通テスト：令和6年 1月13日（土），14日（日）</p>
<p>合格発表</p>	<p>令和6年 2月 9日（金）</p>
<p>入学手続</p>	<p>令和6年 2月13日（火）～19日（月）</p>
<p>その他</p>	<p>総合型選抜の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。</p>

3. 学校推薦型選抜 I（共通テストを課さない）

※国公立大学の学校推薦型選抜は、共通テストを課すもの及び課さないものを含め、1つの大学・学部にし
か出願できません。

学校推薦型選抜 I - 1

実施学部 ・学科等	農学部 亜熱帯地域農学科，亜熱帯農林環境科学科，地域農業工学科， 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを除く）	
募集人員	21名	①亜熱帯地域農学科 5名（農業関連学科枠 3名，その他学科枠 2名） ②亜熱帯農林環境科学科 5名（農業関連学科枠 3名，その他学科枠 2名） ③地域農業工学科 5名（農業関連学科枠 2名，その他学科枠 3名） ④亜熱帯生物資源科学科 6名（農業関連学科枠 3名，その他学科枠 3名）
出願要件	<p>次の（1）～（3）又は（4）に該当する者</p> <p>（1）高等学校等(*)を令和6年3月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 なお，農業関連学科にあつては教科「農業」の科目を20単位以上履修した者又は履修見込みの者</p> <p>（2）高等学校等の学習成績・人物が優秀で，学習成績概評の全体の学習の成績の状況が4.0以上の者で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できるもの</p> <p>（3）合格した場合は，入学することを確約できる者</p> <p>（4）高等学校等(*)以外を卒業又は卒業見込みの者で，本学において個別の入学資格審査により，入学資格認定書の交付を受け，合格した場合は入学することを確約でき，令和6年3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>○上記（4）に該当する志願者は，11ページの入学資格審査を参照すること。</p>	
選抜方法等	<p>共通テストを免除し，高等学校等の長の推薦に基づき，個別学力検査等の成績，調査書，推薦書及び志願理由書を総合して選考します。</p> <p>○個別学力検査等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文 ・口頭試問を含む面接 ・調査書 ・志願理由書 	
出願期間	令和5年11月 1日（水）～11月 4日（土）	
選抜期日	令和5年12月 6日（水）	
合格発表	令和5年12月15日（金）	
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は，各学科とも1高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき2名以内。ただし，1高等学校等から農学部推薦可能な人員は5名とする。	

*「高等学校等」とは，高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

4. 帰国生徒特別選抜

帰国生徒特別選抜－1

実施学部・学科等	農学部 亜熱帯地域農学科, 亜熱帯農林環境科学科, 地域農業工学科, 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを除く)
募集人員	若干名
出願要件	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等により外国で、2年以上滞在しており、次のいずれかに該当する者。ただし、令和5年1月20日以前に帰国 (一時的な短期の帰国を除く。) した者は、出願を認めない。</p> <p>(1) 学校教育における12年の課程を修了した者又は令和6年3月31日までに修了見込みの者で、原則として、外国において最終学年を含め、2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者 (ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学して教育を受けた期間は、「2年以上」という期間には算入しない。)</p> <p>(2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者及びグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として求められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格 (GCE-Aレベル) を有する者</p> <p>(3) 本学において、個別の入学資格審査により入学資格認定書の交付を受けた者</p> <p>○上記 (3) に該当する志願者は、11ページの入学資格審査を参照すること。</p>
選抜方法等	共通テストを免除し、成績証明書 (調査書)、小論文及び面接を総合して選考します。
出願期間	令和5年11月 1日 (水) ~ 11月 4日 (土)
選抜期日	令和5年12月 6日 (水)
合格発表	令和5年12月15日 (金)
その他	<p>1. 出願書類</p> <p>(1) 出願確認票, 卒業 (修了) 証明書又は同見込み証明書, 成績証明書, 身上記録, 保護者の在外勤務などに関する証明書等</p> <p>(2) 国際バカロレア資格を取得した者は, その証明書の写しと最終試験6科目の成績評価証明書</p> <p>(3) アビトゥア資格を取得した者は, 一般的大学入学資格証明書 (Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife) の写し</p> <p>(4) バカロレア資格 (フランス共和国) を取得した者は, その証明書の写し</p> <p>(5) ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格 (GCE-Aレベル) を有する者は, 成績評価証明書</p> <p>※ 外国の学校又は機関が作成する書類について, 日本語以外の場合は, 日本語訳を添付すること。</p> <p>※ 表彰を受けた者は, 関係書類の写しを添付すること。</p> <p>2. 本学他学部・学科等の帰国生徒特別選抜との併願は認めない。</p>

5. 私費外国人留学生特別選抜

農学部では、私費外国人留学生特別選抜を実施します。詳細は134～136ページを参照してください。

6. 個別学力検査等の採点・評価基準

① 教科・科目

数 学	<ul style="list-style-type: none"> ○記述式の問題を出題することにより、数学の基本的な知識・技能、論理的思考力及び表現力が身につけているかを評価します。 ○問題用紙に明記された配点に従って得点を合計します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。 ○記述式の問題の場合、途中の推論及び計算を記述せずに結論（最終的な答え）のみを書いても得点を与えません。
物 理	<ul style="list-style-type: none"> ○自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に判断、評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。
化 学	<ul style="list-style-type: none"> ○自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に判断、評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。
生 物	<ul style="list-style-type: none"> ○生物の基礎的知識に加え、設問の内容を的確に判断し、論理的に記述・表現する力を、総合的に評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。
地 学	<ul style="list-style-type: none"> ○設問の趣旨をよく理解しているか、また、自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などが備わっているかを、総合的に判断、評価します。 ○解答（記述、計算）が完全には正しくない場合でも、理解の度合いに応じた部分点を与えます。

② 教科・科目以外の科目

※「社会人」は社会人特別選抜、「帰国」は帰国生徒特別選抜、「私費」は私費外国人留学生特別選抜を意味します。

ア) 亜熱帯地域農学科, 亜熱帯農林環境科学科, 地域農業工学科, 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを含む）

一般選抜	調査書	<ul style="list-style-type: none"> ○「学習成績の状況」を評価し、「総合的な学習の時間の内容・評価」、「特別活動の記録」、「指導上参考となる諸事項」等を面接の際の参考にします。 ○調査書が提出できない場合は、代替として提出された資料に加え、共通テストの結果を参考に、これまでの学習成績の状況を評価します。 	
	口頭試問を含む面接（後期日程）	<ul style="list-style-type: none"> ○学びたい分野や意欲、将来の目標そして主体性や協調性などを評価します。 また、農学部で重要となる教科・科目（数学・理科・英語に関する科目）等に関する質問を通し、農学についての理解度や関心の程度を評価します。 	
総合型選抜Ⅱ	第1次試験	プレゼンテーション及び面接	<ul style="list-style-type: none"> ○プレゼンテーションの内容とその質疑応答から、これまでの活動を琉球大学農学部での学びにつなげて主体的に学ぶことができるか、また自分の意見を持ち、大学で学習するに相応しいコミュニケーション能力を有するかを評価します。さらに、健康栄養科学コースは、将来、栄養士として相応しい資質を有するかを評価します。
		口頭試問	<ul style="list-style-type: none"> ○大学で学ぶに相応しい知識・語彙を有し、また、解答に至るまでの説明から、十分な思考力や表現力を有しているかを評価します。
		活動実績書	<ul style="list-style-type: none"> ○主体性を持って様々な人々と協働して積極的に物事に取り組む能力を有するかを評価します。
		志願理由書	<ul style="list-style-type: none"> ○アドミッション・ポリシーを念頭に、志望学科への関心と意欲、大学での学習と将来への見通しを評価します。
		調査書	<ul style="list-style-type: none"> ○「学習成績の状況」を評価し、「総合的な学習の時間の内容・評価」、「特別活動の記録」、「指導上参考となる諸事項」等を面接の際の参考にします。
	第2次試験	共通テスト	<ul style="list-style-type: none"> ○共通テストで3教科（外、数、理）について指定する科目の成績により、高等学校等で学んだ教科の知識、思考力を評価します。

イ) 亜熱帯地域農学科, 亜熱帯農林環境科学科, 地域農業工学科, 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを除く)

学校推薦 型選抜 I	小論文	○アドミッション・ポリシーに基づいた出題から、農学を学ぶための読解力や論理的な文章を作成する思考力・表現力を評価します。
	口頭試問を含む面接	○推薦書・調査書及び志願理由書を参考としながら、学びたい分野や意欲、将来の目標そして主体性や協調性などを評価します。また、農学部で重要となる教科・科目(数学・理科・英語に関する科目, 農業関連学科枠は農業を含む)等や一般常識に関する質問を通し、農学についての理解度や関心及び基礎的な学力を評価します。
	調査書	○「学習成績の状況」を評価し、「総合的な学習の時間の内容・評価」, 「特別活動の記録」, 「指導上参考となる諸事項」等を面接の際の参考にします。
	志願理由書	○学習意欲や将来の目標を評価し、面接の際の参考にします。
	推薦書	○面接の際に参考とします。
帰国	小論文	○アドミッション・ポリシーに基づいた出題から、農学を学ぶための読解力や論理的な文章を作成する思考力・表現力を評価します。
	口頭試問を含む面接	○成績証明書等を参考としながら、学びたい分野や意欲、将来の目標そして主体性や協調性などを評価します。また、農学部で重要となる教科・科目(数学・理科・英語に関する科目)等や一般常識に関する質問を通し、農学についての理解度や関心及び基礎的な学力を評価します。
	成績証明書等	○面接の際に参考とします。
私費	口頭試問を含む面接	○学びたい分野や意欲、将来の目標そして主体性や協調性などを評価します。また、農学部で重要となる教科・科目(数学・理科・英語に関する科目)等に関する質問を通し、農学についての理解度や関心及び基礎的な学力、さらに日本語能力を評価します。

7. 合否判定基準

全学に適用される全学部の基本的な合否判定基準(24ページ)も併せて参照してください。

ア) 亜熱帯地域農学科, 亜熱帯農林環境科学科, 地域農業工学科, 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを含む)

一般選抜 (前期日程)	<p>○共通テストの成績と個別学力検査等の成績の総合得点(募集要項に記載された配点に基づく総合得点)により、上位から順次合格者とします。</p> <p>○総合得点が同点の場合は、次の順序に従って順位付けを行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 共通テストの得点上位者 2. 調査書の得点上位者
総合型選抜 II	<p>○下記の基準にいずれも達した者で、共通テストの成績と個別学力検査等の成績の総合得点により、上位から順次合格者とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別学力検査等のうち「プレゼンテーション及び面接」, 「口頭試問」, 「活動実績書」, 「志願理由書」の各点数が60%以上であること ・共通テストの3教科(外, 数, 理)の合計得点が50%以上であること <p>○総合得点が同点の場合は、個別学力検査等の上位者から順次合格者とします。</p> <p>○共通テストの3教科(外・数・理)及び個別学力検査等(「プレゼンテーション及び面接」, 「口頭試問」, 「活動実績書」, 「志願理由書」, 「調査書」)のいずれか1科目でも欠席又は0点の者については、不合格とします。</p>

イ) 亜熱帯地域農学科, 亜熱帯農林環境科学科, 地域農業工学科, 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを除く)

一般選抜 (後期日程)	<ul style="list-style-type: none"> ○共通テストの成績と個別学力検査等の成績の総合得点 (募集要項に記載された配点に基づく総合得点) により, 上位から順次合格者とします。 ○総合得点が同点の場合は, 次の順序に従って順位付けを行う。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 共通テストの得点上位者 2. 口頭試問を含む面接の得点上位者
学校推薦型選抜 I	<ul style="list-style-type: none"> ○個別学力検査等の成績の総合得点 (募集要項に記載された配点に基づく総合得点) により, 上位から順次合格者とします。 ○総合得点が同点の場合は, 次の順序に従って順位付けを行います。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 口頭試問を含む面接の得点上位者 2. 小論文の得点上位者
帰国	<ul style="list-style-type: none"> ○個別学力検査等の成績の総合得点 (募集要項に記載された配点に基づく総合得点) により, 上位から順次合格者とします。
私費	<ul style="list-style-type: none"> ○「日本留学試験」の『日本語』『理科(2科目)』『数学』の4教科・科目のうち3教科・科目が, 各教科・科目 (『数学』においては, コース) の受験者全体の平均点 (『日本語』については, 「聴解・聴読解」及び「読解」の「合計」の平均点) 以上であること。 ○日本留学試験及び個別学力検査等の総合得点により, 上位から順次合格者とします。

8. 募集人員の留意事項

- (1) 亜熱帯地域農学科では学校推薦型選抜 I (農業に関する学科から 3 名, その他の学科から 2 名, 合計 5 名) を実施します。
- (2) 亜熱帯農林環境科学科では学校推薦型選抜 I (農業に関する学科から 3 名, その他の学科から 2 名, 合計 5 名) を実施します。
- (3) 地域農業工学科では学校推薦型選抜 I (農業に関する学科から 2 名, その他の学科から 3 名, 合計 5 名) を実施します。
- (4) 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを除く) では学校推薦型選抜 I (農業に関する学科から 3 名, その他の学科から 3 名, 合計 6 名) を実施します。
- (5) 亜熱帯地域農学科, 亜熱帯農林環境科学科, 地域農業工学科, 亜熱帯生物資源科学科, 亜熱帯生物資源科学科健康栄養科学コースでは総合型選抜 II (計 12 名) を実施します。
- (6) 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コース) は, 卒業までの教育課程に沿ってコース教育が, 1 年次から実施されるため, 他コースからの転コースはできません。
- (7) 定員補充について

- ① 以下の特別選抜の入学手続者が募集人員に満たなかった場合は, 以下の選抜区分で満たない分の募集人員を補充します。

学 科	募集人員に満たなかった選抜区分	満たない分の募集人員の補充を行う選抜区分
亜熱帯地域農学科 亜熱帯農林環境科学科 地域農業工学科 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コース含む)	学校推薦型選抜 I	一般選抜 (前期日程)
	総合型選抜 II	一般選抜 (前期日程)

② 以下の特別選抜の募集人員（若干名）は以下の選抜区分の募集人員に含みます。

学 科	該当する特別選抜	特別選抜の募集人員を含む選抜区分
亜熱帯地域農学科 亜熱帯農林環境科学科 地域農業工学科	帰国生徒特別選抜	一般選抜（前期日程）
亜熱帯生物資源科学科 （健康栄養科学コース除く）	私費外国人留学生特別選抜	一般選抜（後期日程）

（８）欠員補充

入学手続完了者が入学定員に達しなかった場合に、追加合格を実施してなお欠員がある場合は、欠員補充第２次募集を行うことがあります。

【14】私費外国人留学生特別選抜

(1) 実施学部及び募集人員

別表1の各学部・学科等においては、各々若干名について、次のとおり私費外国人留学生特別選抜を行います。

人文社会学部国際法政学科・人間社会学科・琉球アジア文化学科、理学部物質地球科学科物理系・地球環境系・海洋自然科学科生物系及び工学部工学科（全コース）においては、出願者数が指定人数を超えた場合は、日本留学試験の成績による第1段階選抜を行い、その合格者について第2段階選抜を行うことがあります。実施の有無は、本学ホームページ〔入試情報〕でお知らせします。

(2) インターネット出願期間：令和5年10月23日（月）～11月4日（土）

（※本学他学部・学科等の私費外国人留学生特別選抜との併願は認めません。）

(3) 選抜期日：令和5年12月6日（水）

※2段階選抜を実施した場合、第1段階選抜の合格者は11月中旬以降にインターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになります。不合格者へは不合格通知書を郵送します。

(4) 合格発表：令和5年12月15日（金）

(5) 入学手続き：令和5年12月18日（月）～12月26日（火）

(6) 出願資格

次の各号のすべてに該当する者とします。ただし、⑤は農学部各学科の志願者のみとします。

① 日本の国籍を有しない

② 次のいずれかに該当する

(1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（令和6年3月修了見込みの者を含む。）又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者及びジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国）取得者

(2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者

③ 出入国管理及び難民認定法に基づく大学入学に支障のない在留資格を有する者及び取得できる見込みの者

④ 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の(7)に示すいずれかの回において、別表1のとおり各学部・学科等が指定する文系又は理系の全教科を受験している者で、「日本留学試験」の得点が、それぞれ「日本語200点以上（記述含む）」かつ「基礎学力（文系は「総合科目」「数学」の合計、理系は「理科」「数学」の合計）200点以上」であること。

⑤ 農学部の志願者においては、「日本留学試験」の『日本語』『理科（2科目）』『数学』の4教科・科目のうち3教科・科目が、各教科・科目（『数学』においては、コース）の受験者全体の平均点（『日本語』については、「聴解・聴読解」及び「読解」の「合計」の平均点）以上であること。

注意：日本の国籍を有しない者で、日本の高等学校又は大学（短期大学を含む。）において、それぞれの教育課程を履修し、かつ卒業した者（令和6年3月卒業見込みの者を含む。）については、私費外国人留学生としてではなく一般学生と同様に取扱います。

(7) 選抜方法等

共通テストを免除し、独立行政法人日本学生支援機構が令和4年6月、11月及び令和5年6月に実施した「日本留学試験」のいずれかの成績及び別表1の個別学力検査等の成績等を総合判定して行います。

「日本留学試験」を複数回受験した場合は、成績利用を希望する回の「成績確認書」又は「日本留学試験成績通知書（写）」を提出してください。

※日本留学試験については、独立行政法人日本学生支援機構に照会してください。

（〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2-6-26 HI横浜ビル7階 電話：0570-55-0585 E-mail: eju@sdj.co.jp）

日本留学試験の試験教科・科目の指定及び個別学力検査等

学部	学科等	区分	出題教科・科目の指定	出題言語の指定	渡日前入学許可	個別学力検査等	
人文社会学部	国際法政学科	文系	日本語, 総合科目, 数学 (コース1又はコース2)	日本語	不可	出願者が3名を超え、日本に抜合格者を選抜する第1段階の面接について、第2段階の選抜を行うことがある	
	人間社会学科					出願者が3名を超え、日本に抜合格者を選抜する第1段階の面接について、第2段階の選抜を行うことがある	
	琉球アジア文化学科					出願者が4名を超え、日本に抜合格者を選抜する第1段階の論文及び面接による第2段階の選抜を行うことがある	
国際地域創造学部	国際地域創造学科 (昼間主コース)	文系	日本語, 総合科目, 数学 (コース1又はコース2)	日本語 又は 英語	不可	面接 (一部英語で行う)	
理学部	数理学科	理系	日本語, 理科 (物理, 化学, 生物から2科目), 数学 (コース2)	日本語 又は 英語	不可	面接	
	物質地球科学科					物理系	出願者が5名を超え、日本に抜合格者を選抜する第1段階の面接について、第2段階の選抜を行うことがある
						地球環境系	出願者が5名を超え、日本に抜合格者を選抜する第1段階の面接について、第2段階の選抜を行うことがある
	海洋自然科学科					化学系	日本語, 理科 (物理, 化学, 生物から2科目), 数学 (コース1又はコース2)
生物系		出願者が5名を超え、日本に抜合格者を選抜する第1段階の面接について、第2段階の選抜を行うことがある					

学部	学科等	区分	出題教科・科目の指定	出題言語の指定	渡日前入学許可	個別学力検査等
医学部	保健学科	理系	日本語, 理科(物理, 化学, 生物から2科目), 数学(コース1又はコース2)	日本語	不可	面接
工学部	工学科	機械工学コース	日本語, 理科(物理, 化学), 数学(コース2)	日本語	不可	出願者が5名を超えたコースについては、日本留学試験の成績による第1段階選抜を行い、その合格者について口頭試験を含む面接による第2段階選抜を行うことがある
		エネルギー環境工学コース				
		電気システム工学コース				
		電子情報通信コース				
		社会基盤デザインコース				
		建築学コース				
		知能情報コース				
農学部	亜熱帯地域農学科	理系	日本語, 理科(物理, 化学, 生物から2科目), 数学(コース1又はコース2)	日本語	不可	面接
	亜熱帯農林環境科学科				不可	面接
	地域農業工学科				不可	面接
	亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを除く)				不可	面接

個別学力検査等をオンラインで実施する場合があります。詳細は私費外国人留学生特別選抜募集要項(9月公表)を参照ください。

【15】合格者を対象とした入学前教育の実施について

琉球大学では、下記の学部学科等、選抜区分において合格者を対象とした入学前教育を行います。入学前教育の詳細は、合格通知書に同封します。

学部	学科等	選抜区分	課題の概要
教育学部	小学校教育コース 学校教育専攻	総合型選抜Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・送付された課題に取り組む ・オンラインによる報告会への参加
工学部	機械工学コース	総合型選抜Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学」に関する入学前教育を実施します
	エネルギー環境工学コース	総合型選抜Ⅰ	
	電気システム工学コース	総合型選抜Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・課題および確認テスト等と解説
	電子情報通信コース	総合型選抜Ⅰ	
	社会基盤デザインコース	総合型選抜Ⅰ	
	建築学コース	総合型選抜Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の科目について自主学習を強く推奨します。数学、物理、英語
	知能情報コース	総合型選抜Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・主に数学（微分積分）に関する入学前教育を実施します
学校推薦型選抜Ⅱ		<ul style="list-style-type: none"> ・主に数学（微分積分）に関する入学前教育を実施します 	
農学部	亜熱帯地域農学科	学校推薦型選抜Ⅰ (農業関連学科枠)	<ul style="list-style-type: none"> ・英語、理科に関する入学前教育を実施します
	亜熱帯農林環境科学科	学校推薦型選抜Ⅰ (農業関連学科枠)	
	地域農業工学科	学校推薦型選抜Ⅰ (農業関連学科枠)	
	亜熱帯生物資源科学科	学校推薦型選抜Ⅰ (農業関連学科枠)	

上記に記載がない学部学科等、選抜区分においては令和6年度入学者選抜要項公表時点では入学前教育の実施を予定していませんが、変更となる場合もあります。必ず合格通知書に同封された書類を確認してください。

◎参考情報

ノートパソコン等の必携化について

本学では、高度情報化社会において情報通信技術の活用能力を有する人材を育成すること、情報通信技術を活用し様々な授業方法やメディアを利用した教育を実践すること、各種配布物や提出物のペーパーレス化を推進することなどを目的として、令和4年度入学生から、ノートパソコン等を必携としております。ノートパソコン等の性能などについては、本学ホームページに掲載しておりますので、必ずご確認ください。

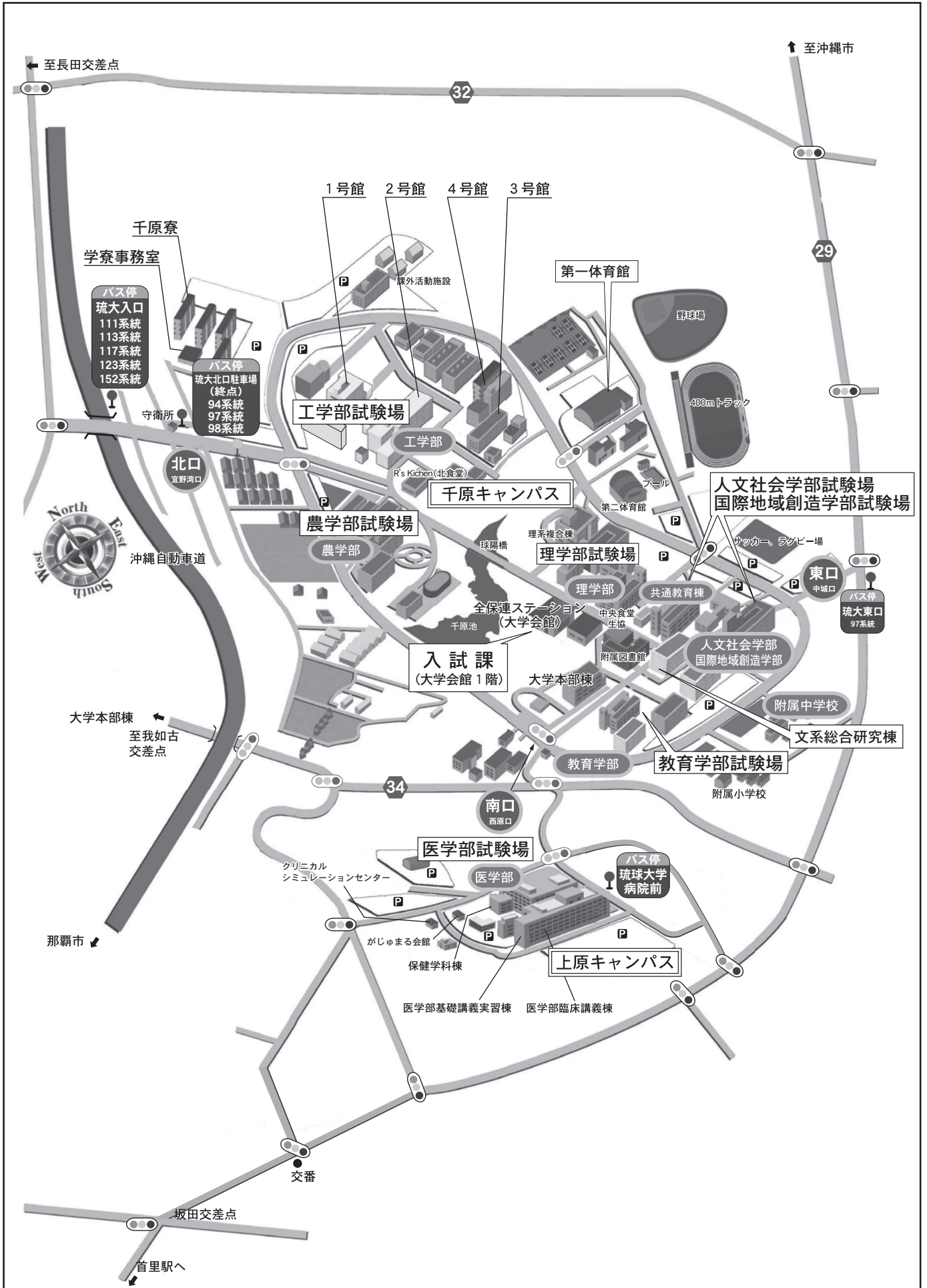
なお、条件を満たすノートパソコン等を既にお持ちの方は、新たに購入する必要はありません。

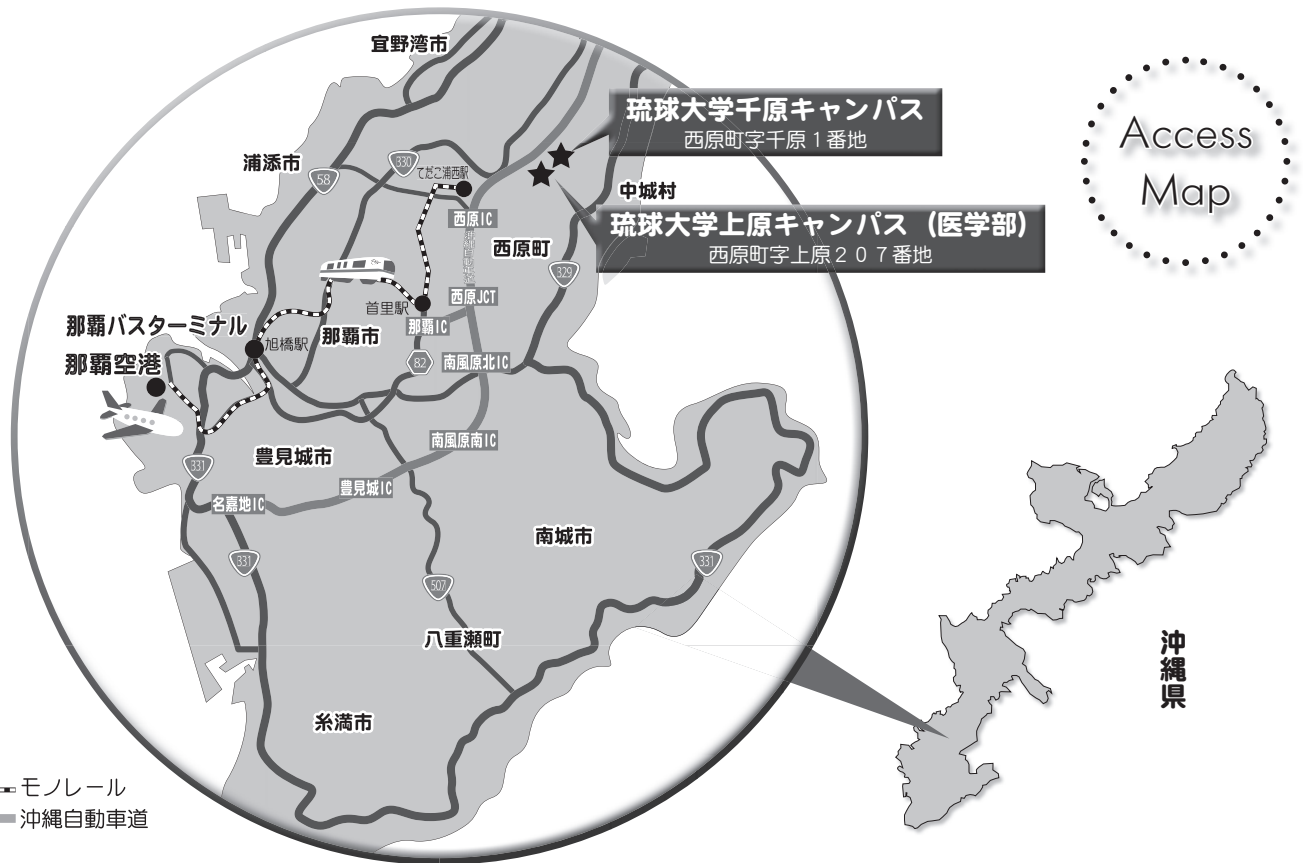
URL : <https://www.u-ryukyu.ac.jp/campuslife/curriculum/pc-hikkei/>

また、推奨するスペックを満たすパソコンは琉球大学生生活協同組合でも販売・サポートしています。

【琉球大学生生活協同組合URL】 <https://kyushu.seikyoku.ne.jp/ryudai-coop/newlife/>

○琉球大学案内図





--- モノレール
 —— 沖縄自動車道

学部	試験場	最寄りのバス停	交通機関
人文社会学部 国際地域創造学部	文系講義棟 共通教育棟	琉大東口 琉大北口 駐車場	那覇バスターミナル発 ▶ 琉大(首里)線「97番」琉大東口又は琉大北口駐車場(終点)で下車 ▶ 琉大(バイパス)線「98番」琉大北口駐車場(終点)で下車 那覇空港発 ▶ 高速バス「111番・113番・117番・123番・152番」琉大入口で下車 ▶ やんばる急行バス琉大入口で下車(101便(通過便)を除く) ▶ 沖縄都市モノレール(ゆいレール)てだこ浦西駅で下車、てだこ沖国琉大快速線「297番」等(琉大敷地内下車) ▶ 沖縄都市モノレール(ゆいレール)首里駅で下車、首里駅琉大快速線「94番」(琉大敷地内下車) ▶ 沖縄都市モノレール(ゆいレール)儀保駅で下車、琉大(首里)線「97番」琉大東口又は琉大北口駐車場(終点)で下車
教育学部	教育学部棟, 附属中学校, 本学第一体育館(保健体育専修)		
理学部	理学部棟(理系複合棟を含む)		
工学部	工学部棟(1号館~4号館)		
農学部	農学部棟		
医学部	医学部基礎講義実習棟 医学部臨床講義棟 医学部保健学科棟 がじゅまる会館 クリニックコミュニケーションセンター	琉球大学病院前	那覇バスターミナル発 ▶ 琉大(首里)線「97番」, 琉球大学病院前で下車 那覇空港発 ▶ 沖縄都市モノレール(ゆいレール)てだこ浦西駅で下車、てだこ沖国琉大快速線「297番」等(琉大敷地内下車) ▶ 沖縄都市モノレール(ゆいレール)儀保駅で下車、路線バス「97番」琉球大学病院前で下車

那覇空港 ▶ 琉球大学

高速バス 1時間に1本程度/所要時間: 35~45分

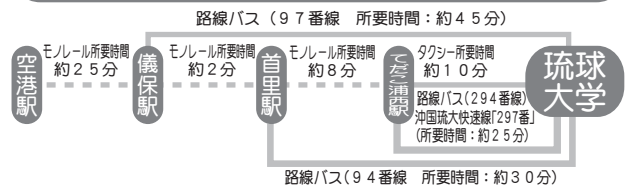
111 番線 琉球バス・沖縄バス・那覇バス・東陽バスの4社が交互運行

113 117 123 152 番線 琉球バス

経路 空港→沖縄自動車道→琉大入口下車(琉大入口にて下車, 琉大北口まで徒歩で約4分)

その他, やんばる急行バスも運行しています。

モノレール



那覇空港 ▶ 那覇バスターミナル

路線バス 各50~60分に1本程度/所要時間: 10~20分

99 120 113 120 125 番線 琉球バス 番線 沖縄バス 番線 那覇バス

モノレール 各6~12分に1本程度/所要時間: 11分

旭橋駅下車

那覇バスターミナル ▶ 琉球大学

路線バス 各20~40分に1本程度/所要時間: 40~50分

琉大東口北口方面 97 番線 那覇バス
経路 バスターミナル→国際通り(牧志)→儀保(首里)→琉球大学病院→琉大東口→琉大北口駐車場(終点)

琉大北口方面 98 番線 琉球バス
経路 バスターミナル→国際通り(牧志)→バイパス→真栄原→沖国大前→琉大北口駐車場(終点)

発行

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
 国立大学法人 琉球大学入試課
 電話 098-895-8141, 8142

琉球大学ホームページ (<https://www.u-ryukyu.ac.jp/>)
 ※落丁・乱丁等がありましたらご連絡ください。